

保健事業の実施計画書

第3期 データヘルス計画書

計画策定日：令和6年2月6日

最終更新日：令和7年2月7日

関東ITソフトウェア健康保険組合

KANTO IT SOFTWARE HEALTH INSURANCE SOCIETY

令和7年度 データヘルス計画（健康管理事業）のメニュー構成														
目番号	事業名称	予算計上	目的および概要	事業対象者										
■ : Population Approach ■ : Risk Approach ■ : High Risk Approach				～20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
5-1-1	特定健康診査（巡回特定健診含む）	〔継続〕	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 事業主が行う定期健診と共同実施	■ 経費は被扶養者及び任継分を計上										
5-2-1	特定保健指導（遠隔・支援室含む）	〔継続〕	【目的】 生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】 特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	■ 被保険者・被扶養者全員（40～74歳）										
5-4-1	疾病予防費	基本健診・人間ドック	〔継続〕 【目的】 受診率向上 【概要】 定期健診と同時実施、費用の一部を補助	■ 被保険者の特定健診は事業者健診として事業主が負担（16～74歳）										
		巡回婦人健診	〔継続〕 【目的】 女性の配偶者の受診率向上 【概要】 婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	■ 女性の被扶養配偶者及び30歳以上の被扶養者（16～74歳）										
		脳MR・肺CT検査	〔継続〕 【目的】 脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】 脳MR・肺CTによる検査	■ 被保険者・被扶養者（40～74歳 偶数年齢）										
		インフルエンザ予防接種費用補助	〔継続〕 【目的】 重症化予防 【概要】 全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	■ 被保険者・被扶養者全員（0～74歳）										
		歯科健診	〔継続〕 【目的】 口腔疾病予防 【概要】 健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	■ 被保険者・被扶養者（16～74歳）										
		胃がんリスク検査	〔継続〕 【目的】 重症化予防 【概要】 ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	■ 被保険者・被扶養者全員（30～74歳 過去のピロリ菌検査を実施者を除く）										
		生活習慣病検査（郵送検査）	〔継続〕 【目的】 女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】 郵送による生活習慣病検査実施し、費用の全額を補助	■ 被扶養者（40～74歳 直近過去2年の健診未受診者）										
		ダイエットプログラム	〔継続〕 【目的】 BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】 3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	■ 被保険者・被扶養者全員（16～74歳 BMI23以上の人をスコープ）										
		生活習慣病予防プログラム	〔継続〕 【目的】 若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】 3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	■ 被保険者 健診結果より選定（20～39歳）										
		糖尿病教育介入プログラム	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 遠隔型半日もしくは集合型2日間の糖尿病教育を通じ行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）										
		糖尿病受診勧奨プログラム	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 HbA1c高値の未受診者を対象とする受診勧奨	■ 被保険者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）										
		糖尿病性腎症重症化予防プログラム	〔継続〕 【目的】 糖尿病重症化予防 【概要】 人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）										
		高血圧症受診勧奨プログラム	〔継続〕 【目的】 高血圧症重症化予防 【概要】 血圧高値の未受診者を対象とする受診勧奨	■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（16～74歳）										
		脂質異常症受診勧奨プログラム	〔継続〕 【目的】 脂質異常症重症化予防 【概要】 脂質異常症の未受診者を対象とする受診勧奨	■ 被保険者・被扶養者 レセプト・健診結果より選定（39～74歳）										
前期高齢者等保健指導プログラム	〔継続〕 【目的】 生活習慣病重症化予防 【概要】 将来の生活の質を低下させないための保健指導	■ 前期高齢者												
5-3-1	保健指導宣伝費	機関誌発行	〔継続〕 【目的】 情報発信、健康意識の向上 【概要】 健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行											
		ITSコラボヘルスの開催	〔継続〕 【目的】 健康経営に関する情報発信 【概要】 事業所とのコミュニケーションを通じ、健康に配慮する文化を創造する。											
		健康企業宣言サポート事業	〔継続〕 【目的】 事業所が実践する健康経営の推進【概要】 健康経営と相関性の高い研修及び保健事業の費用補助											
		健康企業宣言説明会	〔継続〕 【目的】 事業所が提出する申請書類の提出サポート/制度の最新情報の共有 【概要】 企業宣言事務担当者向けの説明会を開催											
		健康ポータルサイトの管理、運用	〔継続〕 【目的】 企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】 ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する											
		禁煙啓蒙事業	〔継続〕 【目的】 喫煙者の啓蒙 【概要】 加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減											
		受診促進事業	〔継続〕 【目的】 被扶養者健診の啓蒙 【概要】 被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う											
		後発医薬品の使用促進	〔継続〕 【目的】 後発医薬品の使用割合の向上 【概要】 後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施											
	メンタルヘルス対策	〔継続〕 【目的】 事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】 事業主、管理職や担当者向けのセミナーの開催												

目次

STEP 1	現状を把握する	4	付録1	医療費の三要素分析	44
1-1	基本情報	5	付録2	疾病19分類	45
1-1-1	基本情報	6	1-4	健康分布	46
1-1-2	保健事業の実施状況	7	1-4-1	健康分布図－肥満によるリスク分布（男性）－	47
1-2	特定健診・保健指導	13	1-4-2	健康分布図－肥満によるリスク分布（女性）－	48
1-2-1	実施状況等－令和4・5年度－〔被保険者〕	14	1-4-3	健康分布図－問診票分析（食習慣）－	49
1-2-2	実施状況等－令和4・5年度－〔被扶養者〕	16	1-4-4	健康分布図－問診票分析（その他）－	50
1-2-3	実施状況の比較－令和4年度の実施率等－	17	1-4-5	健康分布図（被保険者）－BMI・腹囲－	51
1-2-4	実施状況の比較－令和4年度の服薬状況－	18	1-4-6	健康分布図（被保険者）－糖尿病指標－	52
1-3	医療費	19	1-4-7	健康分布図（被保険者）－血圧－	53
1-3-1	年齢階層別医療費 男性本人家族計	20	1-4-8	健康分布図（被保険者）－HDLコレステロールとLDLコレステロール－	54
1-3-2	年齢階層別医療費 女性本人家族計	21	1-4-9	健康分布図（被保険者）－AST（GOT）とALT（GPT）－	55
1-3-3	年齢階層別医療費 男性本人	22	1-4-10	健康分布図（被保険者）－γ-GP（γ-GPT）と中性脂肪－	56
1-3-4	年齢階層別医療費 女性本人	23	1-4-11	健康分布図（全体）－喫煙率－	57
1-3-5	年齢階層別医療費 男性家族	24	付録3	健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等	58
1-3-6	年齢階層別医療費 女性家族	25	付録4	特定保健指導の階層化フロー	59
1-3-7	診療区分別医療費の三要素 ① －令和4・5年度－	26	付録5	健診検査項目の概要	60
1-3-8	診療区分別医療費の三要素 ② －令和4・5年度－	27	1-5	後発医薬品	61
1-3-9	疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人	28	1-5-1	後発医薬品の使用状況 本人家族	62
1-3-10	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人	29	1-5-2	後発医薬品の使用状況 本人	63
1-3-11	生活習慣病 医科入院三要素 男性本人	30	1-5-3	後発医薬品の使用状況 家族	64
1-3-12	生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人	31	1-5-4	後発医薬品の使用割合の比較 －令和6年3月調剤分－	65
1-3-13	疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人	32	1-5-5	後発医薬品の薬剤費割合の比較 －令和6年3月調剤分－	66
1-3-14	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人	33	STEP 2	健康課題を抽出する	67
1-3-15	生活習慣病 医科入院三要素 女性本人	34	2	健康課題抽出	68
1-3-16	生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人	35	STEP 3	課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する	69
1-3-17	疾病19分類別 医科入院三要素 男性家族	36	3-1	実施計画	70
1-3-18	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性家族	37	3-1	保健事業の実施計画	71
1-3-19	生活習慣病 医科入院三要素 男性家族	38	3-2	目標	82
1-3-20	生活習慣病 医科入院外三要素 男性家族	39	3-2	保健事業の目標	83
1-3-21	疾病19分類別 医科入院三要素 女性家族	40			
1-3-22	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性家族	41			
1-3-23	生活習慣病 医科入院三要素 女性家族	42			
1-3-24	生活習慣病 医科入院外三要素 女性家族	43			

STEP 1

現状を把握する

POINT

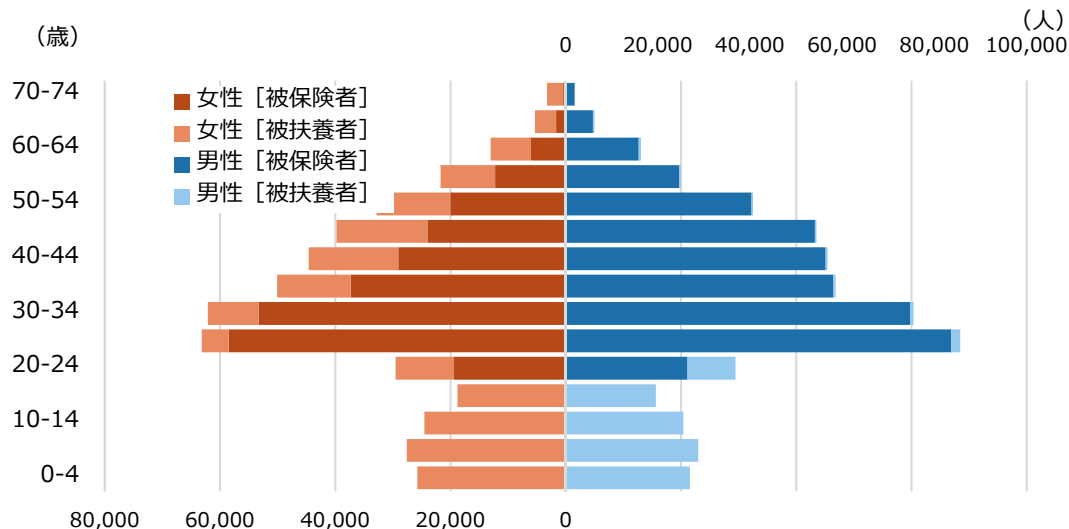
- はじめに加入者の属性、事業所の概要、健保組合がこれまで実施してきた取組を棚卸しします。何ができていて何ができていないかを整理したうえで、これまでの事業を活用する視点が大切になります。
- 健保組合の健康課題を明確にするため医療データと健診データで現状を把握し、基本分析では可能な限り、他の医療保険者や健保組合と自健保組合を比較して特徴を明確にします。

STEP 1-1

基本情報

- 1-1-2 保健事業の実施状況は、令和5年度の実施状況（実績）です。

組合コード	28370		
組合名称	関東ITソフトウェア健康保険組合		
形態	総合		
被保険者数（令和7年度予算）	男性 62.8% 女性 37.2%	704,000 人 平均年齢 39.0歳 平均年齢 36.8歳	
加入者数（令和7年度予算）	1,020,800 人		
適用事業所数（令和6年12月末現在）	7,423 社		
対象となる拠点数	-		
保険料率（令和7年度予算）※調整を含む。	95/1000		
	全 体	被保険者	被扶養者
■ 特定健康診査実施率（令和5年度）	78.6%	87.9%	41.7%
■ 特定保健指導実施率（令和5年度）	31.3%	31.9%	17.3%



令和7年3月末見込み			
		常 勤	非常勤
健保組合	顧問医	1 人	0 人
	保健師等	1 人	0 人
事業主	産業医	- 人	- 人
	保健師等	- 人	- 人
保健事業費		令和7年度予算額	被保険者一人当金額
■ 特定健康診査事業費		213,944 千円	304 円
■ 特定保健指導事業費		608,767 千円	865 円
■ 保健指導宣伝費		322,079 千円	457 円
■ 疾病予防費		15,937,026 千円	22,638 円
■ 体育奨励費		925,244 千円	1,314 円
■ 直営保養所費		1,665,828 千円	2,366 円
■ 契約保養所費		1,504,789 千円	2,137 円
■ 保健会館費		2,286,112 千円	3,247 円
■ その他		675,925 千円	960 円
合 計		a 24,139,714 千円	34,289 円
令和7年度予算 経常支出合計		b 377,965,806 千円	a/b= 6.39 %

- ・大規模な健保組合であるが適用事業所（窓口）数が多く、1社当りの被保険者数は平均で 93.3人（令和6年12月末現在）と、個々の事業所規模は決して大きくはない。
- ・被保険者の特定健診実施率を高値で維持している。
- ・20歳・30歳代が被保険者全体の58.4%を占め、若い被保険者構成となっている。
- ・被扶養者数は、令和6年12月末現在で310,178人（扶養率0.45）であり低い扶養割合となっている。
- ・前期高齢者である加入者数は、令和6年12月末現在で14,447人（加入率1.44%）と極めて低い構成となっている。

健保組合の取り組み

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	3	特定健診 (被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～74	全員	0	通年 受診者数 210,992名 受診率 87.9%	・ 健診機関を設置し 受診機会の増	・ 健保補助の健診を利用していない事業所の結果データを受領できていない	4
	3	特定健診 (被扶養者、任継)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	177,909	通年 受診者数 25,077名 受診率 41.7% (暫定値)	・ 契約健診機関を設置し 受診機会の増 ・ 過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・ 対象者の健診に対する理解不足 ・ 受診機会の不足	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	基準 該当者	368,792	動機付 対象者数 21,104名 終了者数 8,662名	・ 健診時における当日実施の拡充 ・ 当日実施可能な健診機関の設置 ・ 遠隔保健指導の実施 ・ 保健指導支援室による電話案内、事業所訪問 ・ 共同利用による事業所との連携強化	・ 対象者の保健指導に対する理解不足 ・ 事業所との連携不能（勤務時間中の離席に対する対応など）	4
										積極的 対象者数 31,238名 終了者数 7,705名			
										実施率 31.3%			
保健指導宣伝	1,5	ITSコラボヘルス	【目的】健康経営に関する情報発信 【概要】事業所とのコミュニケーションを通じ、健康に配慮する文化を創造する。	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3,204	年3回開催 7月、12月、3月	・ 職場の健康づくりに意識が高い事業所を対象に実施 ・ 健康経営優良法人認定に係る情報の提供 ・ 外部事業者の有効利用	・ 健康づくりの企業風土への定着に向けた実践的な取組及び事業所間で共有できる好事例の不足	5
	1	健康企業宣言サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修及び保健事業の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	8,073	実施事業所 25社 (8,297名) 利用	・ 宣言実施事業所へメール/HPを通じた周知広報 ・ ITSコラボヘルス、健康企業宣言説明会での制度案内 ・ 健康経営優良法人（中小規模法人）認定制度の進展	・ 事業所や担当者への周知不足	3
	1	健康企業宣言説明会 宣言未参加説明会	【目的】事業所が提出する申請書類の提出サポート/制度の最新情報の共有 【概要】企業宣言事務担当者向け、宣言未参加事業所向け説明会を開催	-	一部の事業所	-	-	-	0	【宣言説明会】 5月 参加数 88社 【宣言未参加説明会】 8月 参加数 65社 2月 参加数 56社	・ 健康企業宣言及び健康経営優良法人認定制度に関する最新の動向を共有	-	5

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価）1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み

予 算 科 目	事 業 分 類	事 業 名	事業の目的および概要	対 象 者					事業費 (千円)	振り返り			評 価
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健 指導 宣伝	2	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	80,493	社員に事業所経由の配布 ホームページにも同時掲載	・健保が実施する保健事業の周知及び参加率の向上に寄与	-	5
	2	健康ポータルサイトの管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	101,876	登録者数 Pep Up 110,795名	・全事業所へのメール配信/機関紙/HPを通じた周知広報 ・ポケットティッシュの配布 ・11月よりPep Upデータの共同利用開始 ・ウォーキングイベント以外の新しいイベントの企画・開催	・事業所や被保険者への周知広報不足	5
	2,5	ポリファーマシー通知	【目的】重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】多剤服薬による有害事象リスク者へ通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1,523	案内送付者数 4,422通	・多剤服薬による有害事象リスク者へ通知を送付	・多剤服薬のリスクに対する理解不足	-
	1,2,5	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の啓蒙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減	-	事業所	-	-	-	988	配布数 6,450社	・機関誌送付の際に事業所へポスターを配布	・事業所との連携不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	2,3	受診促進事業	【目的】被扶養者健診の啓蒙 【概要】被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う	被扶養者	全て	女	40 ～ 74	過去2年間受診履歴のない被扶養配偶者	2,321	案内送付者数 10,000通	・過去2年間に受診履歴のない被扶養配偶者の自宅へ受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足	5
	7	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	後発医薬品差額通知 年4回実施(6,9,12,3月) 差額通知件数 65,604件	・機関紙/HPを通じた周知広報、ジェネリックお願いシール申込フォームの設置	・事業所や被保険者への周知広報不足	5
	1,5	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けのセミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1,188	参加者数 486名	・主に中小規模事業所を対象として案内	・事業所ごとの問題点への対応不能 ・参加者のメンタルヘルス対策に対する知識レベルの相違	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み

予 算 科 目	事 業 分 類	事 業 名	事業の目的および概要	対 象 者					事業費 (千円)	振り返り			評 価
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病 予 防	3	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	10,387,975	通年 受診者数 575,926名 (巡回特定健診 160名を含み、人間ドック受診者のうち脳MR検査 2,763名、肺CT検査 2,267名実施)	・ 若年層のドック受診機会の拡充 ・ 健診車での実施契約拡充	-	4
	3	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	244,458	春季・秋季 受診者数 18,300名	・ 全額健保負担 ・ 過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・ 対象者の健診に対する理解不足 ・ 健診日が特定されることによる、受診機会の不足	3
	3	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間の健診未受診者	23,395	利用者数 2,044名	・ 過去2年間に受診履歴のない被扶養配偶者の自宅へ生活習慣病検査の案内送付	・ 対象者の健診に対する理解不足	5
	3	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1,320,492	通年 受診者数 140,109名	・ 健診のOPとすることによる受診者の利便性の向上	・ 検査により受診不可な施設がある	5
	3	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	49,781	通年 受診者数 脳MR検査 2,395名 肺CT検査 1,311名 (他、脳MR検査2,763名、肺CT検査2,267名はドック受診時に実施)	・ 健保補助により低額での受診が可能 ・ 一次健診との同時実施が可能	・ 地方での受診機会の不足 ・ リスク対象者への案内不足	5
	3	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	32,558	春季・秋季 受診者数 3,844名	・ 全額健保負担 ・ 郵送検査での実施	・ 事業所や担当者への周知不足 ・ 対象者の検査に対する理解不足	2
	3	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	23,664	通年 受診者数 7,199名	・ 全額健保負担 ・ 事業所での実施が可能 ・ 土日の実施が可能（健保会館型）	・ 地方での受診機会の不足 ・ 対象者の健診に対する理解不足	2
	3	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	325,905	10月～1月 利用者数 160,932名	・ 東振協を利用することで全国多数の施設で補助による接種が可能	-	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	2,5	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16～39	基準該当者	15,960	通年 案内送付 6,432通 参加者数 316名	・対象者の自宅住所へ案内送付 ・webからの参加申込 ・全額健保負担	・対象者のリスクに対する理解不足	3
	2,5	ダイエットプログラム	【目的】BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	2,326	通年 参加者数 542名	・全額健保負担 ・webからの自由参加型	・対象者への周知不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	3
	2,5	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型2日間の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	11,691	案内送付 4,100通 参加者数 55名	・webからの参加申込 ・全額健保負担 ・参加者との信頼関係の構築	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	4
	2,6	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16～74	基準該当者	10,978	通年 案内送付 748通 参加者数 674名 参加率 90.1%	・全額健保負担 ・電話で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足 ・事業所との連携不足	5
	4	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	5,293	通年 【電話勧奨】 案内送付 748通 通院開始者数 235名 通院率 31.4% 【文書勧奨】 案内送付 917通 通院開始者数 252名 通院率 27.5%	・受診がないと思われる者に電話、または文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	4
	4	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症重症化予防 【概要】血圧高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	4,474	通年 案内送付 5,422通 通院開始者数 848名 通院率 15.6%	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	4	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症重症化予防 【概要】脂質異常症の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39～74	基準該当者	3,816	通年 案内送付 4,623通 通院開始者数 596名 通院率 12.9%	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	4
	2,6	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸 【概要】将来の生活の質を低下させないための保健指導	被保険者 被扶養者	全て	男女	64～74	基準該当者	8,509	9月～3月 案内送付 2,584通 参加者数 244名 参加率 9.4%	・レセプトや健診結果をもとに階層化し、事業所を通じて案内を送付。 ・訪問または電話で指導を実施	・対象者への周知不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	2

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価）1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対 象 者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	5,8	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による加盟事業所の対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	7,715	9月～10月 参加チーム数 180チーム	・ 事業所間交流の推進 ・ 加入者の健康増進	－	3
	5	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	217,494	6月・9月～11月 参加者数 64,783名	・ 加入者の健康増進	－	2
	5	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者)	全て	男女	16 ～74	全員	28,185	通年 利用者数 5,843名	・ 加入者の健康増進	－	3
	5	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	6,908	7月・8月、12～3月 利用者数 5,036名	・ 加入者の健康増進	－	1
	5	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	8,536	7月・8月 参加者数 535名	・ 加入者の健康増進	－	4
	5	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	6,909	11月・12月 参加チーム数 203チーム	・ 事業所間交流の推進 ・ 加入者の健康増進	－	3
	5	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区での日帰りウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	10,298	4月・10月～12月・3月 参加者数 1,646名	・ 加入者の健康増進	－	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対 象 者					事業費 (千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	5	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ戦後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	2,463	9月～10月 参加チーム数 50チーム	・ 事業所間交流の推進 ・ 加入者の健康増進	－	1
	5	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区での日帰りハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	6,194	5月・7月・9月 参加者数 521名	・ 加入者の健康増進	－	4
	5	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	6,228	6月・10月 参加者数 182名	・ 加入者の健康増進	－	3
	5	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1,868	2月 参加チーム数 307チーム	・ 加入者の健康増進	－	2
	5	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	237,944	スポーツクラブ 利用者数 224,311名 スポーツ施設 利用グループ数 1,170グループ	・ 加入者の健康増進	－	2
直営保養所	8	直営保養施設	【目的】健康増進 【概要】直営保養施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1,834,114	通年 利用者数 58,945名	・ 加入者の健康増進	－	4
契約保養所	8	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1,060,888	通年 利用者数 74,140名	・ 加入者の健康増進	－	4

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

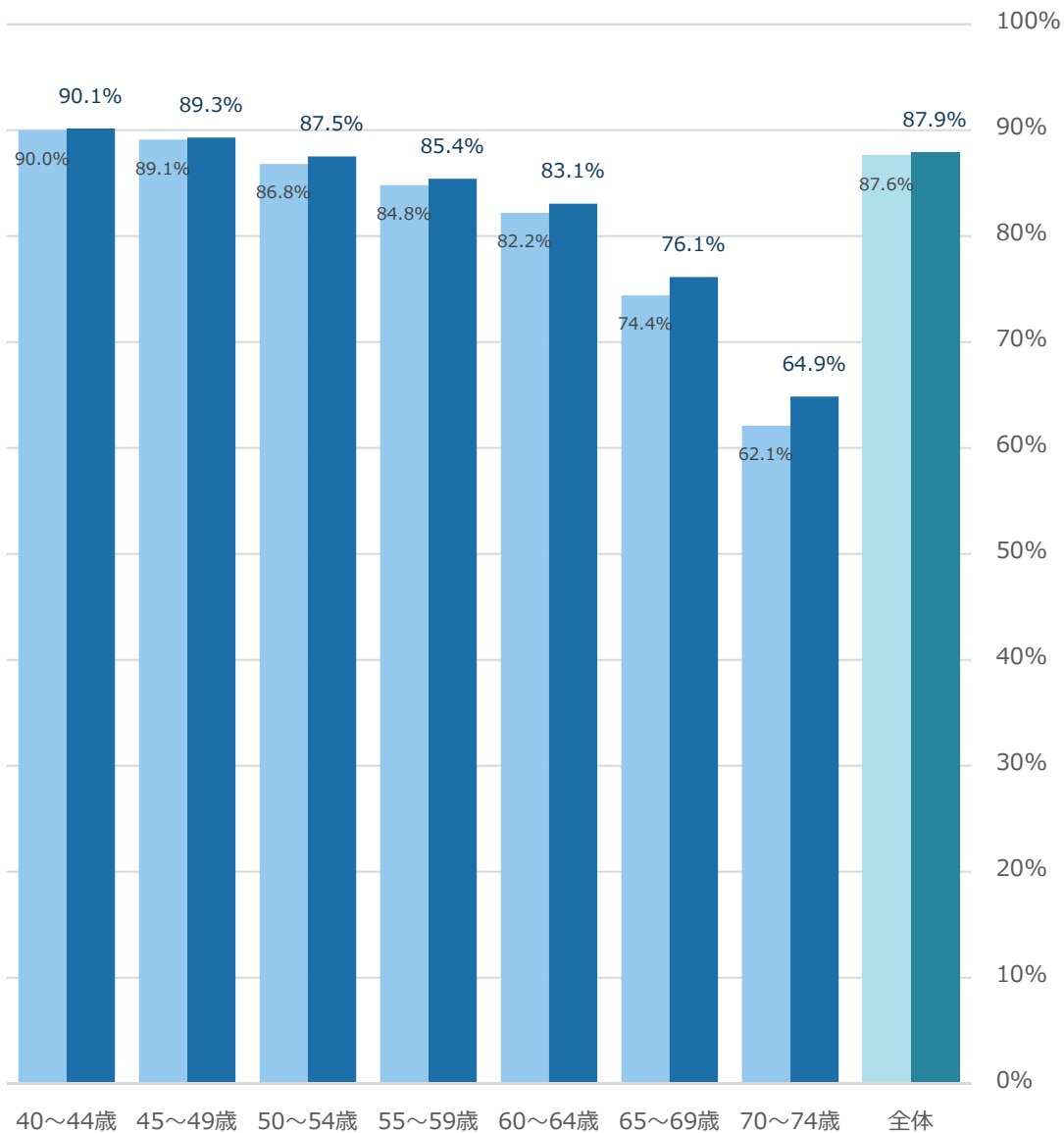
STEP 1-2

特定健診・保健指導

1-2-1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和4・5年度 – [被保険者]

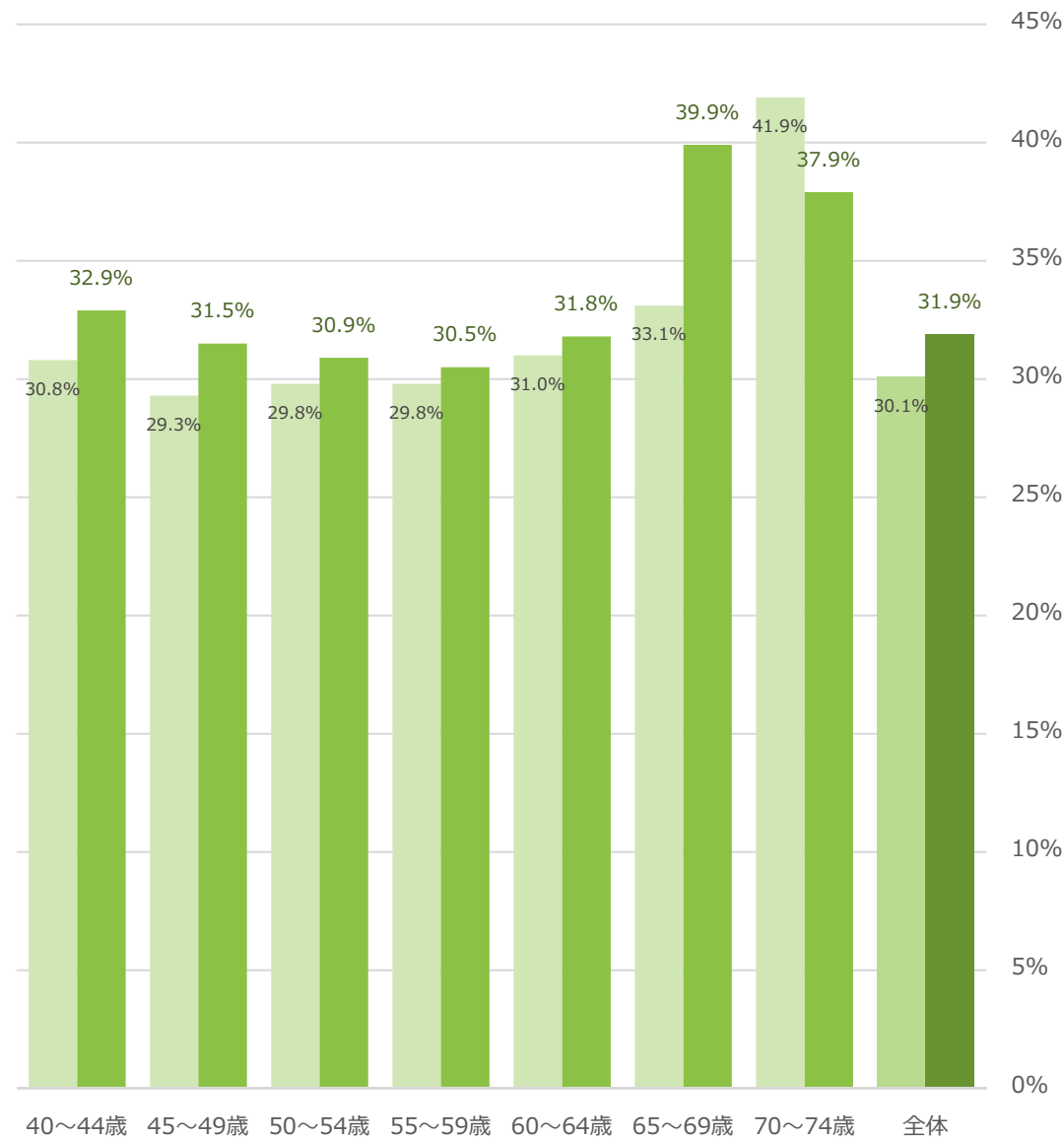
特定健診の受診率 [被保険者]

令和4年度
令和5年度



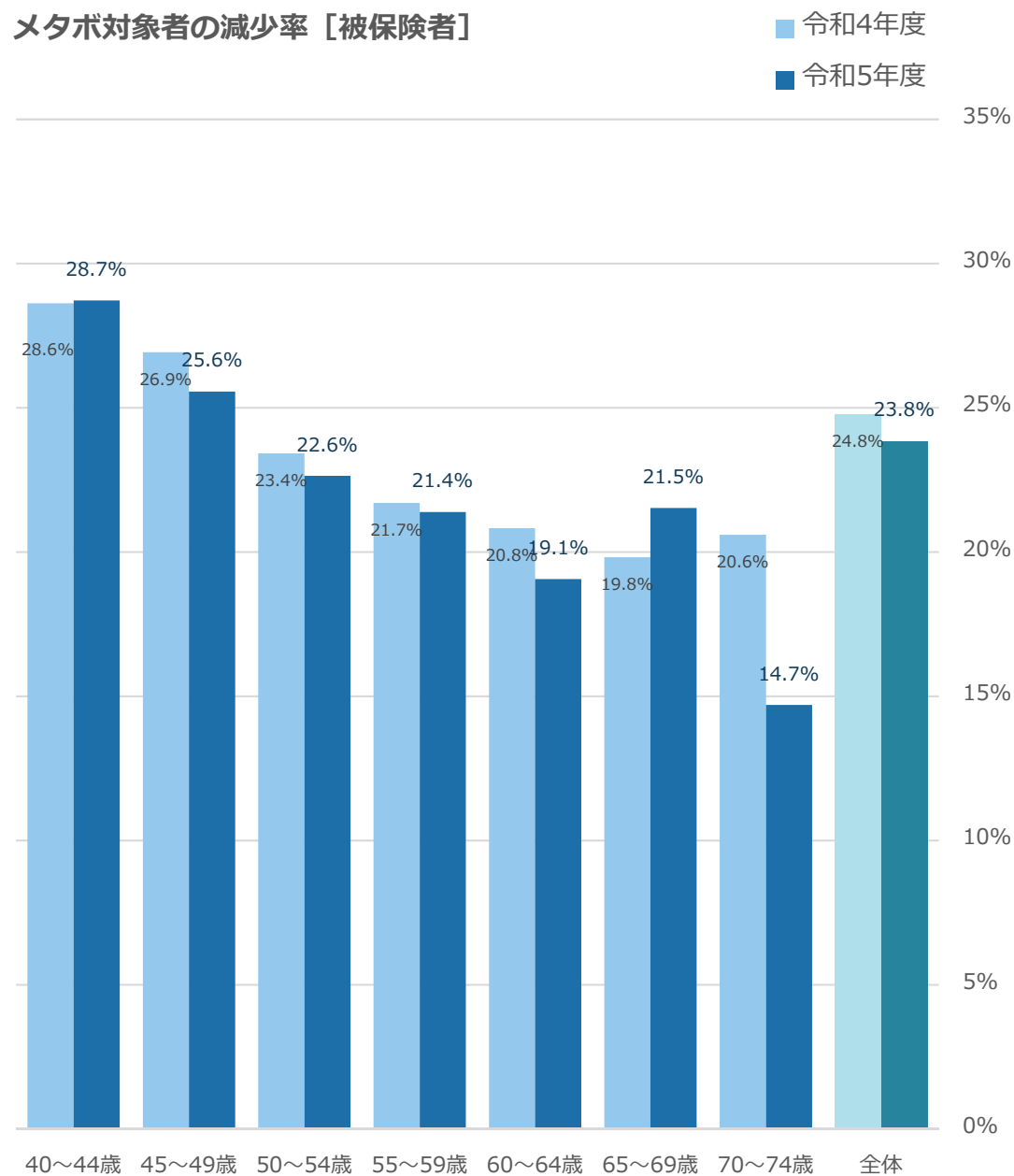
特定保健指導の実施率 [被保険者]

令和4年度
令和5年度

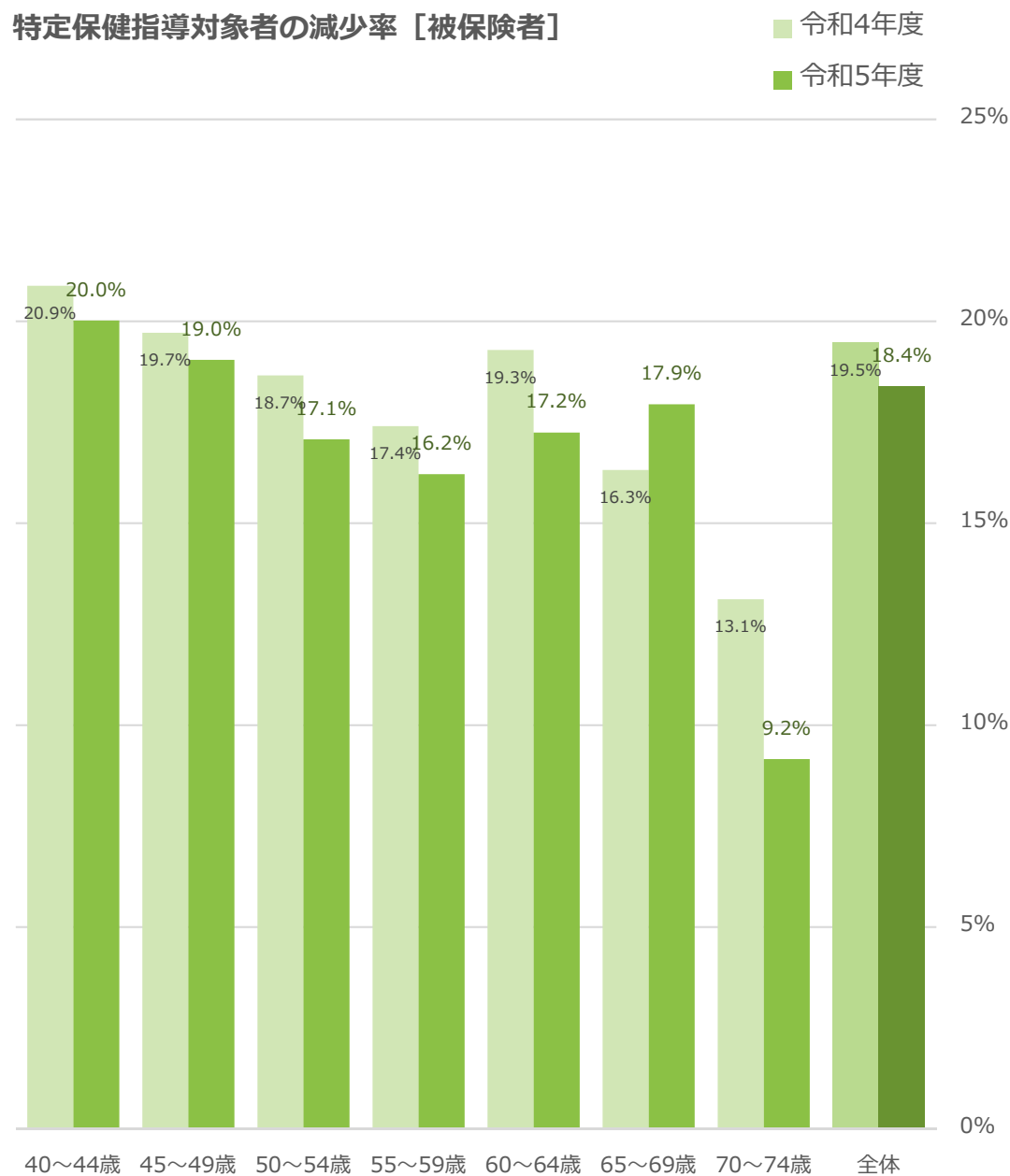


1-2-1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和4・5年度 – [被保険者]

メタボ対象者の減少率 [被保険者]

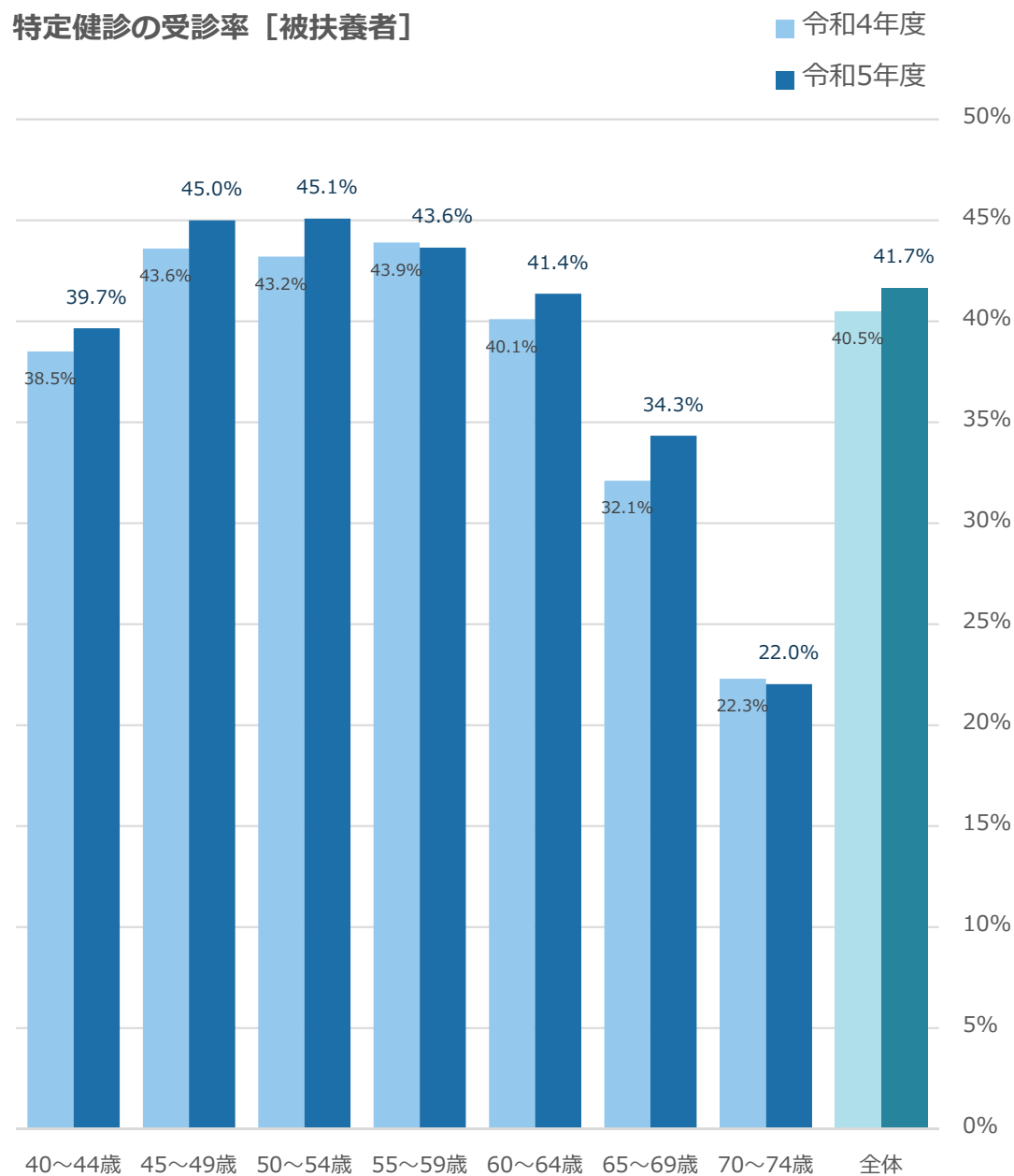


特定保健指導対象者の減少率 [被保険者]

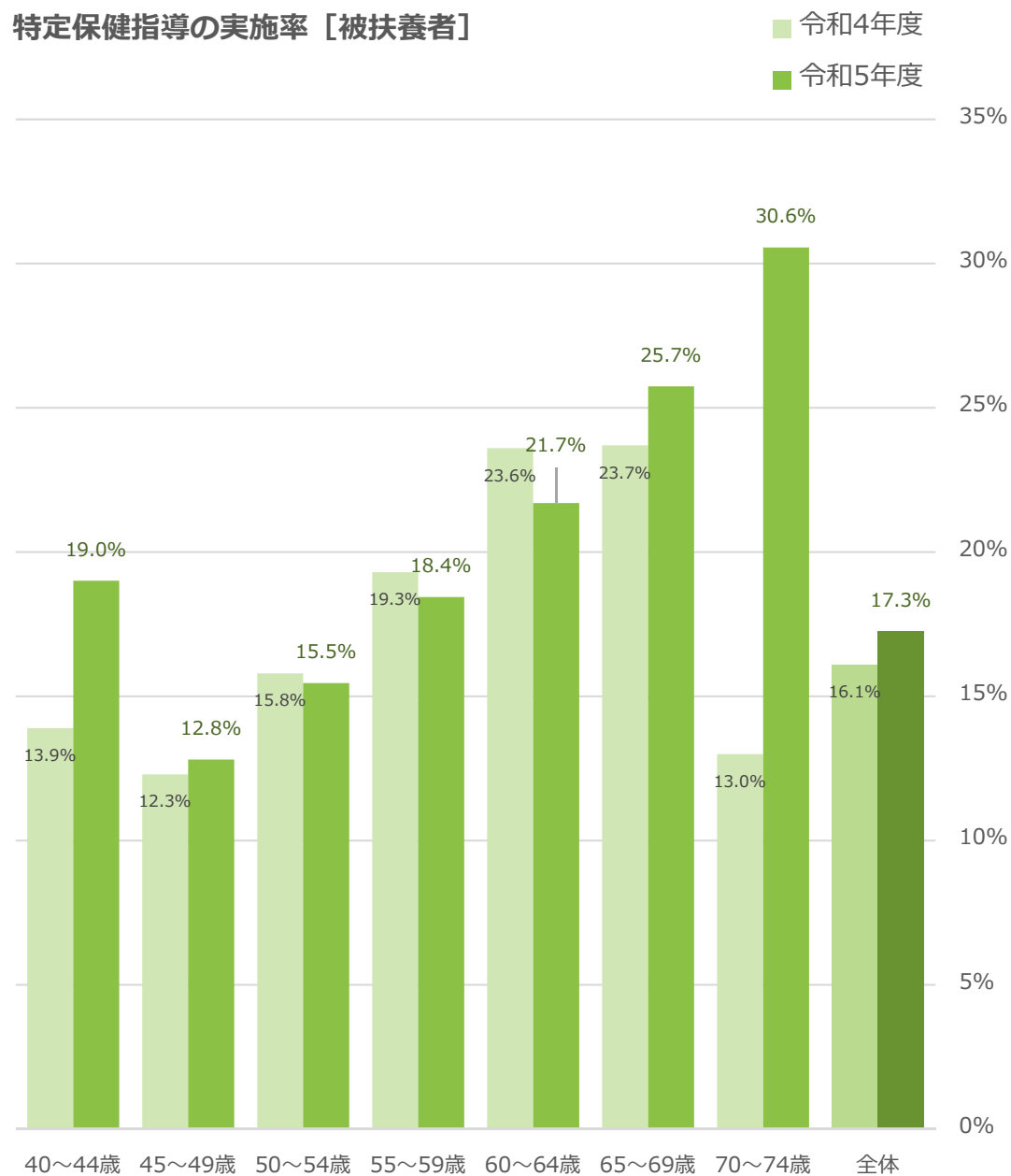


1-2-2 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 – 令和4・5年度 – [被扶養者]

特定健診の受診率 [被扶養者]

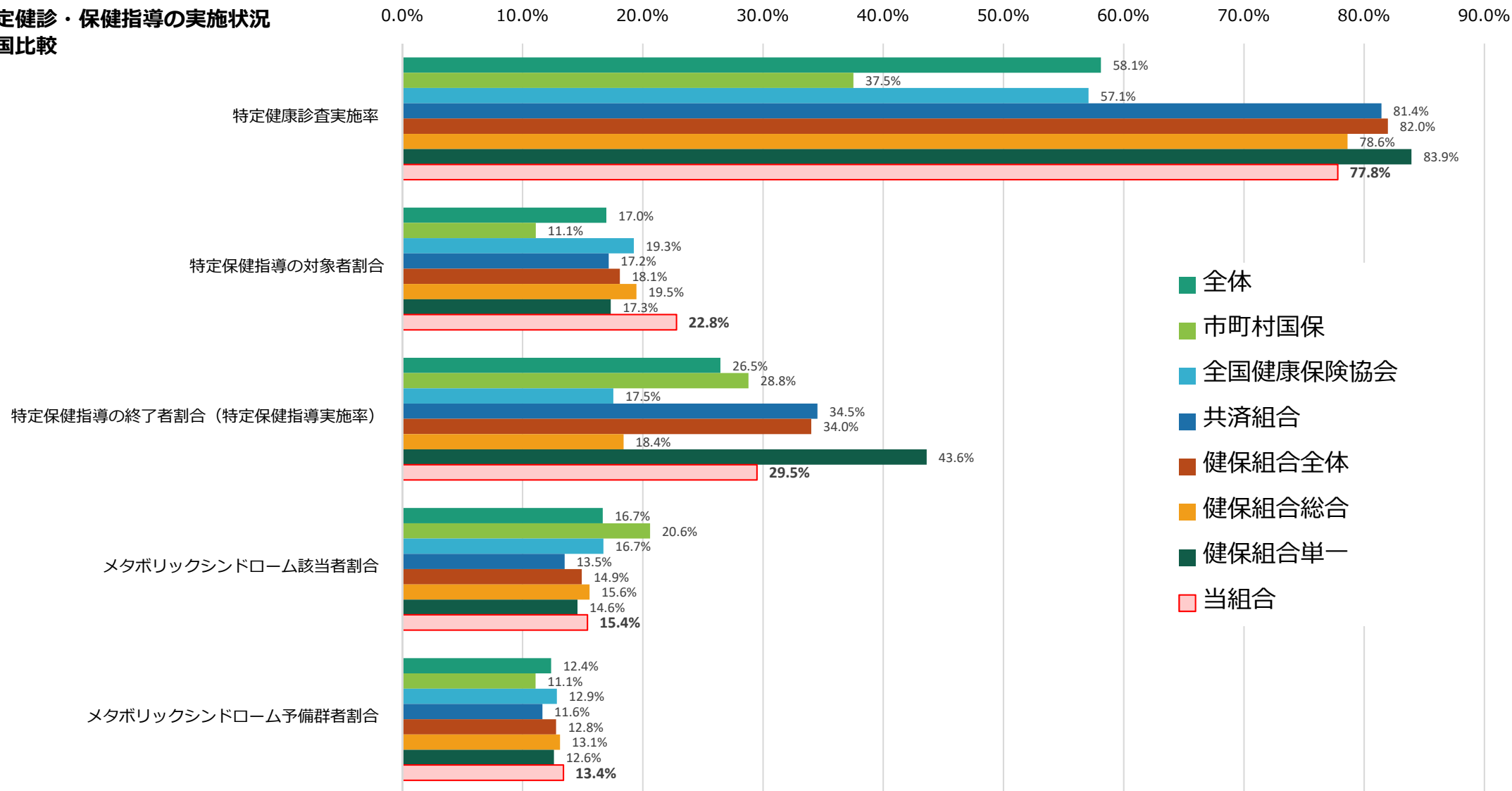


特定保健指導の実施率 [被扶養者]



1-2-3 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和4年度の実施率等 –

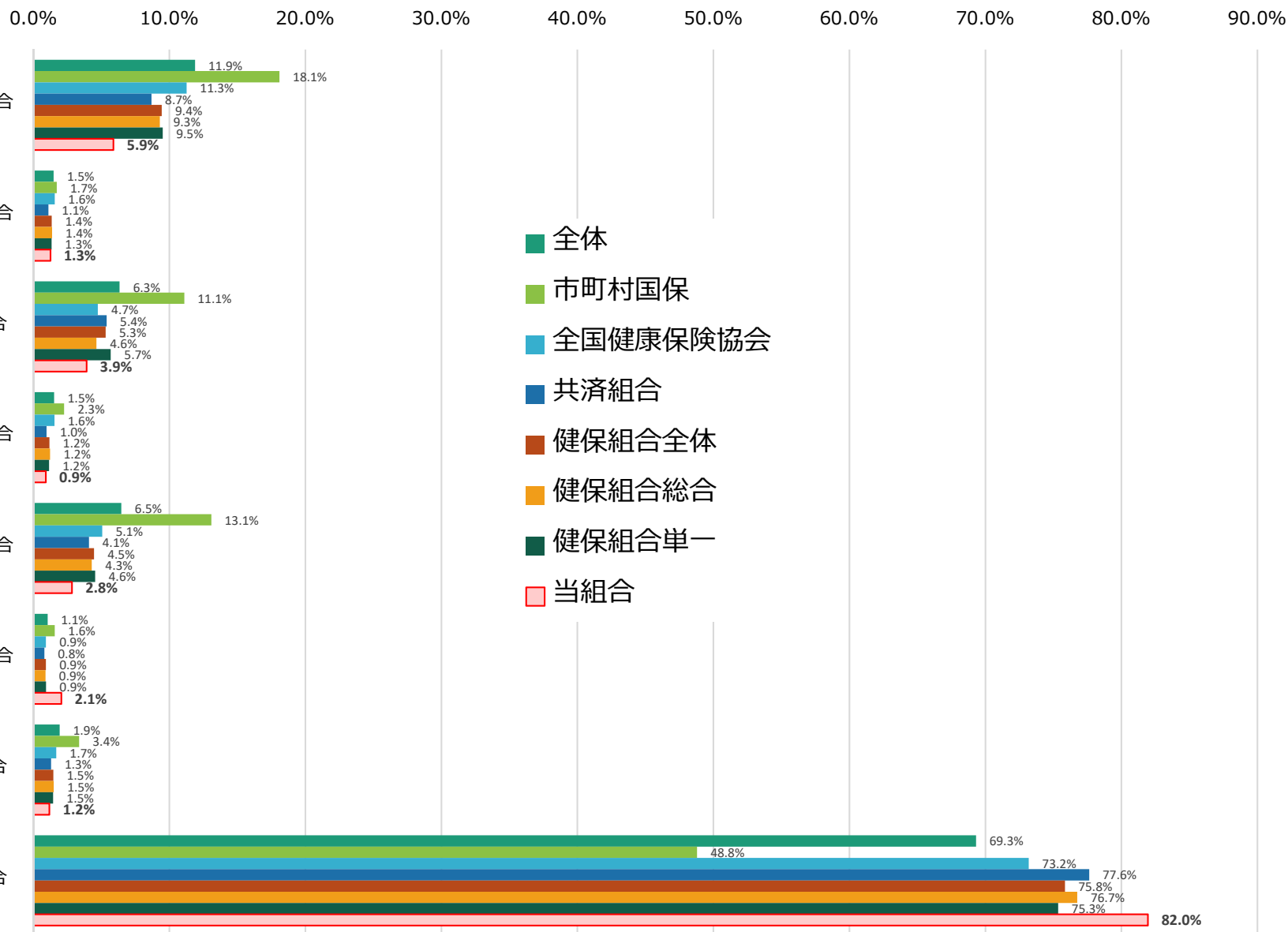
特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



- 特定健診・特定保健指導の実施率は全体と比べると高いが、健保組合全体と比べると低い。
- 特定保健指導の対象者割合がどこよりも高い。
- メタボリックシンドロームについては全体よりも該当者割合は低いが予備群者割合は高い。

1-2-4 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和4年度の服薬状況 –

特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



■ 薬剤を服用していない者の割合が非常に高いが、その値は令和3年度より2.1ポイント減少している。

STEP 1-3

医療費

- 分析対象の医療費は、令和5年4月から令和6年3月診療分のレセプトを集計したもの。
- システムによる分析対象レセプトは、電子レセによるものを客体としている。
- 前年度と比較したシートには対象年度を表示
- 医療費の三要素については「付録1」を参照（43頁）
- 疾病19分類については「付録2」を参照（44頁）

【医療費関係三要素の計算定義と説明】

「医療費」 診療報酬点数×10円。平均医療費を計算する場合、円未満端数を四捨五入

「1人当たり医療費」 医療費÷加入者（加入者は算出対象ごとの加入者の総数）で計算。円未満端数を四捨五入。
また、複数診療月分の1人当たり医療費を計算する場合、分母の加入者数は1ヶ月当り平均加入者数を用いて計算。グラフ・表内で「1人当医療費」と表記

「受診率」 受診率は1,000人当りの件数。レセプト件数÷（加入者数÷1000）で計算。小数点以下第5位四捨五入
グラフ・表内で「受診率」と表記

「1件当たり日数」 日数÷レセプト件数で計算。小数点以下第3位四捨五入。グラフ・表内で「1件当日数」と表記

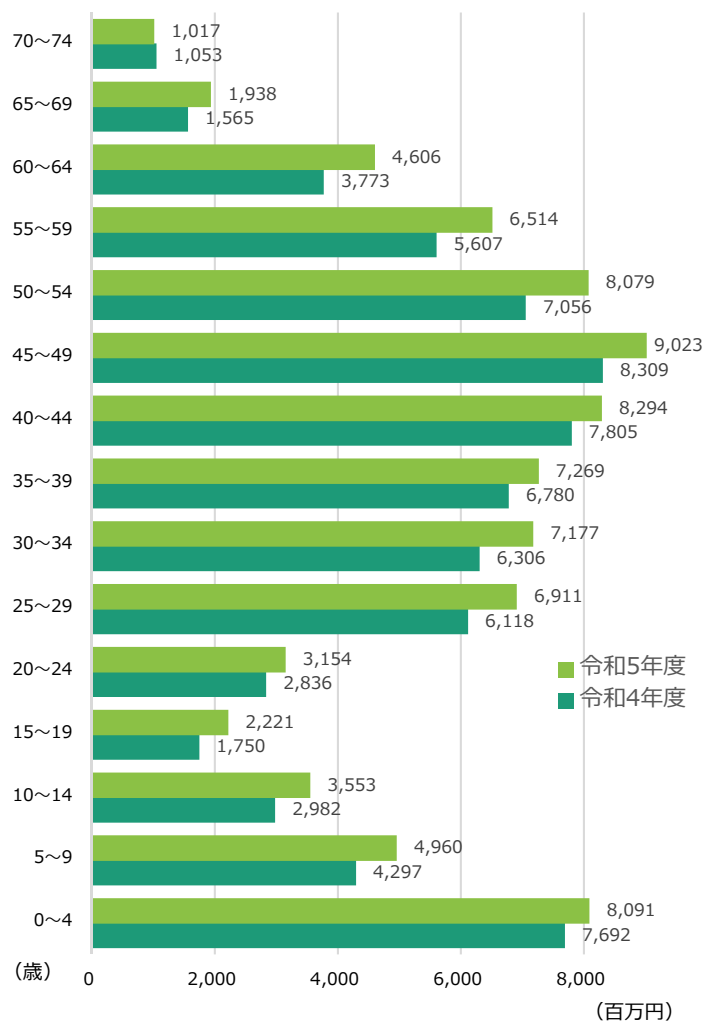
「1日当たり医療費」 医療費÷日数で計算。円未満端数を四捨五入。調剤の場合は、日数に替えて「処方箋回数」で計算。グラフ・表内で「1日当医療費」と表記

【分析客体の簡易表示】

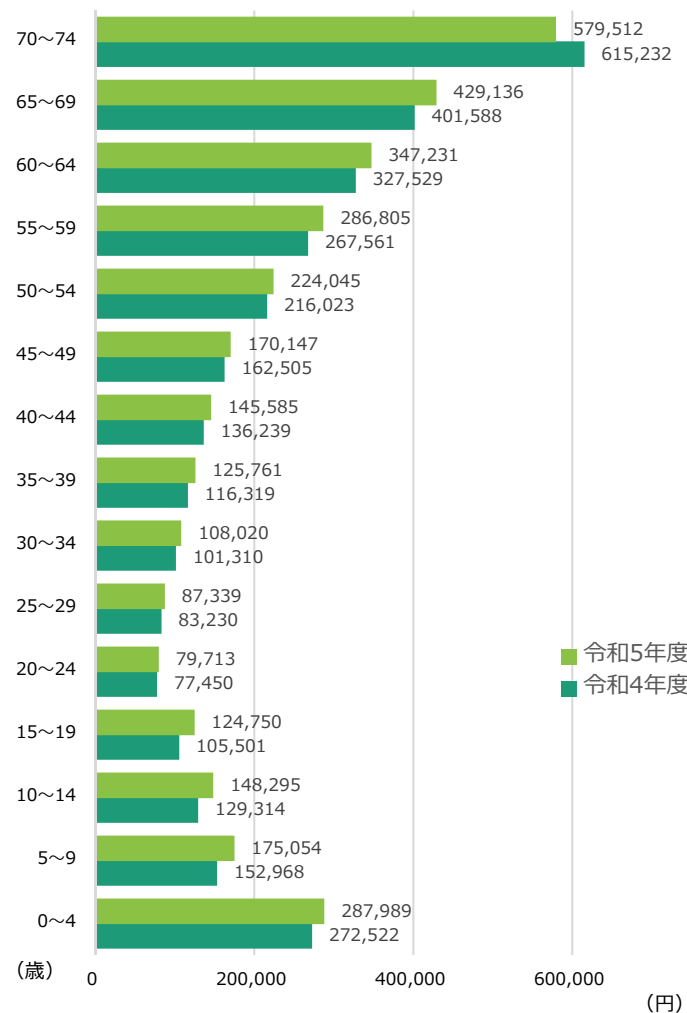
頁右上にラベルは、当該頁の分析対象となっている客体を示しています。

入院外	医科での通院	入院	医科での入院	歯科	歯科での入院通院	調剤	処方箋に基づく調剤
本人	被保険者本人	家族	被扶養者家族	男性	男性	女性	女性

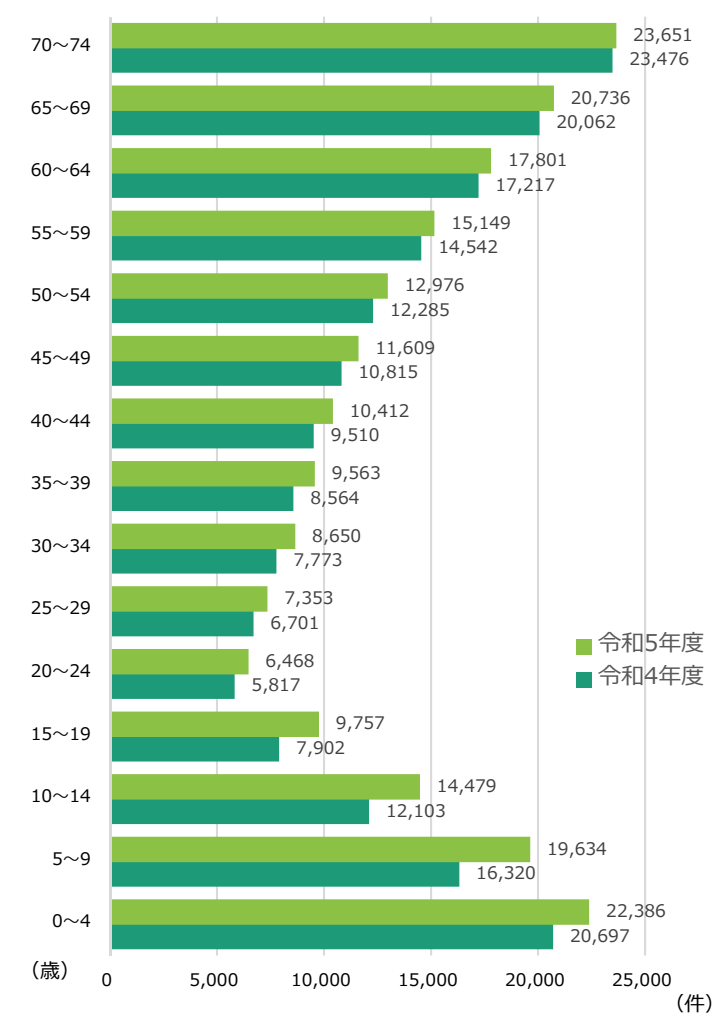
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受診率 男性

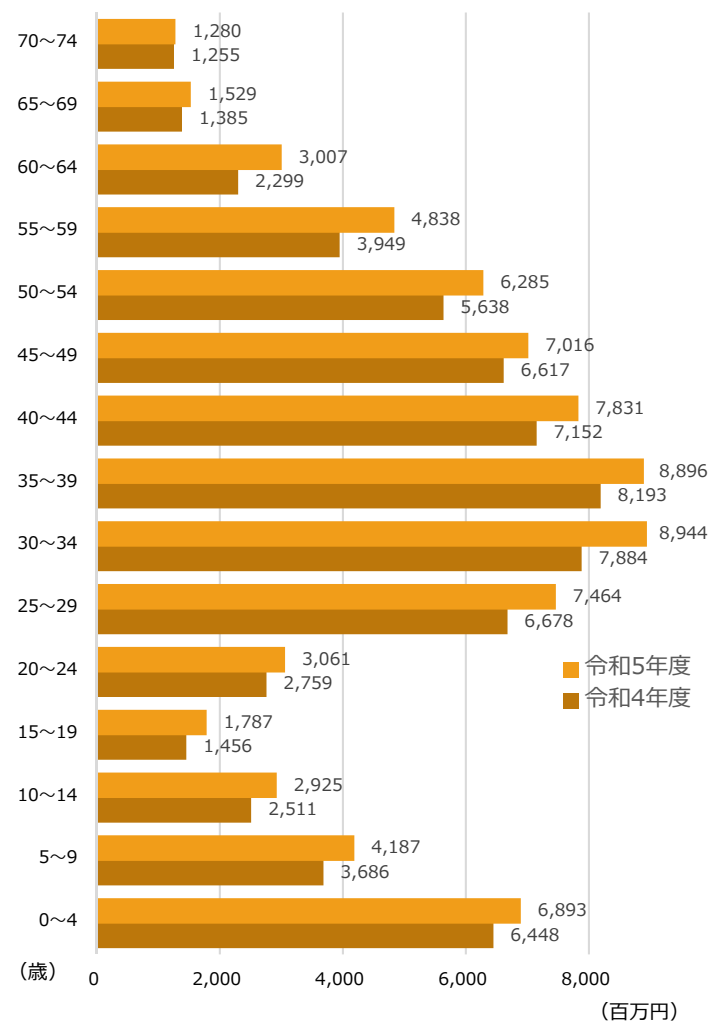


- 医療費総額、受診率においては、ほとんどの年齢階層で前年を上回っている。
- 乳幼児は、医療費総額、1人当医療費及び受診率ともに高い。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに1人当医療費、受診率が高くなる。

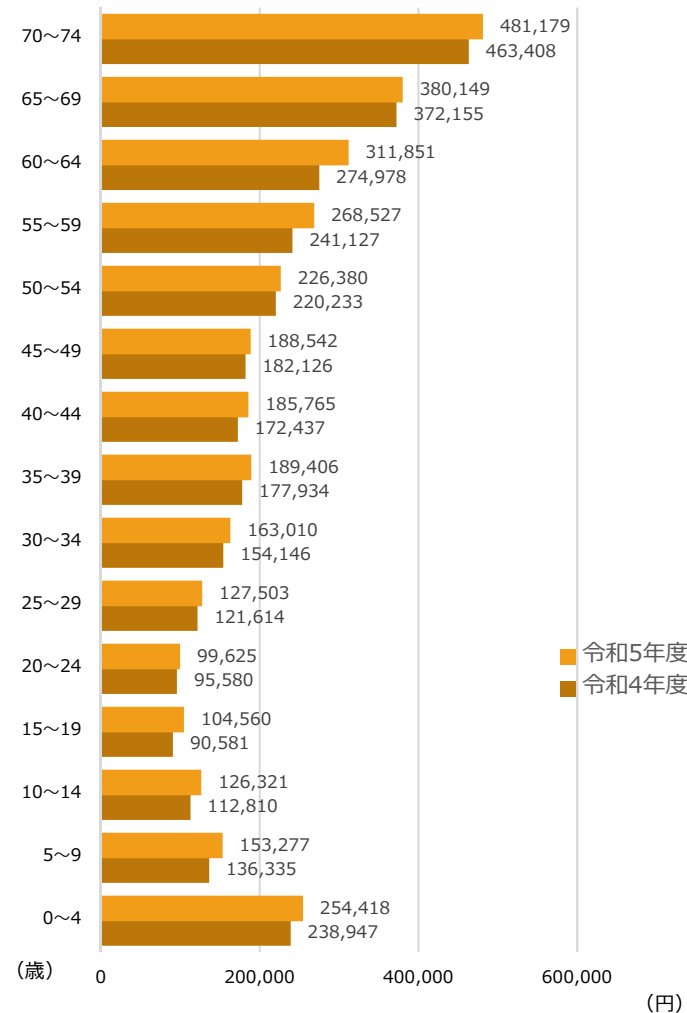
1-3-2 年齢階層別医療費 女性本人家族計

入院外	歯科	本人	
入院	調剤	家族	女性

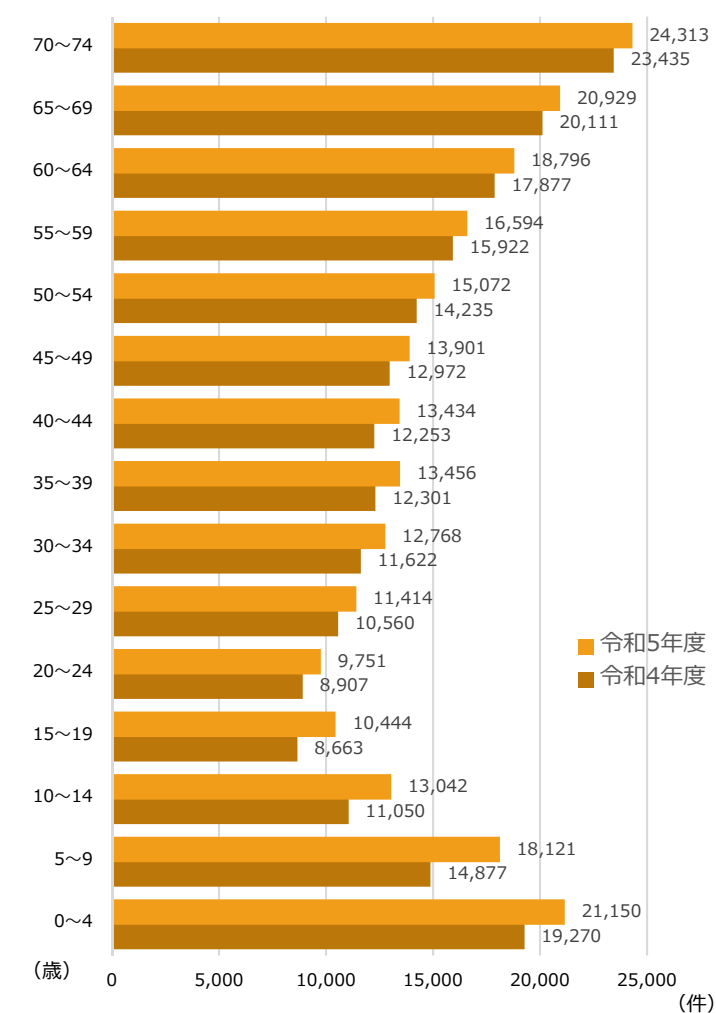
医療費総額 女性



1人当医療費 女性



受診率 女性

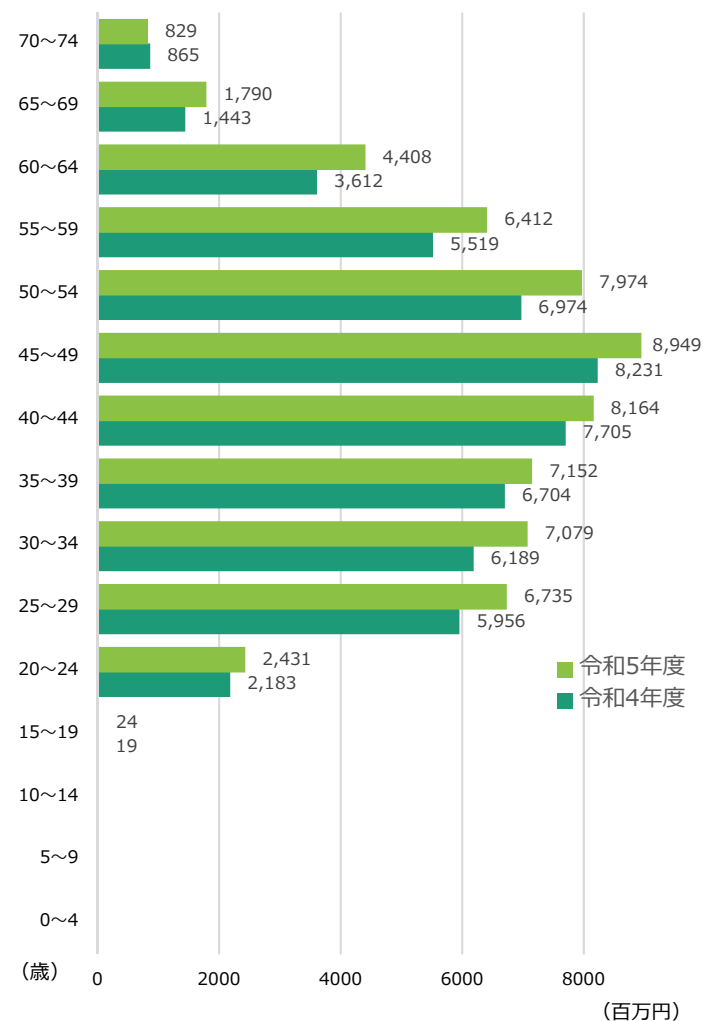


- いずれの項目もすべての年齢階層で前年を上回っている。
- 特に医療費総額は25~64歳で大幅に伸びている。

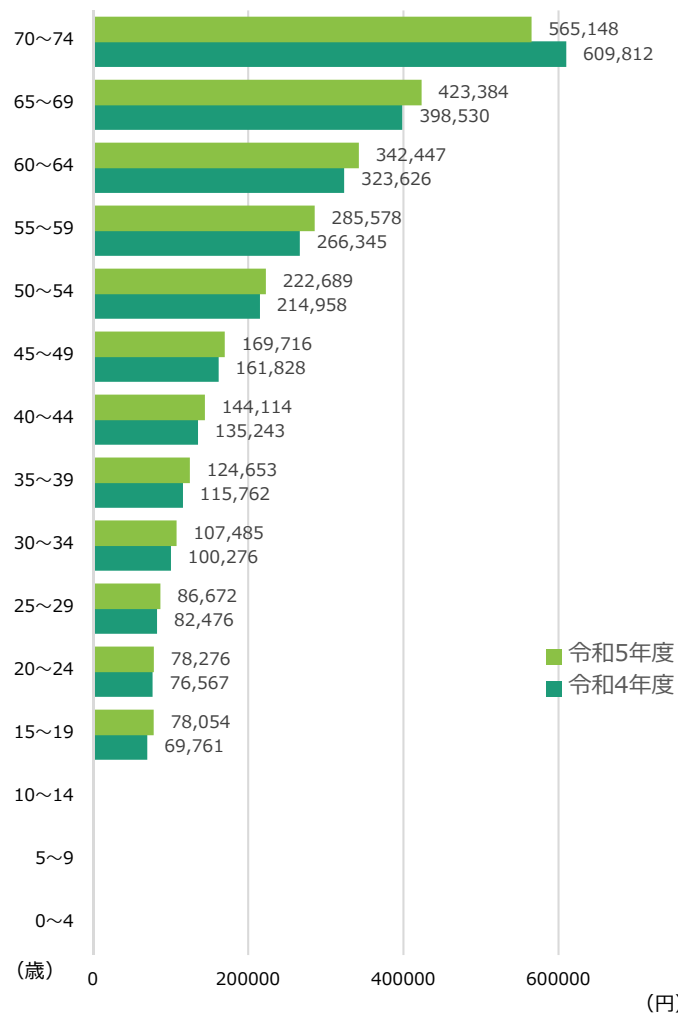
1-3-3 年齢階層別医療費 男性本人

入院外	歯科	本人	男性
入院	調剤		

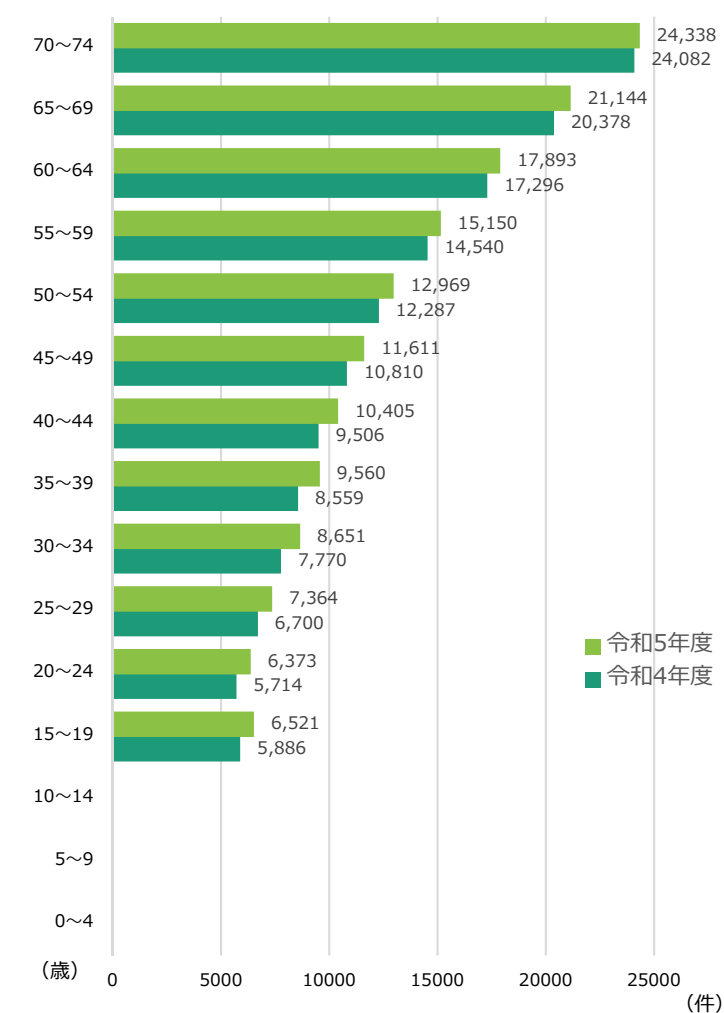
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受診率 男性

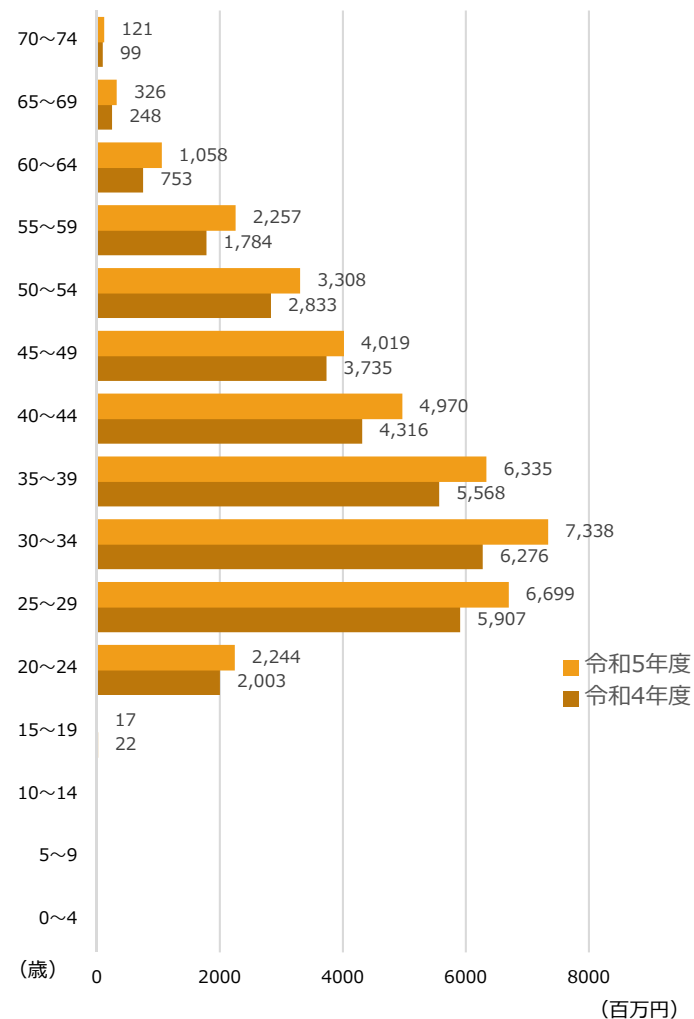


- 医療費総額が70~74歳を除く年齢階層で前年を上回っている。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに1人当医療費、受診率が高くなる。

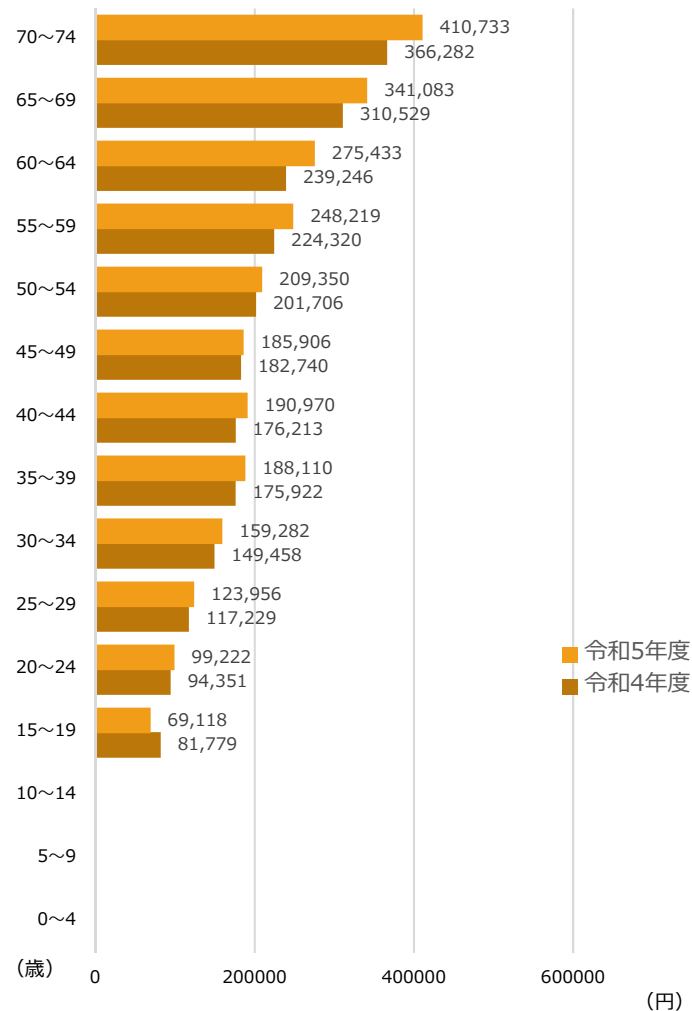
1-3-4 年齢階層別医療費 女性本人

入院外	歯科	本人	
入院	調剤		女性

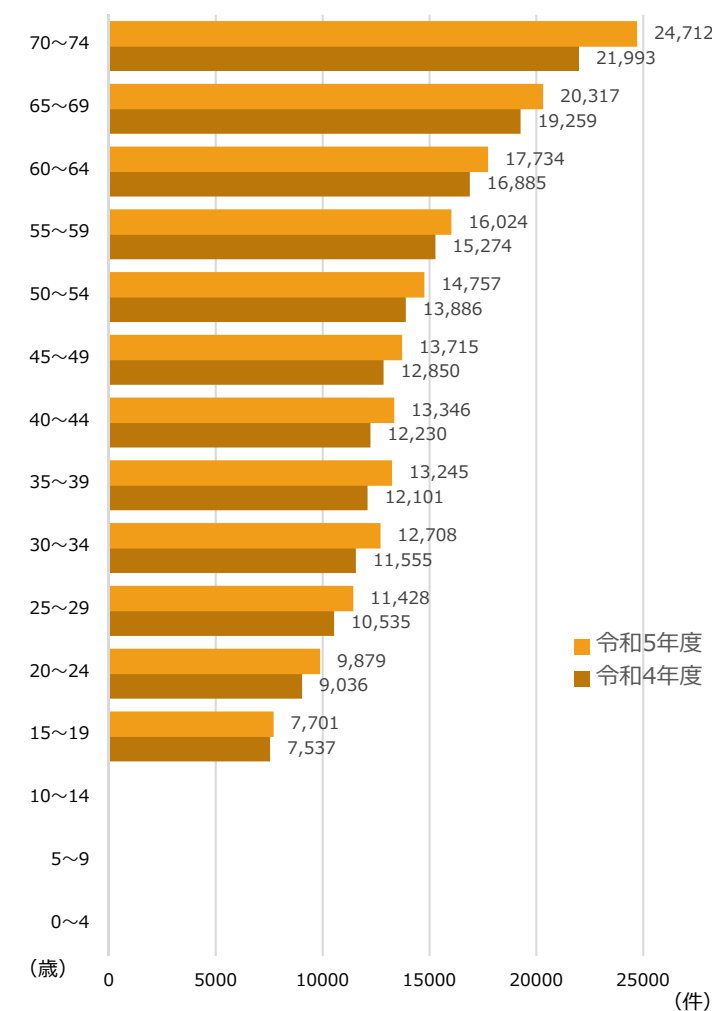
医療費総額 女性



1人当医療費 女性

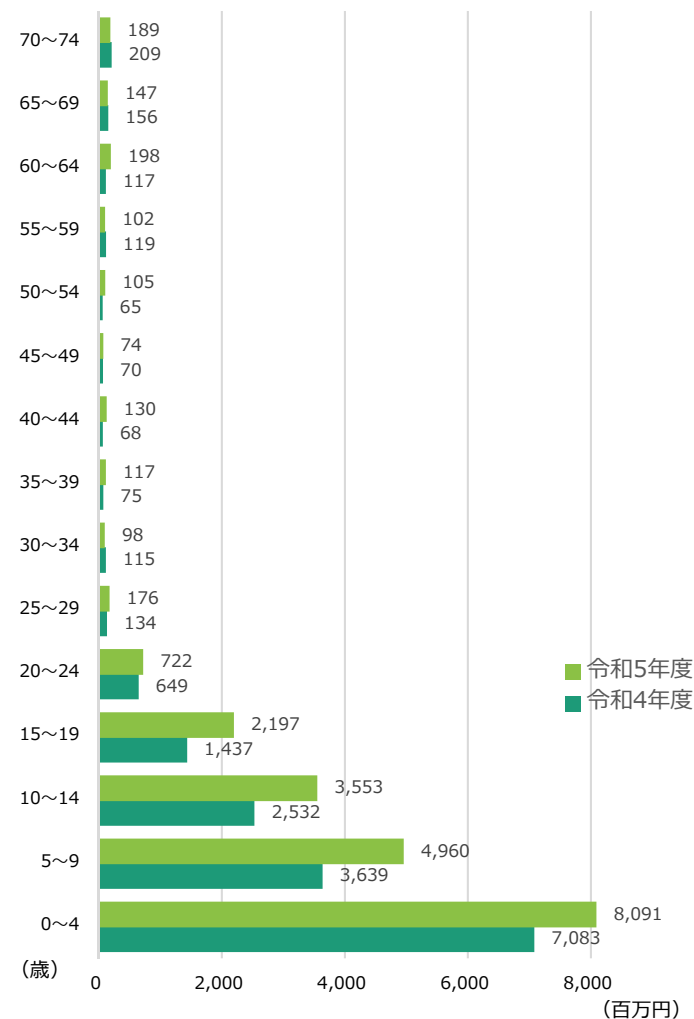


受診率 女性

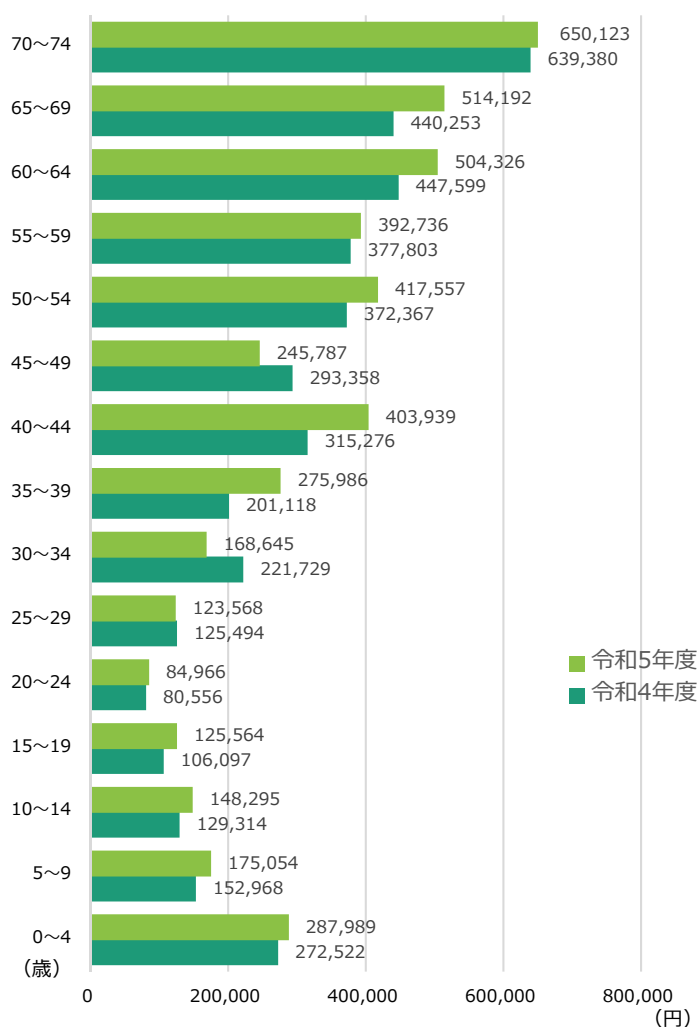


■ いずれの項目も20歳以上の年齢階層で前年を上回っている。

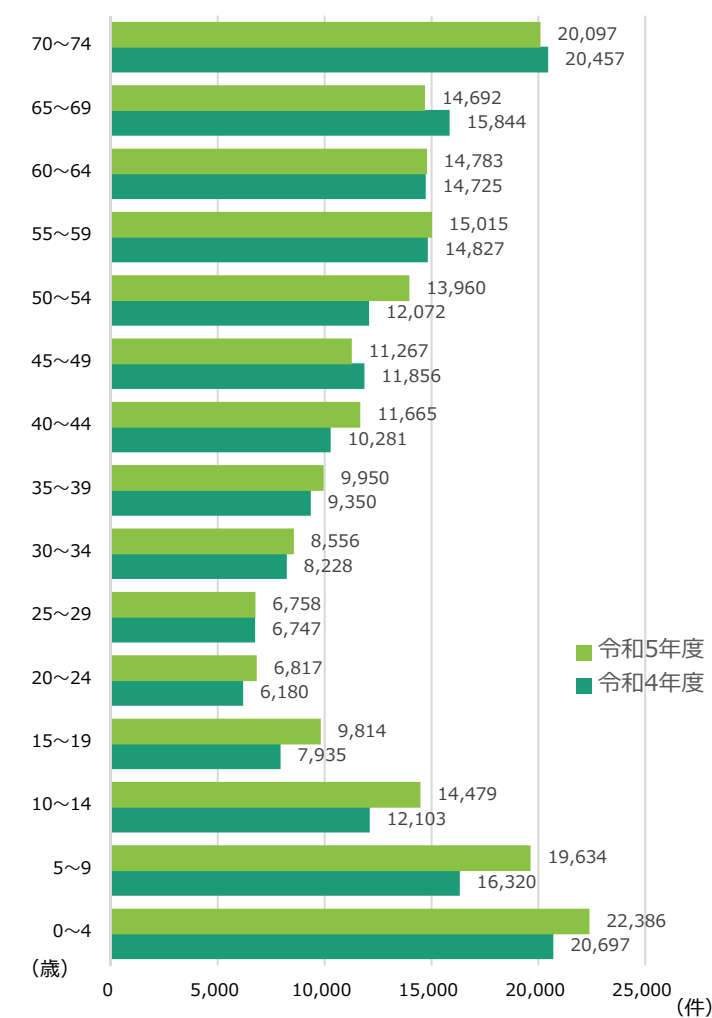
医療費総額 男性



1人当医療費 男性



受診率 男性

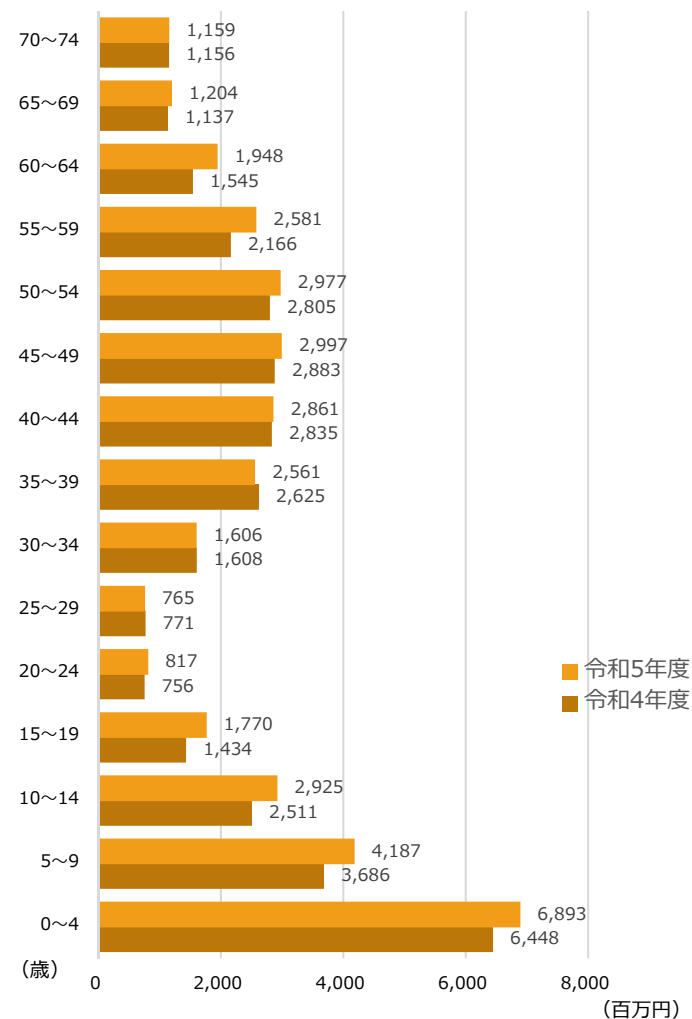


- 20歳以上の統計客体数が少ないことから、1人当医療費及び受診率にばらつきが見られる。
- 0~9歳までの受診率が極めて高く、医療費総額の63%を占める。

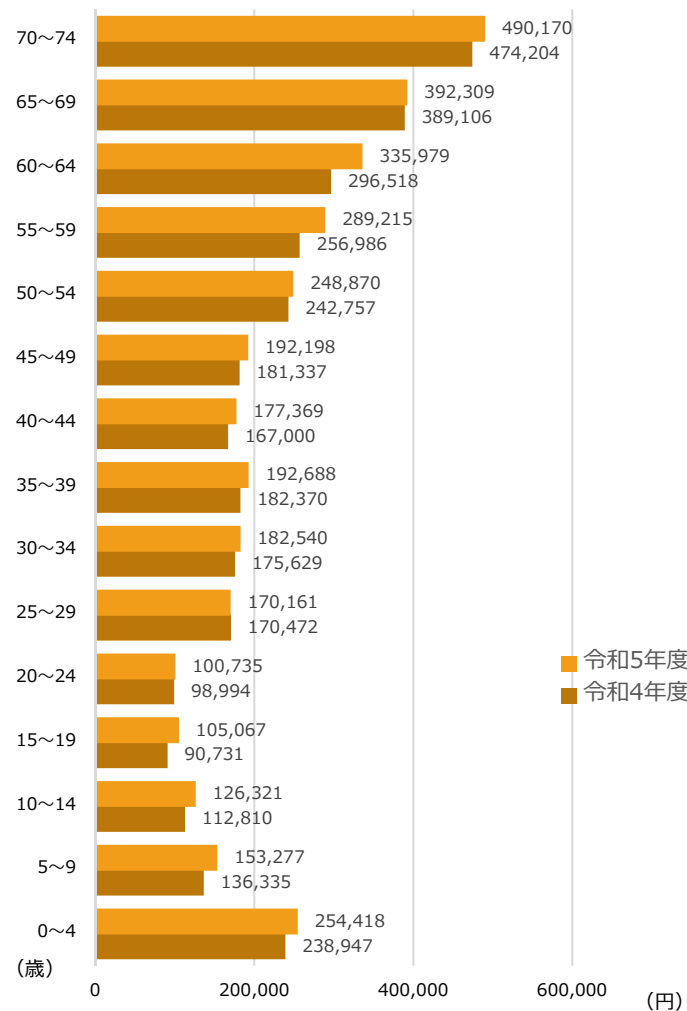
1-3-6 年齢階層別医療費 女性家族

入院外	歯科		
入院	調剤	家族	女性

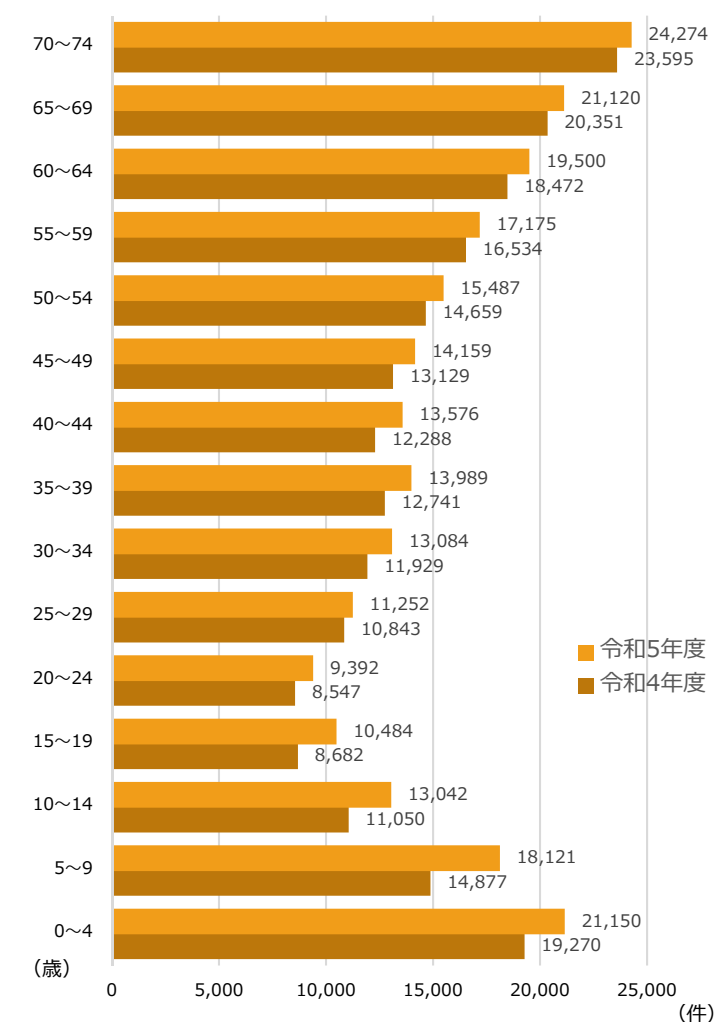
医療費総額 女性



1人当医療費 女性



受診率 女性



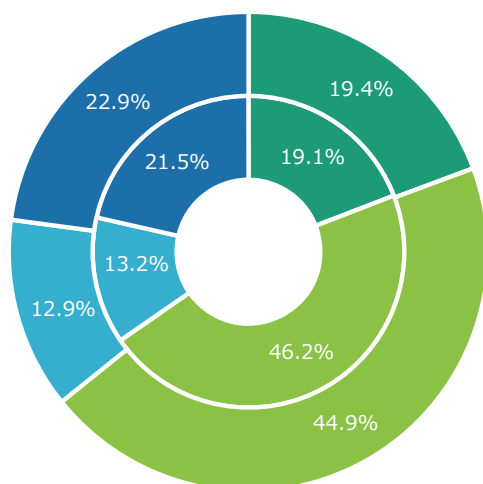
- 0~9歳までの受診率が高い傾向にあり、医療費総額の30%を占める。
- 医療費総額は25~39歳を除くほとんどの年齢階層で前年を上回っている。

令和4年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	113.7%	141,854,441,730	107.7%	155,243	108.2%	11,447.7	97.8%	1.33	101.5%	10,193
医科 計	115.0%	92,713,516,610	108.9%	101,464	108.4%	5,780.9	98.6%	1.40	102.1%	12,546
医科・入院	105.2%	27,149,243,080	99.6%	29,712	99.1%	58.9	97.2%	7.25	103.6%	69,562
医科・入院外	119.6%	65,564,273,530	113.3%	71,752	108.5%	5,722.0	99.3%	1.34	105.5%	9,367
歯科・計	107.9%	18,692,839,740	102.2%	20,457	102.5%	1,730.3	96.7%	1.48	103.0%	7,988
歯科・入院	118.7%	322,778,340	112.4%	353	102.5%	1.1	105.1%	3.73	104.5%	85,800
歯科・入院外	107.7%	18,370,061,400	102.0%	20,104	102.5%	1,729.2	96.7%	1.48	102.9%	7,863
調剤	113.7%	30,448,085,380	107.7%	33,322	110.5%	3,936.5	98.3%	1.16	98.5%	7,271

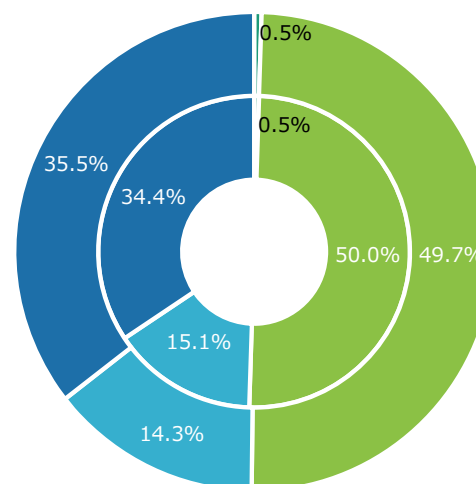
令和5年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	111.9%	158,768,375,790	106.9%	165,948	110.0%	12,588.6	98.5%	1.31	98.5%	10,044
医科 計	110.0%	101,981,679,680	105.1%	106,594	109.2%	6,315.1	98.6%	1.38	97.7%	12,253
医科・入院	113.2%	30,722,575,090	108.1%	32,112	106.5%	62.8	100.7%	7.30	100.8%	70,102
医科・入院外	108.7%	71,259,104,590	103.8%	74,482	109.3%	6,252.3	98.5%	1.32	96.5%	9,038
歯科・計	109.6%	20,481,666,720	104.6%	21,408	104.1%	1,801.0	98.0%	1.45	102.8%	8,211
歯科・入院	151.5%	488,880,800	144.8%	511	126.5%	1.4	109.1%	4.07	105.0%	90,083
歯科・入院外	108.8%	19,992,785,920	103.9%	20,897	104.1%	1,799.6	98.0%	1.45	102.2%	8,033
調剤	119.2%	36,305,029,390	113.9%	37,947	113.6%	4,472.5	100.9%	1.17	100.1%	7,275

■ 医療費総額はすべての診療区分で前年度に比べ増加している。

医療費総額の診療区分割合



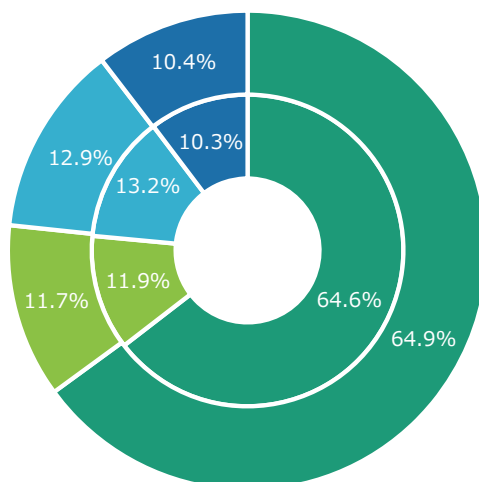
受診率の診療区分割合



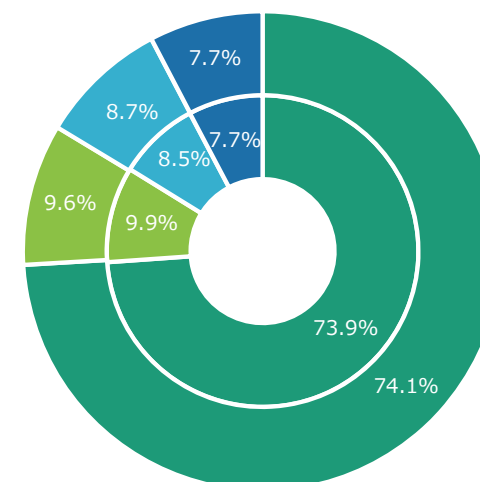
内側：令和4年度
外側：令和5年度

■ 内科・入院
■ 内科・入院外
■ 歯科
■ 調剤

1件当日数の診療区分割合



1日当医療費の診療区分割合



■ 前年度と比べ、各診療区分の割合に大きな変化はみられない。

1-3-9 疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人

本 人 男 性
入 院

疾病19分類	本人/男性 [入院]					
	医療費総額 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	213,347,390	1.95%	510	0.7980	10.07	63,458
02:新 生 物	2,050,711,600	18.74%	4,900	6.1645	8.23	96,531
03:血液・造血器・免疫障害	168,044,420	1.54%	402	0.3202	13.31	94,248
04:内分泌・栄養・代謝疾患	225,717,850	2.06%	539	1.1875	7.30	62,198
05:精神・行動障害	160,835,580	1.47%	384	0.7765	19.37	25,550
06:神経系疾患	318,828,090	2.91%	762	2.3177	4.84	67,850
07:眼・付属器疾患	252,354,240	2.31%	603	1.3476	4.44	100,861
08:耳・乳様突起疾患	58,885,480	0.54%	141	0.2939	5.30	90,315
09:循環器系疾患	3,046,378,180	27.83%	7,279	6.8311	10.42	102,303
10:呼吸器系疾患	686,960,530	6.28%	1,641	3.0034	6.66	82,055
11:消化器系疾患	1,246,298,850	11.39%	2,978	7.4834	5.77	68,986
12:皮膚・皮下組織疾患	87,582,000	0.80%	209	0.4444	8.06	58,388
13:筋骨格系・結合組織疾患	503,783,210	4.60%	1,204	1.5841	9.12	83,311
14:腎尿路生殖器系疾患	370,874,910	3.39%	886	1.9999	6.04	73,382
15:妊娠・分娩・産じょく	0	0.00%	0	0.0000	—	—
16:周産期発生病態	0	0.00%	0	0.0000	—	—
17:先天奇形変形・染色体異常	51,569,270	0.47%	123	0.1505	8.57	95,499
18:他に分類されないもの	145,186,660	1.33%	347	0.4349	8.86	90,066
19:損傷・中毒・外因性	987,163,320	9.02%	2,359	3.5219	8.50	78,803
22:重症急性呼吸器症候群など	248,324,470	2.27%	593	1.6463	5.73	62,851

- 医療費総額は循環器系疾患(高血圧系疾患、心疾患、脳血管疾患等)、新生物の順で上位を占める。
- 受診率では消化器系疾患が最上位となった。

1-3-10 疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人

入院外	本人	男性
-----	----	----

疾病19分類	本人/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	1,227,645,780	4.55%	2,933	197.5753	1.41	10,535
02:新 生 物	2,736,769,000	10.15%	6,539	134.4463	1.45	33,492
03:血液・造血器・免疫障害	1,202,271,010	4.46%	2,873	6.3318	1.34	339,529
04:内分泌・栄養・代謝疾患	2,983,380,980	11.06%	7,128	557.2440	1.14	11,192
05:精神・行動障害	1,378,188,520	5.11%	3,293	408.6098	1.39	5,790
06:神経系疾患	1,510,389,820	5.60%	3,609	276.9327	1.22	10,691
07:眼・付属器疾患	1,341,933,430	4.98%	3,206	374.3178	1.11	7,727
08:耳・乳様突起疾患	214,736,690	0.80%	513	63.2556	1.29	6,289
09:循環器系疾患	1,654,555,500	6.14%	3,953	343.9325	1.14	10,051
10:呼吸器系疾患	2,629,288,760	9.75%	6,282	795.4574	1.18	6,668
11:消化器系疾患	2,631,236,350	9.76%	6,287	267.1699	1.25	18,842
12:皮膚・皮下組織疾患	1,354,442,830	5.02%	3,236	462.8385	1.18	5,905
13:筋骨格系・結合組織疾患	1,230,124,270	4.56%	2,939	267.5928	1.86	5,890
14:腎尿路生殖器系疾患	1,545,729,400	5.73%	3,693	95.8918	2.01	19,159
15:妊娠・分娩・産じょく	69,230	0.00%	0	0.0215	1.00	7,692
16:周産期発生病態	14,740	0.00%	0	0.0072	1.00	4,913
17:先天奇形変形・染色体異常	24,793,470	0.09%	59	2.7501	1.12	19,205
18:他に分類されないもの	295,715,110	1.10%	707	67.9029	1.21	8,615
19:損傷・中毒・外因性	702,691,770	2.61%	1,679	121.7326	1.83	7,541
22:重症急性呼吸器症候群など	2,077,365,410	7.70%	4,964	347.9585	1.16	12,292

■ 入院外では、医療費総額で内分泌・栄養・代謝疾患が最上位となった。

1-3-11 生活習慣病 医科入院三要素 男性本人

		本 人	男 性
入 院			

生活習慣病		本人/男性 [入院]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		130,599,130	5.6221	9.72	5,710
再 掲	インスリン治療	39,689,880	0.4301	11.20	19,687
	腎 障 害	385,470	0.0980	15.00	627
	網 膜 症	6,474,410	0.1195	9.24	14,014
	神経障害	460,170	0.0430	17.39	1,470
脳血管障害		474,901,620	1.8613	18.05	33,782
虚血性心疾患		365,197,710	2.0094	8.90	48,784
動 脈 閉 塞		441,690	0.0072	16.67	8,834
高 血 圧 症		77,353,880	6.2290	10.05	2,953
高尿酸血症		5,702,000	1.6033	10.58	803
高 脂 血 症		19,505,670	3.8707	9.45	1,275
肝機能障害		3,780,390	0.3895	9.76	2,376
高血圧性腎臓障害		152,890	0.0119	9.20	3,324
人 工 透 析		84,404,010	0.4110	13.38	36,681

生活習慣病		本人/男性 [入院]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		2.42%	3.07%	1.14%	-6.58%
再 掲	インスリン治療	5.19%	20.51%	-3.61%	-13.91%
	腎 障 害	56.93%	39.20%	43.82%	-25.45%
	網 膜 症	-9.64%	1.19%	4.64%	-18.83%
	神経障害	-37.15%	-18.56%	61.62%	-54.63%
脳血管障害		23.27%	7.16%	3.86%	5.33%
虚血性心疾患		7.13%	9.96%	17.11%	-20.90%
動 脈 閉 塞		-20.90%	-28.71%	-6.08%	12.33%
高 血 圧 症		9.59%	7.05%	5.57%	-7.78%
高尿酸血症		25.06%	12.50%	-0.66%	6.36%
高 脂 血 症		27.76%	5.91%	10.27%	4.08%
肝機能障害		52.11%	21.08%	22.00%	-2.10%
高血圧性腎臓障害		-15.16%	-32.39%	-35.62%	84.46%
人 工 透 析		36.02%	17.63%	5.35%	4.33%

- 入院の医療費総額は脳血管障害が最上位となり、前年度から増加している。
- 受診率においては、高血圧症が最上位となった。

1-3-12 生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人

生活習慣病		本人/男性 [入院外]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		2,992,416,820	589.5146	1.24	9,789
再掲	インスリン治療	764,272,020	44.1576	1.21	34,269
	腎障害	16,258,620	45.3403	1.14	754
	網膜症	63,846,380	28.9279	1.21	4,366
	神経障害	5,225,230	7.9709	1.20	1,310
脳血管障害		108,865,250	28.5384	1.47	6,211
虚血性心疾患		168,682,120	86.6163	1.52	3,052
動脈閉塞		493,890	0.4325	1.65	1,657
高血圧症		1,221,663,420	609.7643	1.15	4,162
高尿酸血症		259,677,370	297.0248	1.27	1,639
高脂血症		1,146,970,560	703.3456	1.22	3,181
肝機能障害		49,748,160	146.5101	1.21	671
高血圧性腎臓障害		763,740	2.1074	1.20	720
人工透析		1,111,807,160	7.0342	12.50	30,221

生活習慣病		本人/男性 [入院外]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		13.00%	4.40%	0.00%	2.73%
再掲	インスリン治療	12.50%	4.62%	4.31%	-1.69%
	腎障害	7.29%	4.19%	0.88%	-2.71%
	網膜症	15.04%	0.65%	0.00%	8.55%
	神経障害	-4.60%	-1.85%	2.56%	-9.47%
脳血管障害		10.89%	2.14%	0.00%	3.46%
虚血性心疾患		6.44%	-0.21%	0.00%	1.16%
動脈閉塞		134.56%	19.48%	9.27%	71.53%
高血圧症		0.08%	3.61%	0.00%	-8.33%
高尿酸血症		-6.12%	3.72%	-0.78%	-13.83%
高脂血症		7.51%	4.23%	-0.81%	-1.91%
肝機能障害		7.05%	4.45%	0.00%	-2.89%
高血圧性腎臓障害		17.04%	-3.19%	-0.83%	15.38%
人工透析		12.75%	6.16%	0.40%	0.56%

- 医療費総額では糖尿病と高血圧症、高脂血症が上位を占めている。
- 1件当日数では人工透析が最上位となった。

1-3-13 疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院]					
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	105,141,360	1.58%	449	1.2208	7.74	47,511
02:新 生 物	1,877,717,120	28.30%	8,015	11.4734	6.62	105,484
03:血液・造血器・免疫障害	110,405,070	1.66%	471	2.5183	5.27	35,489
04:内分泌・栄養・代謝疾患	80,463,760	1.21%	343	1.0799	6.91	46,006
05:精神・行動障害	80,713,030	1.22%	345	0.8665	14.63	27,176
06:神経系疾患	165,228,420	2.49%	705	1.5110	6.21	75,104
07:眼・付属器疾患	61,156,270	0.92%	261	0.6659	4.42	88,632
08:耳・乳様突起疾患	32,658,670	0.49%	139	0.2817	5.18	95,493
09:循環器系疾患	471,517,860	7.11%	2,013	2.5610	9.93	79,114
10:呼吸器系疾患	222,679,410	3.36%	950	2.2750	6.09	68,580
11:消化器系疾患	464,124,460	7.00%	1,981	6.8422	5.50	52,604
12:皮膚・皮下組織疾患	36,213,910	0.55%	155	0.4823	6.10	52,560
13:筋骨格系・結合組織疾患	317,050,130	4.78%	1,353	2.3689	8.72	65,493
14:腎尿路生殖器系疾患	337,052,080	5.08%	1,439	4.9470	4.15	70,030
15:妊娠・分娩・産じょく	1,516,680,570	22.86%	6,474	22.5497	6.29	45,671
16:周産期発生病態	6,277,380	0.09%	27	0.1195	7.54	29,751
17:先天奇形変形・染色体異常	31,017,530	0.47%	132	0.1878	7.48	94,278
18:他に分類されないもの	74,103,040	1.12%	316	1.3189	5.14	46,664
19:損傷・中毒・外因性	386,114,890	5.82%	1,648	3.4232	6.86	70,177
22:重症急性呼吸器症候群など	176,119,850	2.65%	752	3.4787	4.76	45,380

- 医療費総額は新生物、妊娠・分娩・産じょくが上位となっている。この傾向は前年と同様。
- 1件当日数は男性と同様に精神・行動障害が最上位となっている。

1-3-14 疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人

入院外	本人	女性
-----	----	----

疾病19分類	本人/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	433,131,970	2.41%	1,849	218.8388	1.34	6,318
02:新 生 物	2,443,596,270	13.59%	10,430	372.9992	1.37	20,482
03:血液・造血器・免疫障害	291,389,950	1.62%	1,244	56.2613	1.35	16,390
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,406,621,090	7.82%	6,004	368.1802	1.27	12,796
05:精神・行動障害	938,024,050	5.22%	4,004	491.8047	1.40	5,817
06:神経系疾患	615,854,470	3.42%	2,629	223.8285	1.27	9,243
07:眼・付属器疾患	873,208,060	4.86%	3,727	549.1246	1.09	6,213
08:耳・乳様突起疾患	171,401,940	0.95%	732	86.2209	1.30	6,521
09:循環器系疾患	554,257,500	3.08%	2,366	179.5657	1.18	11,174
10:呼吸器系疾患	1,792,472,060	9.97%	7,651	1,042.5086	1.21	6,078
11:消化器系疾患	1,111,526,690	6.18%	4,744	312.1879	1.24	12,224
12:皮膚・皮下組織疾患	845,212,830	4.70%	3,608	681.3541	1.16	4,564
13:筋骨格系・結合組織疾患	978,576,470	5.44%	4,177	293.0742	1.83	7,770
14:腎尿路生殖器系疾患	3,276,127,780	18.22%	13,984	686.3054	1.44	14,106
15:妊娠・分娩・産じょく	116,082,830	0.65%	495	45.9830	1.63	6,599
16:周産期発生病態	4,456,360	0.02%	19	1.6348	2.04	5,691
17:先天奇形変形・染色体異常	22,142,940	0.12%	95	4.5970	1.29	15,953
18:他に分類されないもの	299,835,300	1.67%	1,280	131.4698	1.23	7,889
19:損傷・中毒・外因性	367,836,450	2.05%	1,570	128.1276	1.82	6,749
22:重症急性呼吸器症候群など	1,251,745,680	6.96%	5,343	377.1054	1.17	12,064

■ 前年同様、腎尿路生殖器系疾患が医療費総額において最上位となった。

1-3-15 生活習慣病 医科入院三要素 女性本人

生活習慣病		本人/女性 [入院]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		23,242,850	2.4372	10.02	4,063
再掲	インスリン治療	7,305,470	0.1238	10.66	23,642
	腎障害	2,020	0.0128	7.00	96
	網膜症	47,510	0.0299	5.00	1,357
	神経障害	11,780	0.0171	15.25	193
脳血管障害		90,333,520	0.8665	16.11	27,616
虚血性心疾患		16,612,380	0.5976	9.14	12,989
動脈閉塞		37,130	0.0043	6.00	6,188
高血圧症		23,554,870	2.8897	9.93	3,504
高尿酸血症		256,670	0.1665	12.28	536
高脂血症		4,211,940	1.3701	9.52	1,378
肝機能障害		617,310	0.1281	10.13	2,031
高血圧性腎臓障害		22,540	0.0085	4.50	2,504
人工透析		2,690,010	0.0299	10.29	37,361

生活習慣病		本人/女性 [入院]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		-10.77%	-10.04%	6.60%	-13.96%
再掲	インスリン治療	1.42%	-27.52%	-14.10%	50.65%
	腎障害	-98.42%	-72.29%	-54.55%	-88.42%
	網膜症	-79.26%	-18.97%	-54.04%	-48.46%
	神経障害	601.19%	-7.57%	60.53%	338.64%
脳血管障害		56.93%	14.48%	13.69%	11.50%
虚血性心疾患		-2.21%	9.73%	-1.19%	-16.51%
動脈閉塞		-29.02%	-6.52%	-33.33%	6.47%
高血圧症		6.13%	2.98%	0.10%	-4.81%
高尿酸血症		-43.55%	-31.93%	-7.39%	-17.16%
高脂血症		51.47%	-0.04%	-4.80%	47.22%
肝機能障害		70.57%	11.01%	17.79%	20.68%
高血圧性腎臓障害		-	-	-	-
人工透析		-61.51%	-56.79%	-5.34%	-12.86%

- 医療費総額は脳血管障害が最上位となった。

1-3-16 生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人

生活習慣病		本人/女性 [入院外]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		590,010,830	296.5187	1.41	6,036
再掲	インスリン治療	161,532,280	21.9906	1.36	22,981
	腎障害	3,177,720	14.4143	1.21	779
	網膜症	8,866,520	9.2538	1.22	3,357
	神経障害	617,620	2.5098	1.22	858
脳血管障害		47,068,680	17.8460	1.33	8,444
虚血性心疾患		43,569,750	36.8957	1.47	3,428
動脈閉塞		19,800	0.1238	1.34	508
高血圧症		269,845,370	246.5960	1.20	3,902
高尿酸血症		6,477,950	27.7828	1.49	669
高脂血症		271,883,550	340.1499	1.27	2,689
肝機能障害		10,855,810	49.3935	1.27	740
高血圧性腎臓障害		368,160	1.0756	1.31	1,119
人工透析		81,751,350	0.9646	12.10	29,891

生活習慣病		本人/女性 [入院外]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		17.87%	7.76%	0.00%	1.11%
再掲	インスリン治療	14.93%	7.73%	0.74%	-2.09%
	腎障害	6.53%	5.02%	2.54%	-8.24%
	網膜症	-2.19%	0.61%	-3.17%	-7.03%
	神経障害	11.17%	9.64%	2.52%	-9.21%
脳血管障害		14.50%	6.73%	-0.75%	-0.25%
虚血性心疾患		10.90%	5.12%	0.68%	-3.25%
動脈閉塞		-68.66%	27.76%	-43.70%	-59.78%
高血圧症		7.62%	5.18%	-0.83%	-4.71%
高尿酸血症		3.50%	10.38%	1.36%	-14.56%
高脂血症		11.94%	5.97%	0.00%	-2.04%
肝機能障害		14.24%	7.09%	-0.78%	-0.40%
高血圧性腎臓障害		10.14%	-0.40%	7.38%	-4.60%
人工透析		10.79%	3.99%	1.34%	-2.77%

- 医療費総額では糖尿病が最上位となっているが、一件当日数・一日当医療費は人工透析が最上位となっている。
- 糖尿病の医療費総額は前年と同様に増加傾向。

1-3-17 疾病19分類別 医科入院三要素 男性家族

疾病19分類	家族/男性 [入院]					
	医療費総額 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	193,573,790	4.02%	1,745	2.4611	8.00	88,673
02:新 生 物	227,400,740	4.72%	2,050	2.4701	9.17	90,490
03:血液・造血器・免疫障害	121,804,870	2.53%	1,098	0.9375	12.88	90,967
04:内分泌・栄養・代謝疾患	134,478,650	2.79%	1,212	2.9569	10.22	40,107
05:精神・行動障害	115,429,310	2.40%	1,041	2.1365	22.67	21,487
06:神経系疾患	367,249,850	7.62%	3,311	4.3181	13.27	57,780
07:眼・付属器疾患	35,581,000	0.74%	321	0.8744	3.96	92,659
08:耳・乳様突起疾患	74,724,630	1.55%	674	1.1178	7.06	85,400
09:循環器系疾患	342,211,030	7.10%	3,085	2.8938	11.34	94,014
10:呼吸器系疾患	548,225,810	11.38%	4,942	11.3587	6.32	68,847
11:消化器系疾患	245,373,700	5.09%	2,212	3.6690	6.45	93,440
12:皮膚・皮下組織疾患	45,899,250	0.95%	414	1.5506	4.94	53,999
13:筋骨格系・結合組織疾患	239,671,090	4.97%	2,161	2.9208	9.13	81,052
14:腎尿路生殖器系疾患	151,521,220	3.14%	1,366	2.9118	6.69	70,116
15:妊娠・分娩・産じょく	209,080	0.00%	2	0.1082	2.25	7,744
16:周産期発生病態	670,475,120	13.91%	6,044	11.7824	7.16	71,632
17:先天奇形変形・染色体異常	577,723,170	11.99%	5,208	4.9131	7.40	143,320
18:他に分類されないもの	57,601,790	1.20%	519	1.7579	6.24	47,370
19:損傷・中毒・外因性	272,685,980	5.66%	2,458	8.1945	3.63	82,532
22:重症急性呼吸器症候群など	265,281,750	5.51%	2,391	8.0773	4.84	61,111

- 主に周産期発生病態、先天奇形変形・染色体異常の疾病が上位となった。
- 入院日数は精神系疾患によるものが長くなっている。

1-3-18 疾病19分類別 医科入院外三要素 男性家族

疾病19分類	家族/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	304,172,450	3.19%	2,742	331.4402	1.52	5,450
02:新 生 物	151,719,590	1.59%	1,368	39.5392	1.37	25,266
03:血液・造血器・免疫障害	173,052,790	1.81%	1,560	12.2422	1.36	93,745
04:内分泌・栄養・代謝疾患	552,977,240	5.79%	4,985	85.6321	1.24	46,803
05:精神・行動障害	364,047,780	3.81%	3,282	339.4815	1.34	7,217
06:神経系疾患	165,647,600	1.74%	1,493	79.7635	1.37	13,665
07:眼・付属器疾患	464,377,170	4.87%	4,186	648.1411	1.15	5,631
08:耳・乳様突起疾患	290,330,780	3.04%	2,617	297.4632	1.40	6,270
09:循環器系疾患	118,445,850	1.24%	1,068	50.1857	1.25	17,016
10:呼吸器系疾患	2,639,145,990	27.65%	23,792	2,777.1167	1.39	6,152
11:消化器系疾患	205,864,860	2.16%	1,856	153.9467	1.31	9,188
12:皮膚・皮下組織疾患	834,079,120	8.74%	7,519	1,278.9467	1.26	4,665
13:筋骨格系・結合組織疾患	207,569,980	2.17%	1,871	139.6942	1.59	8,399
14:腎尿路生殖器系疾患	135,740,230	1.42%	1,224	52.1329	1.64	14,305
15:妊娠・分娩・産じょく	268,840	0.00%	2	0.3786	1.10	5,844
16:周産期発生病態	17,074,700	0.18%	154	6.4366	1.43	16,740
17:先天奇形変形・染色体異常	113,155,160	1.19%	1,020	43.2353	1.18	19,985
18:他に分類されないもの	115,866,090	1.21%	1,045	125.4327	1.19	6,980
19:損傷・中毒・外因性	533,730,170	5.59%	4,812	395.4006	1.70	7,160
22:重症急性呼吸器症候群など	1,815,901,970	19.03%	16,370	1,070.7576	1.50	10,176

- 乳幼児や義務教育の者が7割を占めることから、風邪や喘息などによる呼吸系疾患が上位を占めている。
- 医療費総額の約27%を呼吸器系疾患が占める。

生活習慣病		家族/男性 [入院]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		6,567,000	1.2260	13.23	3,650
再 掲	インスリン治療	1,475,650	0.0451	17.80	16,580
	腎 障 害	47,400	0.0090	10.00	4,740
	網 膜 症	343,680	0.0180	16.00	10,740
	神経障害	0	0.0000	—	—
脳血管障害		31,633,420	0.8294	18.98	18,118
虚血性心疾患		10,005,270	0.3967	10.75	21,153
動 脈 閉 塞		0	0.0000	—	—
高 血 圧 症		7,543,560	1.8030	15.65	2,411
高尿酸血症		223,870	0.3065	15.32	430
高 脂 血 症		938,900	0.6491	16.28	801
肝機能障害		100,940	0.0541	9.67	1,740
高血圧性腎臓障害		115,960	0.0451	4.80	4,832
人 工 透 析		18,858,980	0.2795	22.13	27,491

生活習慣病		家族/男性 [入院]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		3.66%	-5.45%	16.67%	-8.50%
再 掲	インスリン治療	6.47%	-30.40%	66.20%	-10.28%
	腎 障 害	—	—	—	—
	網 膜 症	42329.63%	93.55%	700.00%	2551.85%
	神経障害	—	—	—	—
脳血管障害		55.79%	59.90%	3.10%	-8.01%
虚血性心疾患		69.23%	12.70%	-4.10%	52.42%
動 脈 閉 塞		—	—	—	—
高 血 圧 症		44.66%	5.22%	-0.19%	34.09%
高尿酸血症		-30.57%	-24.79%	-8.26%	-2.05%
高 脂 血 症		-5.04%	6.18%	-9.96%	-3.38%
肝機能障害		-40.38%	-55.07%	-49.11%	154.01%
高血圧性腎臓障害		88.40%	384.95%	-46.67%	-29.35%
人 工 透 析		284.06%	101.22%	106.24%	-9.86%

- 男性本人と異なり、加入者の20歳未満が約86%を占めることから生活習慣病での治療者が少なく、脳血管障害が最上位となった。
- 1件当日数、1日当医療費は人工透析が最も高くなっている。

生活習慣病		家族/男性 [入院外]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		63,715,670	63.5277	1.40	6,478
再 掲	インスリン治療	20,261,880	7.6716	1.29	18,504
	腎 障 害	252,660	2.7766	1.21	676
	網 膜 症	2,694,460	3.5519	1.40	4,872
	神経障害	425,290	0.5860	1.22	5,383
脳血管障害		7,169,290	7.2750	1.33	6,657
虚血性心疾患		7,336,220	13.3690	2.05	2,416
動 脈 閉 塞		1,200	0.0090	1.00	1,200
高 血 圧 症		20,077,420	48.6622	1.25	2,983
高尿酸血症		3,691,990	19.8868	1.61	1,037
高 脂 血 症		15,977,070	47.2288	1.54	1,977
肝機能障害		1,181,260	9.9344	1.25	858
高血圧性腎臓障害		107,240	0.4147	1.17	1,986
人 工 透 析		75,732,910	1.8661	12.70	28,818

生活習慣病		家族/男性 [入院外]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		17.07%	6.74%	0.72%	6.62%
再 掲	インスリン治療	24.19%	13.31%	2.38%	4.46%
	腎 障 害	6.70%	6.31%	-2.42%	0.15%
	網 膜 症	46.62%	5.35%	4.48%	29.37%
	神経障害	131.25%	7.23%	7.02%	96.10%
脳血管障害		10.09%	8.04%	-13.64%	14.09%
虚血性心疾患		0.23%	-1.41%	-3.76%	2.85%
動 脈 閉 塞		—	—	—	—
高 血 圧 症		-4.41%	1.19%	-2.34%	-5.51%
高尿酸血症		-6.20%	-1.87%	-1.83%	-5.47%
高 脂 血 症		3.13%	0.10%	-1.28%	1.70%
肝機能障害		0.40%	-4.91%	-0.79%	3.62%
高血圧性腎臓障害		66.52%	-8.62%	-7.87%	91.15%
人 工 透 析		-3.94%	-6.29%	0.24%	-0.47%

■ 受診率では糖尿病が最上位だが、他の項目では人工透析が最上位となった。

疾病19分類	家族/女性 [入院]					
	医療費総額 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	138,349,410	1.69%	717	1.7098	7.14	58,747
02:新 生 物	1,329,011,000	16.20%	6,886	9.2435	7.45	99,941
03:血液・造血器・免疫障害	141,371,710	1.72%	732	2.0881	6.98	50,274
04:内分泌・栄養・代謝疾患	148,611,600	1.81%	770	2.3316	7.12	46,354
05:精神・行動障害	315,991,800	3.85%	1,637	3.2124	20.39	24,995
06:神経系疾患	390,511,600	4.76%	2,023	3.2591	12.47	49,778
07:眼・付属器疾患	97,795,860	1.19%	507	1.2228	4.67	88,664
08:耳・乳様突起疾患	73,472,490	0.90%	381	0.7047	5.99	90,150
09:循環器系疾患	914,387,380	11.15%	4,738	4.3419	12.40	88,023
10:呼吸器系疾患	515,206,760	6.28%	2,669	6.2590	6.52	65,406
11:消化器系疾患	451,522,080	5.50%	2,339	5.8445	6.21	64,466
12:皮膚・皮下組織疾患	59,860,930	0.73%	310	0.9637	6.49	49,595
13:筋骨格系・結合組織疾患	536,164,830	6.54%	2,778	3.6684	10.65	71,138
14:腎尿路生殖器系疾患	306,421,130	3.74%	1,588	4.0984	5.56	69,689
15:妊娠・分娩・産じょく	668,397,330	8.15%	3,463	11.2331	6.58	46,859
16:周産期発生病態	669,747,690	8.16%	3,470	6.5855	7.54	69,904
17:先天奇形変形・染色体異常	370,568,750	4.52%	1,920	1.9948	7.94	121,259
18:他に分類されないもの	121,245,310	1.48%	628	1.8031	7.75	44,956
19:損傷・中毒・外因性	473,397,370	5.77%	2,453	5.5596	6.41	68,868
22:重症急性呼吸器症候群など	313,112,660	3.82%	1,622	5.7564	5.27	53,478

- 医療費総額では新生物が最上位となったが、受診率では妊娠・分娩・産じょくに関わる疾病が最上位となった。
- 入院日数は精神系疾患によるものが、男性家族と同様に長くなっている。

1-3-22 疾病19分類別 医科入院外三要素 女性家族

疾病19分類	家族/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	割 合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
01:感染症・寄生虫症	449,458,670	2.69%	2,329	281.1799	1.48	5,593
02:新 生 物	1,631,416,430	9.76%	8,453	250.0246	1.42	23,773
03:血液・造血器・免疫障害	159,258,520	0.95%	825	37.6734	1.38	15,899
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,194,290,630	7.15%	6,188	326.4180	1.25	15,187
05:精神・行動障害	609,016,200	3.64%	3,156	356.6665	1.35	6,533
06:神経系疾患	542,555,980	3.25%	2,811	184.4446	1.34	11,376
07:眼・付属器疾患	962,731,900	5.76%	4,988	696.7736	1.13	6,326
08:耳・乳様突起疾患	348,529,850	2.09%	1,806	208.3979	1.38	6,260
09:循環器系疾患	544,032,030	3.26%	2,819	201.2528	1.19	11,745
10:呼吸器系疾患	3,033,346,910	18.15%	15,717	1,937.8345	1.35	6,013
11:消化器系疾患	729,148,580	4.36%	3,778	290.9260	1.29	10,042
12:皮膚・皮下組織疾患	1,068,089,190	6.39%	5,534	982.6219	1.23	4,586
13:筋骨格系・結合組織疾患	852,952,660	5.10%	4,419	334.8687	1.96	6,741
14:腎尿路生殖器系疾患	1,294,252,200	7.75%	6,706	304.0761	1.62	13,618
15:妊娠・分娩・産じょく	44,607,740	0.27%	231	20.7356	1.65	6,749
16:周産期発生病態	14,062,990	0.08%	73	4.3419	1.44	11,642
17:先天奇形変形・染色体異常	121,183,960	0.73%	628	26.0413	1.23	19,625
18:他に分類されないもの	252,498,310	1.51%	1,308	141.3620	1.23	7,511
19:損傷・中毒・外因性	536,990,530	3.21%	2,782	229.7916	1.79	6,781
22:重症急性呼吸器症候群など	1,946,170,590	11.65%	10,084	674.7530	1.44	10,383

■ 男性家族同様、乳幼児や義務教育の者が約4割いることから、風邪や喘息などの呼吸系疾患が上位を占めている。

生活習慣病		家族/女性 [入院]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		33,782,940	3.9533	12.05	3,674
再掲	インスリン治療	8,835,080	0.2073	11.78	18,758
	腎 障 害	39,160	0.0622	11.42	286
	網 膜 症	171,290	0.0725	9.14	1,338
	神経障害	28,080	0.0207	7.00	1,003
脳血管障害		111,992,310	1.3212	19.25	22,809
虚血性心疾患		25,677,680	0.8860	10.39	14,458
動 脈 閉 塞		13,020	0.0052	9.00	1,447
高 血 圧 症		28,911,040	4.9015	11.75	2,601
高尿酸血症		804,620	0.4300	14.14	685
高 脂 血 症		6,428,050	2.5958	13.00	987
肝機能障害		182,470	0.1347	10.62	661
高血圧性腎臓障害		0	0.0000	—	—
人 工 透 析		23,353,780	0.2850	14.18	29,941

生活習慣病		家族/女性 [入院]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】					
糖尿病		45.36%	16.51%	-4.89%	30.01%
再掲	インスリン治療	35.20%	23.91%	11.55%	-2.98%
	腎 障 害	180.92%	98.09%	18.10%	19.17%
	網 膜 症	-5.12%	6.62%	116.08%	-59.24%
	神経障害	-81.27%	97.14%	-63.16%	-74.58%
脳血管障害		5.14%	10.84%	8.45%	-13.36%
虚血性心疾患		51.04%	4.60%	-23.72%	87.69%
動 脈 閉 塞		-82.15%	0.00%	-64.00%	-50.41%
高 血 圧 症		40.76%	19.28%	2.80%	13.78%
高尿酸血症		40.82%	2.80%	-16.53%	62.32%
高 脂 血 症		-2.20%	22.29%	7.53%	-26.29%
肝機能障害		-48.65%	-11.15%	-27.21%	-21.31%
高血圧性腎臓障害		-100.00%	-100.00%	—	—
人 工 透 析		-50.40%	-35.11%	-26.34%	2.82%

- 女性本人と同様に、医療費総額は脳血管障害が最上位であるが、生活習慣病では平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が1日当医療費で最上位となった。

1-3-24 生活習慣病 医科入院外三要素 女性家族

生活習慣病		家族/女性 [入院外]			
		医療費総額 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		491,711,560	293.8119	1.39	6,261
再 掲	インスリン治療	135,128,990	21.5647	1.41	23,024
	腎 障 害	2,474,090	14.2227	1.24	728
	網 膜 症	18,360,690	12.6839	1.32	5,679
	神経障害	1,652,820	4.2072	1.31	1,549
脳血管障害		36,057,270	20.5077	1.42	6,415
虚血性心疾患		35,651,130	46.4661	1.61	2,473
動 脈 閉 塞		54,250	0.1295	1.20	1,808
高 血 圧 症		263,677,110	317.2367	1.23	3,501
高尿酸血症		5,370,280	27.3988	1.77	573
高 脂 血 症		252,120,740	377.7183	1.31	2,650
肝機能障害		7,788,170	48.8599	1.30	634
高血圧性腎臓障害		155,640	0.8912	1.35	671
人 工 透 析		221,544,360	3.1761	12.65	28,579

生活習慣病 【対前年度伸率 %】		家族/女性 [入院外]			
		医療費総額	受診率	1件当日数	1日当医療費
糖尿病		8.38%	4.44%	0.00%	3.21%
再 掲	インスリン治療	5.47%	5.04%	3.68%	-4.13%
	腎 障 害	8.98%	6.18%	2.48%	-0.41%
	網 膜 症	-0.69%	-3.11%	0.00%	1.30%
	神経障害	-2.12%	-3.16%	4.80%	-5.09%
脳血管障害		2.78%	2.47%	0.00%	-0.88%
虚血性心疾患		-3.49%	-2.29%	1.26%	-2.94%
動 脈 閉 塞		352.84%	30.41%	-15.49%	307.21%
高 血 圧 症		-2.83%	2.04%	0.00%	-5.71%
高尿酸血症		-4.44%	7.28%	-4.32%	-7.58%
高 脂 血 症		-10.04%	3.51%	-0.76%	-12.80%
肝機能障害		6.24%	7.05%	0.00%	-1.71%
高血圧性腎臓障害		-26.21%	-1.47%	0.00%	-25.86%
人 工 透 析		-4.98%	-8.65%	1.28%	1.82%

- 医療費総額で糖尿病が最上位となったが、入院と同様に生活習慣病では平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が日数と1日当医療費で最上位となった。

付録 1 医療費の三要素分析

- 医療保険集団の医療費の水準を考察する場合【**1人当医療費（医療費/加入者数）**】を指標として用います。この1人当医療費は、更に次の指標の積に分解できます。

1日当医療費

×

1件当日数

×

受診率

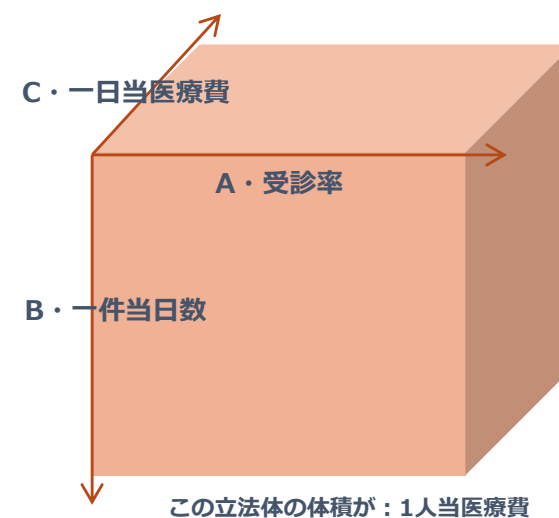
=

1人当医療費

受診率 とは、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。受診率が全国平均よりも高いということは、病院に行く人の割合が高いということであり、受診率の伸び率が高いということは病院に行く人の割合が増えているということです。当組合では1年当たりのレセプト件数をもとに1人当たり診療件数を「受診率」として用いています。受診率は、主に医療を受ける側の受診意識や感染症の流行などの疾病構造等に依存する傾向があります。

1件当日数 とは、治療のために病院に通った通院日数、入院日数を表し、診療実日数をレセプト件数で除したものです。治療期間が長期にわたっていても、入院の1件当日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当日数が多ければ、通院頻度が高いことがわかります。1件当日数は、患者の受診意識や疾病の種類による要因や医療機関側による要因の両方の影響を受けます。

1日当医療費 とは、医療費の単価を表し、診療費（医療費）を診療実日数で除したものです。1日当診療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。1日当医療費は、医療機関側の診療行為（この点数改定や措置内容）などに依存します。



- この3つの指標を、「**医療費の3要素**」といい、医療費を分析していくうえでの基本的な指標となります。1人当医療費が高い、伸びているといったも、**三要素別に何が高くなっているかを調べる**ことによって、医療費の増加要因について見当をつけることができます。

付録 2 疾病19分類

- 異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関（WHO）が作成した分類が、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（ICD）」です。
- 現在、我が国では、**ICD-10**（2013）に準拠した「疾病、傷害及び死因分類」を作成し、統計法に基づく統計調査に使用するほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用しています。
- ICD-10の分類の構成（基本分類表）は全22章から構成され、疾病19分類は第1章から19章までの疾病の統計分類基本分類の表題を使用しており、レセプト分析システムではこの分類に従い分析を行っています。

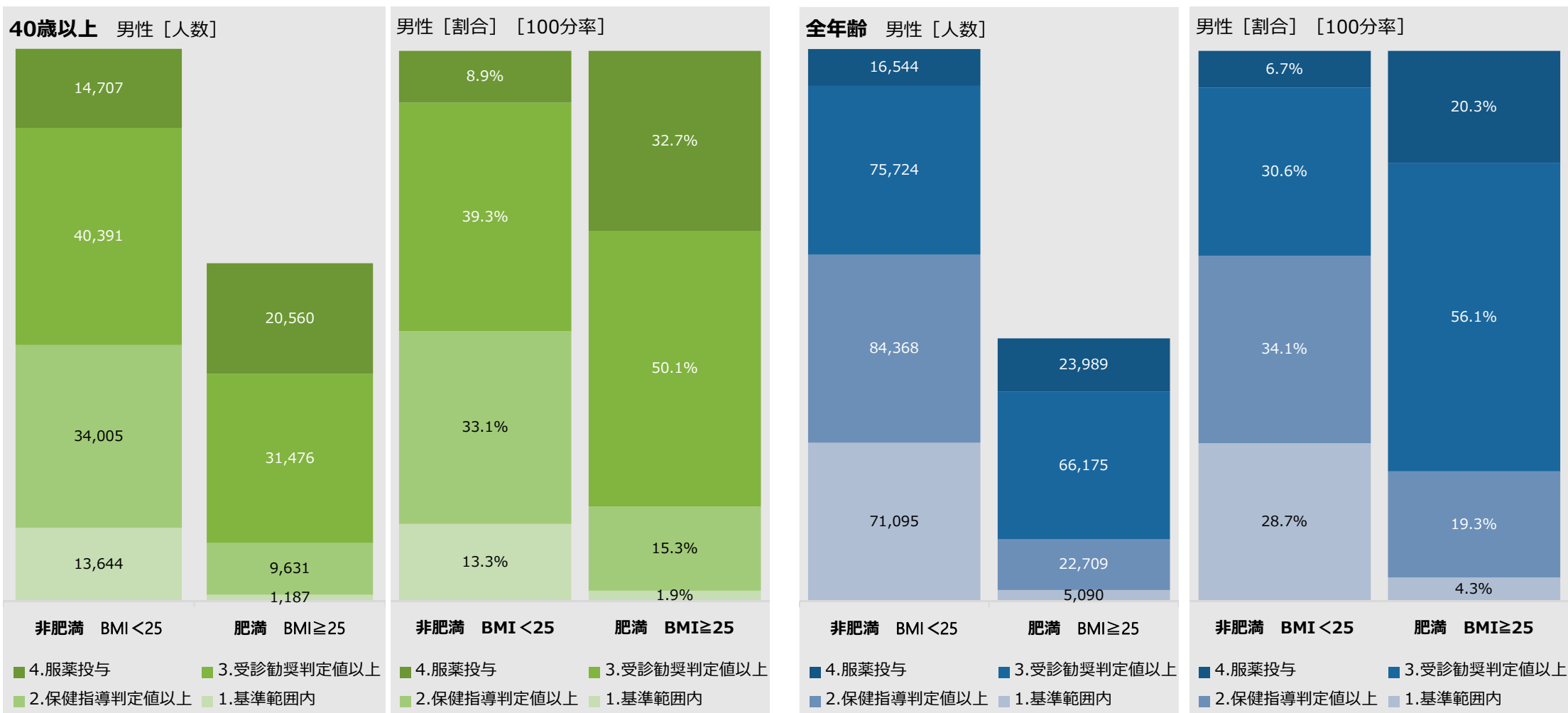
章	分類	大分類の例
第1章	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、主として性的伝播様式をとる感染症、真菌症などその他
第2章	新生物	悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物などその他
第3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	栄養性貧血、凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態、免疫機構の障害などその他
第4章	内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害、糖尿病、栄養失調、
第5章	精神及び行動の障害	症状性を含む器質性精神障害、統合失調症、妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害などその他
第6章	神経系の疾患	中枢神経系の炎症性疾患、神経系のその他の変性疾患、挿間性及び発作性障害などその他
第7章	眼及び付属器の疾患	眼瞼、涙器及び眼窩の障害、強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害、水晶体の障害などその他
第8章	耳及び乳様突起の疾患	外耳疾患、中耳及び乳様突起の疾患、耳のその他の障害などその他
第9章	循環器系の疾患	急性リウマチ熱、高血圧性疾患、虚血性心疾患、肺性心疾患及び肺循環疾患、脳血管疾患などその他
第10章	呼吸器系の疾患	急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、上気道のその他の疾患、喘息などその他
第11章	消化器系の疾患	食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患、ヘルニア、非感染性腸炎及び非感染性大腸炎などその他
第12章	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、水疱症、皮膚炎及び湿疹、蕁麻疹及び紅斑などその他
第13章	骨格系及び結合組織の疾患	関節障害、全身性結合組織障害、軟部組織障害、骨障害及び軟骨障害などその他
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患、腎不全、尿路結石症、乳房の障害などその他
第15章	妊娠、分娩及び産じょく	流産に終わった妊娠、主として妊娠に関連するその他の母体障害、分娩の合併症などその他
第16章	周産期に発生した病態	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児などその他
第17章	先天奇形、変形及び染色体異常	神経系の先天奇形、染色体異常、他に分類されないものなどその他
第18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候、その他の症状及び徴候、検査の異常所見、診断名の記載がないものなどその他
第19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷などその他の損傷、熱傷及び腐食、凍傷、薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒などその他
第22章	特殊目的用コード	重症急性呼吸器症候群[SARS]、コロナウイルス感染症2019など

STEP 1-4

健康分布

- 分析対象の健診情報は、**令和5年4月から令和6年3月までの健診結果を集計したものです。**
- 結果の線グラフ「該当率」の閾値は受診勧奨値（BMIは特定保健指導の選定基準値）を基準としています。
- 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等については「付録3」を参照（57頁）
- 特定保健指導の階層化フローについては「付録4」を参照（58頁）
- 健診検査項目の概要については「付録5」を参照（59頁）

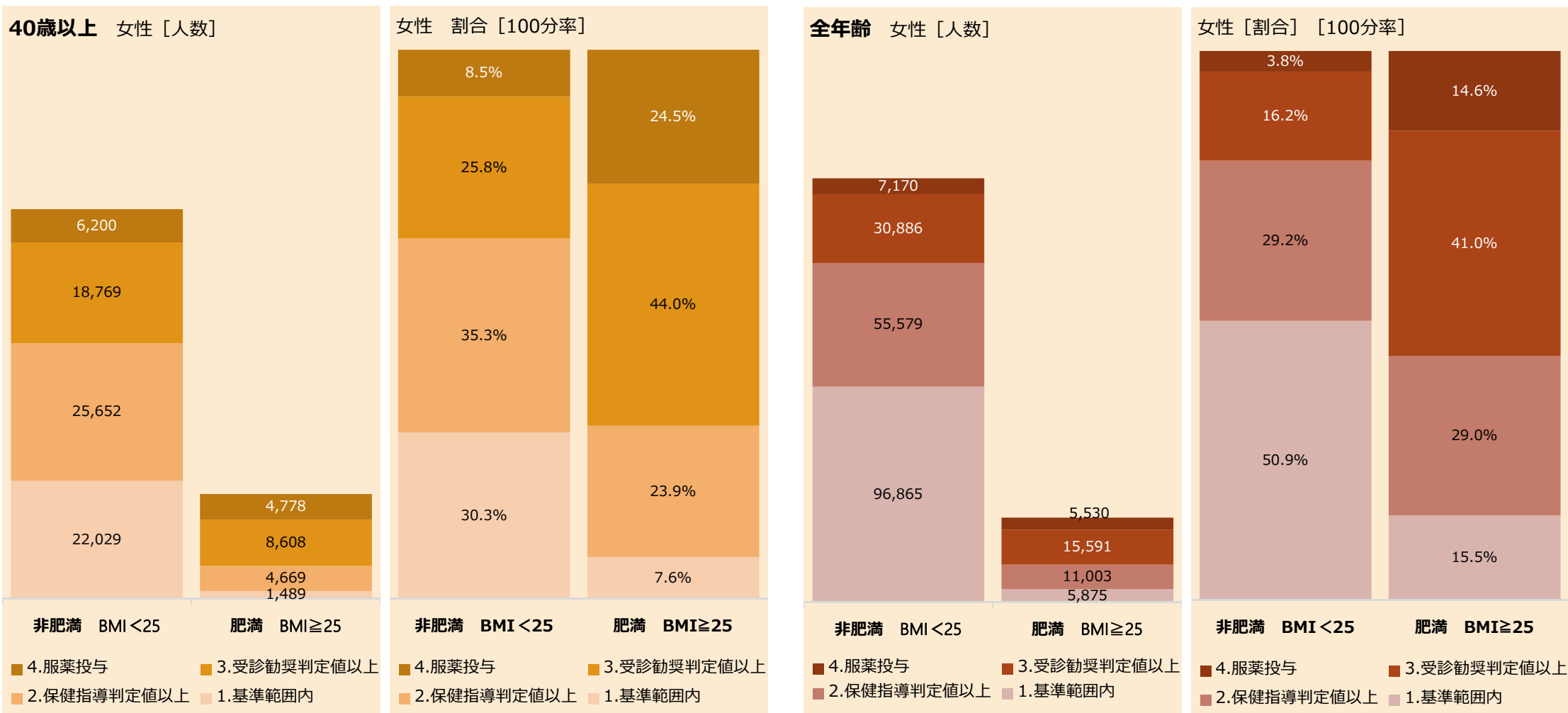
1-4-1 健康分布図 –肥満によるリスク分布（男性）–



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 特定健診対象者（40歳以上）の問診票及び健診結果の分析から、非肥満では「服薬投与」と「受診勧奨判定値以上」の者の割合が5割弱を占めているが、肥満では8割強を占めている。
- 40歳以上の非肥満と肥満では「基準範囲内」の割合に7倍の開きがある。
- 40歳以上と全年齢を比較すると肥満、非肥満ともに「基準範囲内」の割合が約2倍、「服薬投与」の割合が約1/2となる。（特定健診対象者の方が服薬率は高い。）

1-4-2 健康分布図 –肥満によるリスク分布（女性）–



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 40歳以上の非肥満と肥満では「基準範囲内」の割合に約4倍の開きがある。
- 40歳以上と全年齢を比較して「服薬投与」の占める割合が全年齢で約1/2となっている。
- 全年齢の非肥満では「基準範囲内」の者が5割強、肥満では「基準範囲内」の者が2割弱を占め、男性と比べその割合はかなり高くなっている。

1-4-3 健康分布図 – 問診票分析（食習慣） –

人と比較して食べるのが早い	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:速い	157,571	34.0%	119,574	38.8%	48,405	25.5%	167,979	33.7%	126,853	38.9%	52,067	25.4%	178,920	33.7%
2:ふつう	253,137	54.6%	162,114	52.6%	111,408	58.6%	273,522	54.9%	170,401	52.3%	119,266	58.2%	289,667	54.6%
3:遅い	23,112	11.4%	26,719	8.7%	30,266	15.9%	56,985	11.4%	28,437	8.7%	33,669	16.4%	62,106	11.7%
就寝2時間以内の食事が週3回以上ある	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	140,341	30.3%	103,190	33.5%	48,778	25.7%	151,968	30.5%	110,081	33.8%	53,981	26.3%	164,062	30.9%
2:いいえ	323,338	69.7%	205,167	66.5%	141,243	74.3%	346,410	69.5%	215,555	66.2%	150,979	73.7%	366,534	69.1%
朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日	100,250	21.5%	51,371	16.6%	55,927	29.3%	107,298	21.4%	54,666	16.7%	61,131	29.7%	115,797	21.7%
2:時々	267,050	57.3%	178,504	57.7%	107,802	56.5%	286,306	57.2%	189,600	58.0%	116,417	56.6%	306,017	57.5%
3:ほとんど摂取しない	98,356	21.1%	79,565	25.7%	27,116	14.2%	106,681	21.3%	82,478	25.2%	28,184	13.7%	110,662	20.8%
朝食抜きが週3回以上ある	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	178,820	38.6%	131,306	42.6%	63,926	33.6%	195,232	39.2%	139,909	43.0%	69,847	34.1%	209,756	39.5%
2:いいえ	284,887	61.4%	177,038	57.4%	126,101	66.4%	303,139	60.8%	185,749	57.0%	135,104	65.9%	320,853	60.5%
お酒を飲む頻度	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日	80,307	15.5%	60,319	17.5%	22,024	10.5%	82,343	14.9%	59,152	16.4%	22,271	9.9%	81,423	13.9%
2:時々	209,382	40.5%	150,884	43.9%	84,698	40.4%	235,582	42.6%	163,541	45.3%	93,718	41.6%	257,259	43.9%
3:ほとんど飲まない	226,855	43.9%	132,801	38.6%	102,884	49.1%	235,685	42.6%	138,548	38.4%	109,090	48.5%	247,638	42.2%
飲酒日の一日当りの飲酒量	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:1合未満	246,630	54.3%	140,256	45.3%	116,200	63.6%	256,456	52.1%	144,624	44.2%	123,159	62.5%	267,783	51.1%
2:1～2合未満	132,702	29.2%	99,487	32.1%	46,303	25.4%	145,790	29.6%	104,295	31.9%	50,668	25.7%	154,963	29.6%
3:2～3合未満	52,448	11.5%	46,674	15.1%	14,972	8.2%	61,646	12.5%	51,643	15.8%	17,410	8.8%	69,053	13.2%
4:3合以上	22,564	5.0%	23,357	7.5%	5,110	2.8%	28,467	5.8%	26,491	8.1%	5,947	3.0%	32,438	6.2%

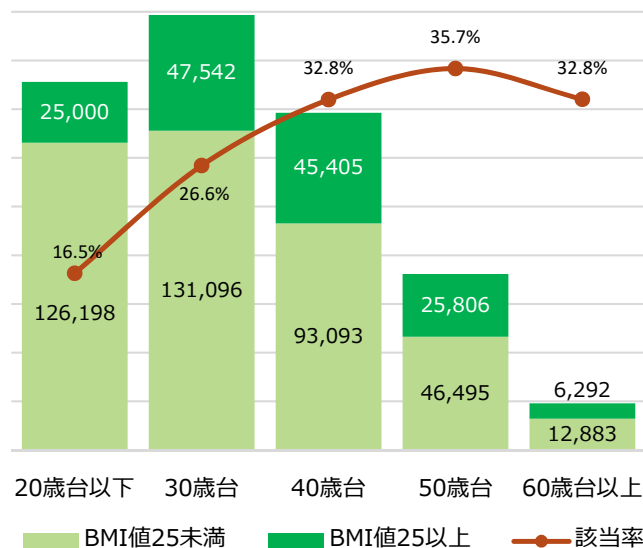
■ 問診表による経年結果は、ほとんどの項目で前年度と同様の結果となった。

1-4-4 健康分布図 – 問診票分析（その他） –

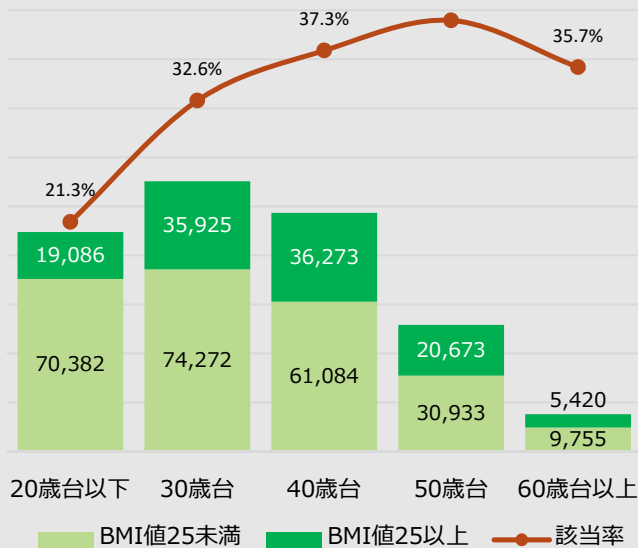
睡眠で休養が十分とれている	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	305,101	65.8%	203,993	66.2%	122,240	64.3%	326,233	65.5%	211,419	64.9%	129,256	63.1%	340,675	64.2%
2:いいえ	158,363	34.2%	104,266	33.8%	67,736	35.7%	172,002	34.5%	114,143	35.1%	75,659	36.9%	189,802	35.8%
20歳のときから体重10kg以上増加	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	171,822	37.1%	140,326	45.5%	43,856	23.1%	184,182	37.0%	148,417	45.6%	48,333	23.6%	196,750	37.1%
2:いいえ	291,812	62.9%	168,003	54.5%	146,127	76.9%	314,130	63.0%	177,216	54.4%	156,606	76.4%	333,822	62.9%
食事を噛んで食べるときの状態	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:何でも	413,759	88.9%	277,468	89.7%	169,243	88.7%	446,711	89.3%	293,291	89.8%	182,722	88.8%	476,013	89.4%
2:かみにくい	49,909	10.7%	30,557	9.9%	20,987	11.0%	51,544	10.3%	31,912	9.8%	22,397	10.9%	54,309	10.2%
3:ほとんどかめない	1,882	0.4%	1,376	0.4%	570	0.3%	1,946	0.4%	1,496	0.5%	565	0.3%	2,061	0.4%
1回30分以上の運動を週2日以上、1年実施	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	94,063	20.3%	75,815	24.6%	30,740	16.2%	106,555	21.4%	84,077	25.8%	34,031	16.6%	118,108	22.3%
2:いいえ	369,772	79.7%	232,594	75.4%	159,335	83.8%	391,929	78.6%	241,630	74.2%	170,985	83.4%	412,615	77.7%
歩行などを1日1時間以上実施	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	160,749	34.7%	113,583	36.8%	66,972	35.2%	180,555	36.2%	130,296	40.0%	75,304	36.7%	205,600	38.8%
2:いいえ	302,883	65.3%	194,734	63.2%	123,020	64.8%	317,754	63.8%	195,332	60.0%	129,607	63.3%	324,939	61.2%
同年齢の同性より歩くのが速い	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	242,123	52.2%	172,033	55.8%	87,455	46.0%	259,488	52.1%	184,521	56.7%	96,033	46.9%	280,554	52.9%
2:いいえ	221,607	47.8%	136,332	44.2%	102,570	54.0%	238,902	47.9%	141,164	43.3%	108,941	53.1%	250,105	47.1%
生活習慣の改善で保健指導を利用した いか	令和3年度		令和4年度						令和5年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	135,195	32.7%	80,128	29.8%	60,194	34.2%	140,322	31.6%	82,850	29.0%	63,349	33.2%	146,199	30.7%
2:いいえ	278,517	67.3%	188,433	70.2%	115,929	65.8%	304,362	68.4%	202,798	71.0%	127,409	66.8%	330,207	69.3%

- 20歳のときより体重が10kg以上増加している者の割合は全体では37%だが、男性約46%に対して女性では約23%と性別による差は大きい。
- 運動に関して、1回30分以上の運動を週2日以上実施および1日1時間以上の歩行などを実施している者の割合は前年に比べ増加している。
- 保健指導に関しては、7割弱の人が**利用に関してネガティブ指向**であり、この値は微増の状況が続いている。

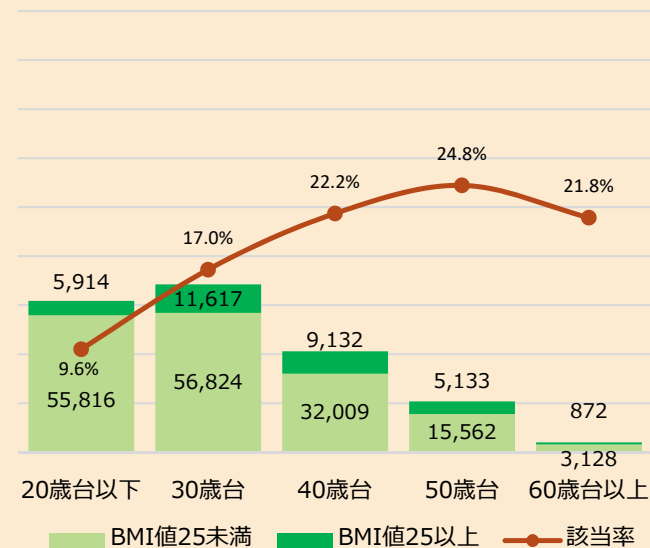
BMI分布 被保険者全体



BMI分布 男性

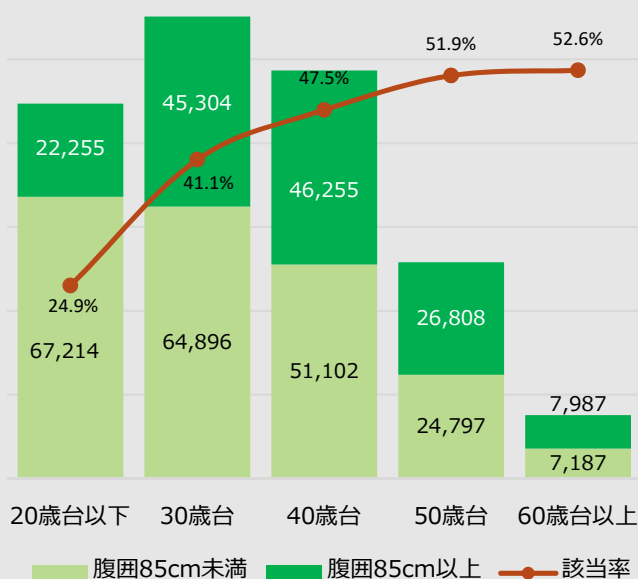


BMI分布 女性

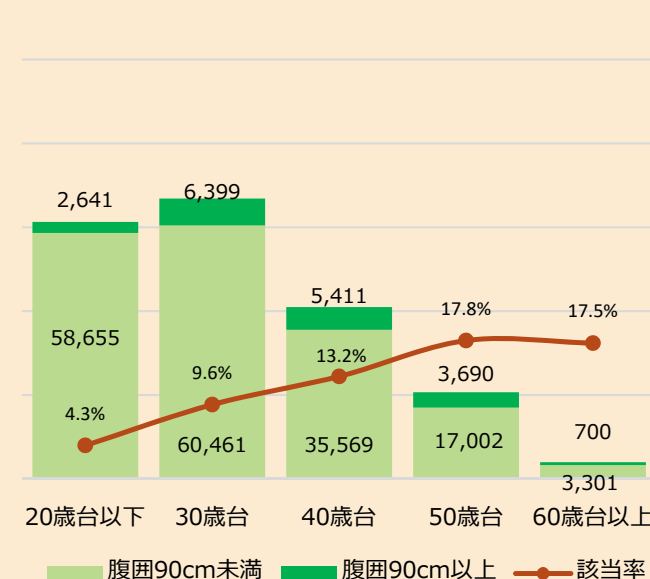


- BMI25以上の該当率は男女ともに50歳台がピークになっている。
- 男性は30歳台から増加し、3割超の人がBMI25を超え、4割超の人が腹囲85cmを超えている。
- 女性の該当率は男性と比較して、BMI25を超えている人は1/2程度、腹囲では1/3～1/6程度と総じて該当率は低い。

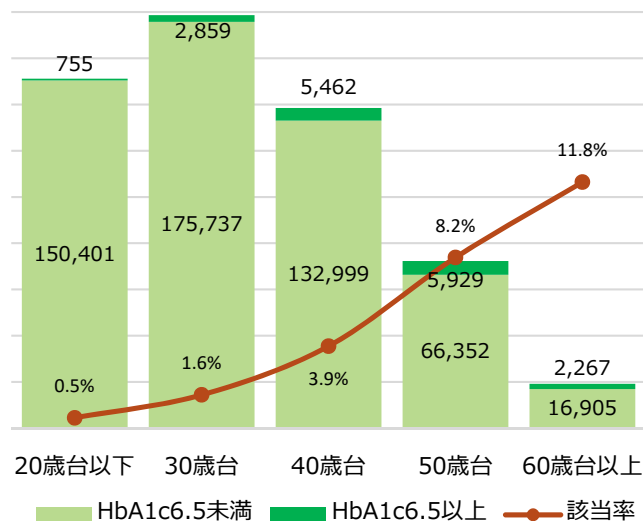
腹囲分布 男性



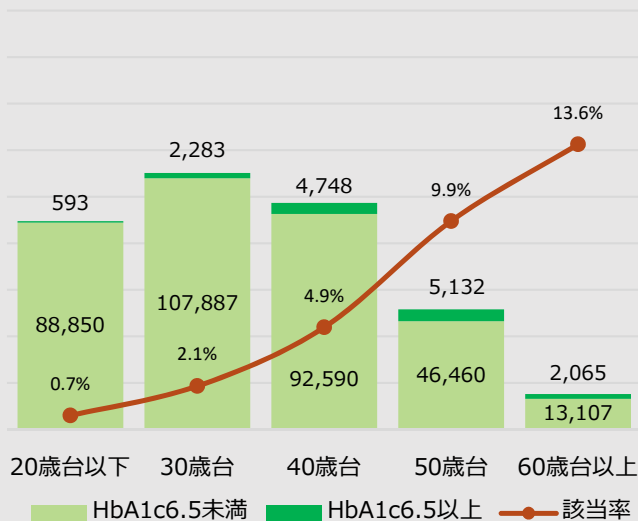
腹囲分布 女性



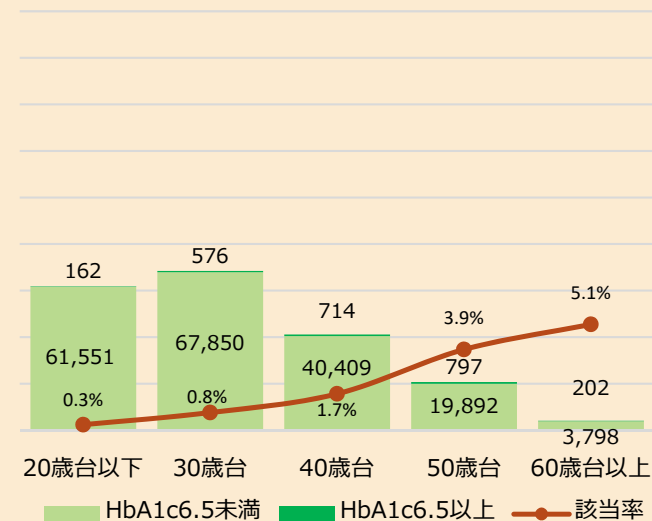
HbA1c 分布 被保険者全体



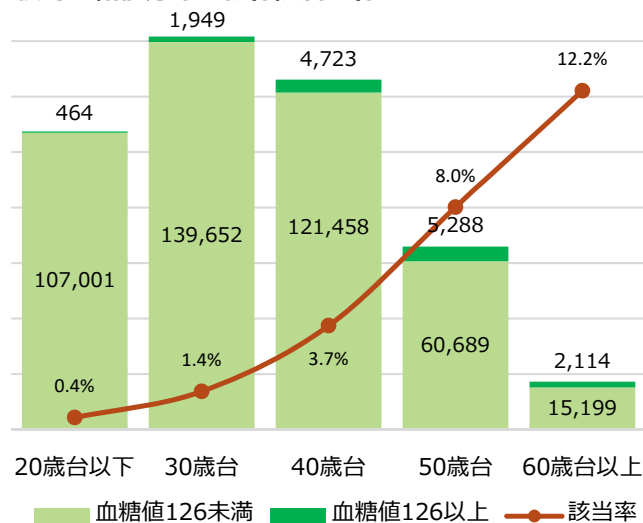
HbA1c 分布 男性



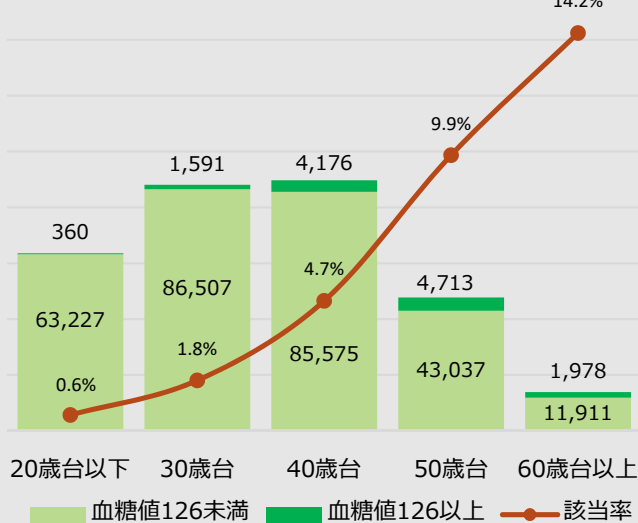
HbA1c 分布 女性



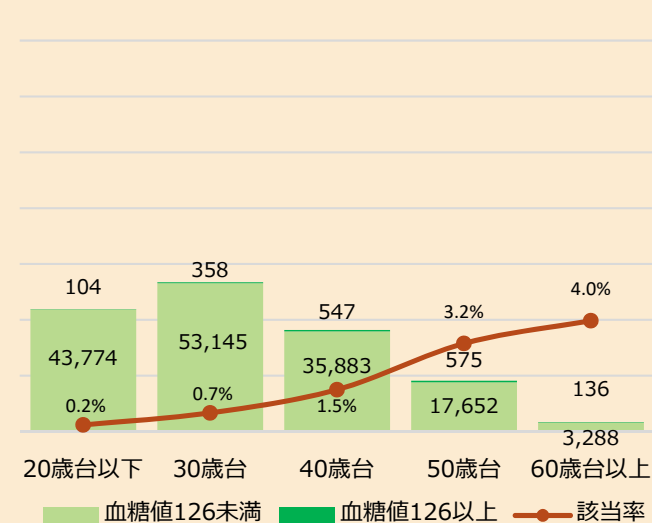
空腹時血糖値分布 被保険者全体



空腹時血糖値分布 男性

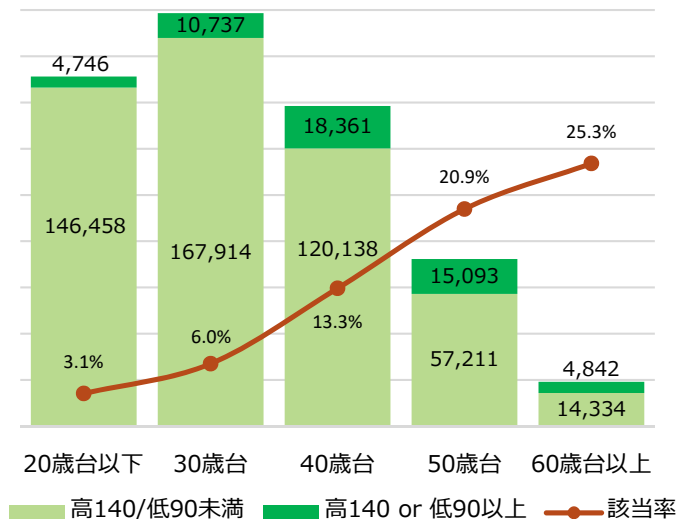


空腹時血糖値分布 女性

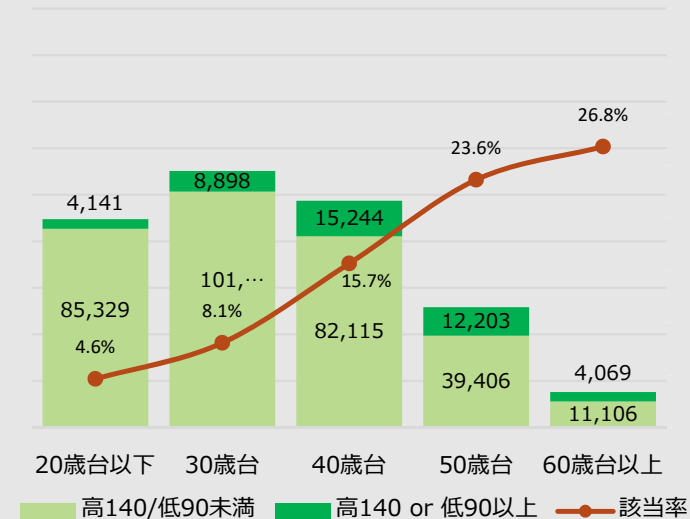


■ 糖尿病の指標は男女ともに年代が上がるにつれて高くなる傾向であるが、50歳台を境に急激に高くなる。その傾向は男性により強く現れている。

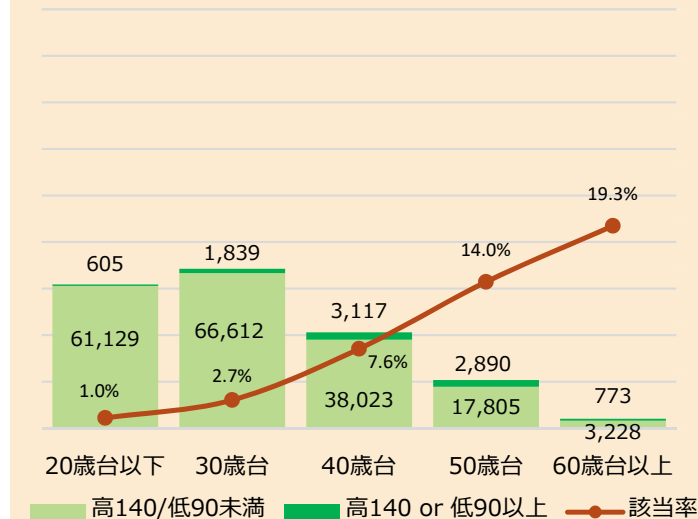
収縮又は拡張期 高値分布 被保険者全体



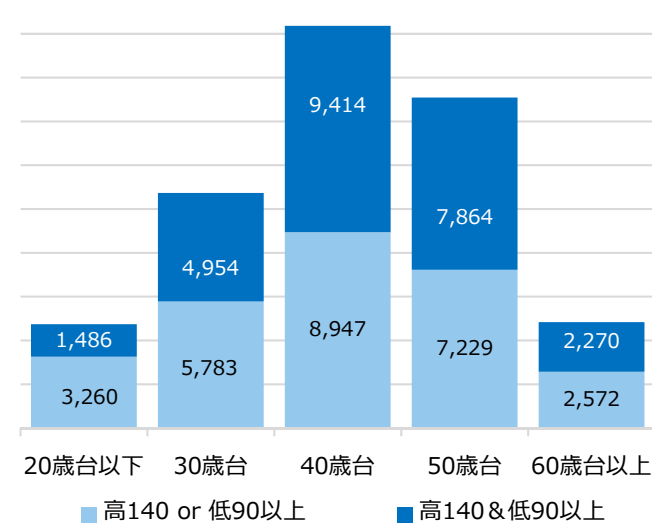
収縮又は拡張期 高値分布 男性



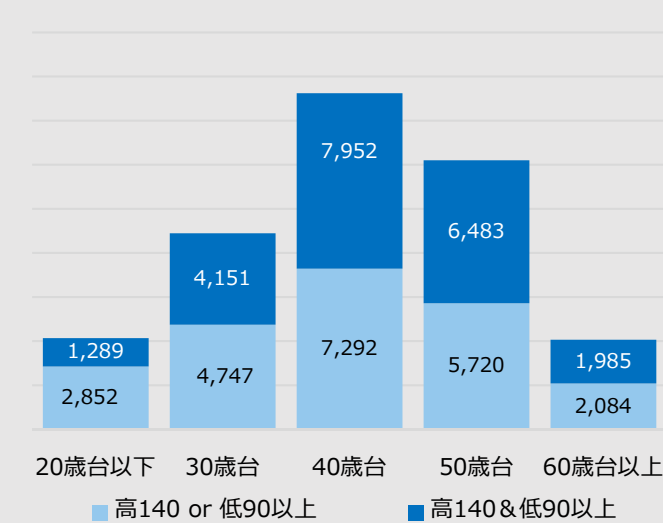
収縮又は拡張期 高値分布 女性



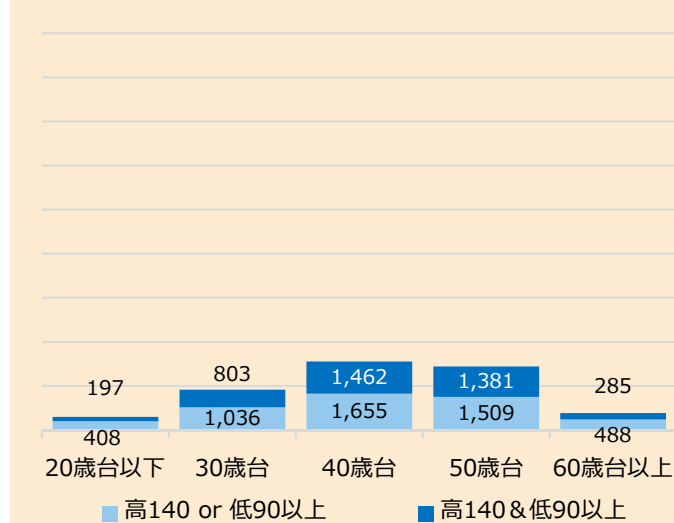
高値者の分布 被保険者全体



高値者の分布 男性

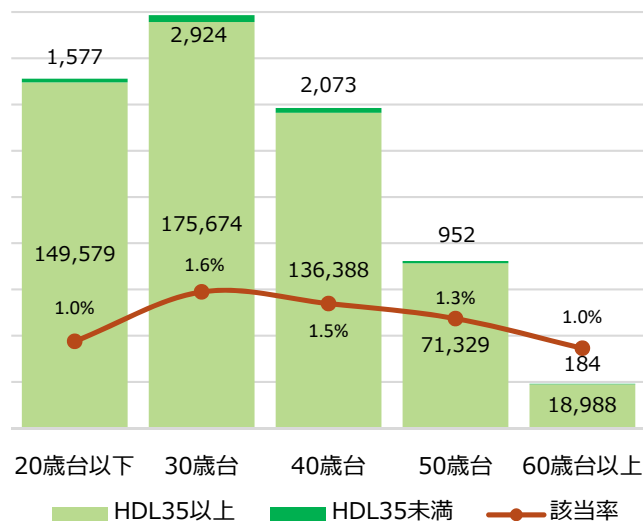


高値者の分布 女性

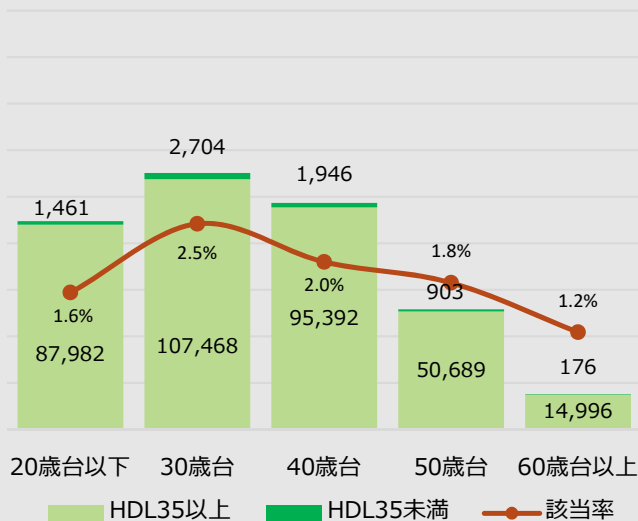


- 該当率は、40歳台から伸びはじめる。（上グラフ）
- 上グラフの受診勧奨値に該当した者のうち、収縮・拡張（上下）ともに基準値を上回る者が約半数見られる。（下グラフ）

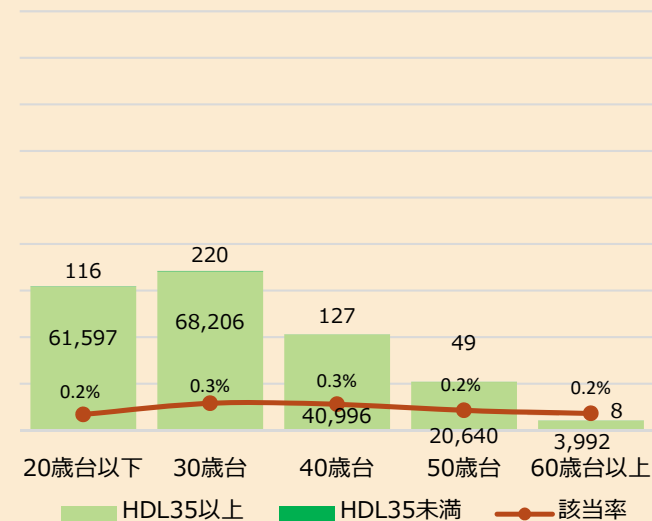
HDL 分布 被保険者全体



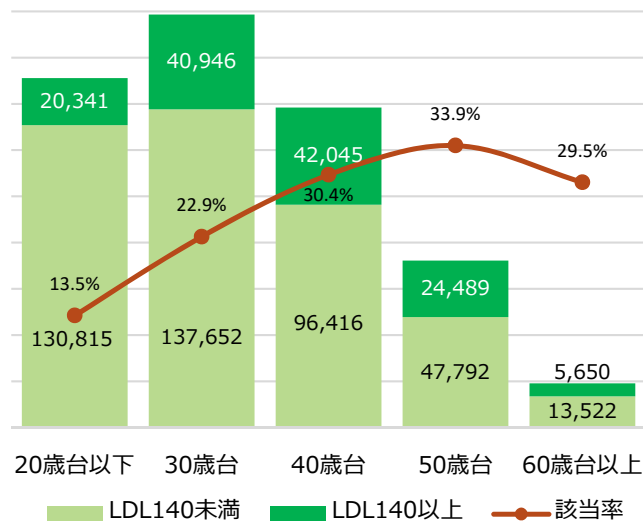
HDL 分布 男性



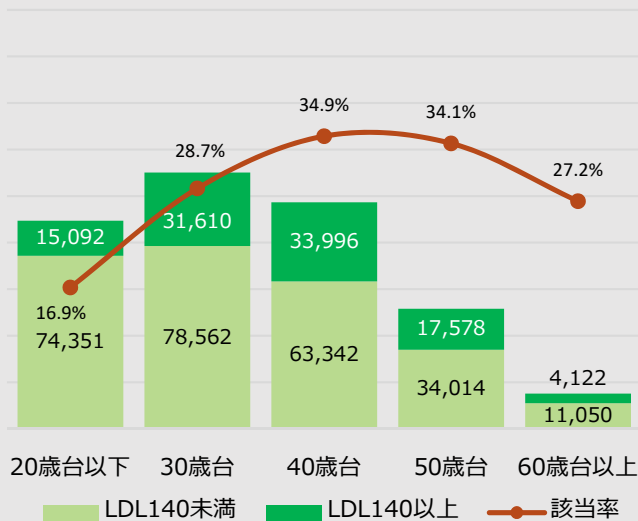
HDL 分布 女性



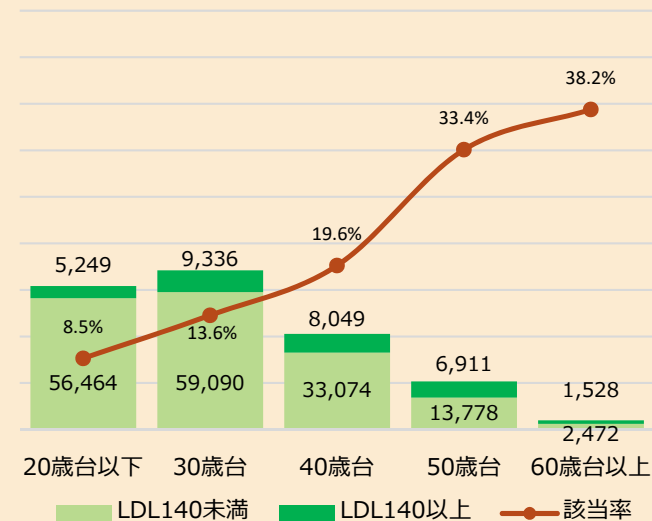
LDL 分布 被保険者全体



LDL 分布 男性

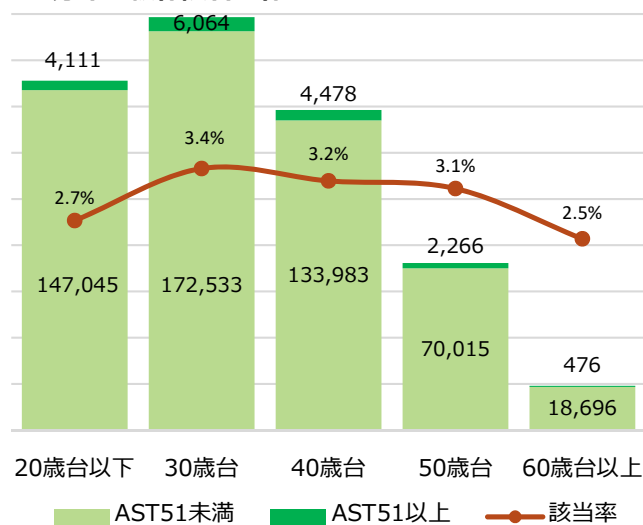


LDL 分布 女性

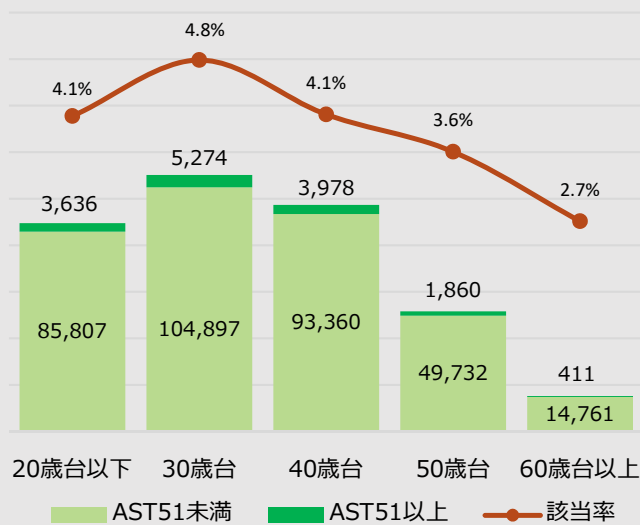


■ 受診勧奨値に該当する者は男女ともにHDLと比べてLDLに多く、男性では40歳台をピークに該当率は減少しているが女性では50歳台を境に急増している。

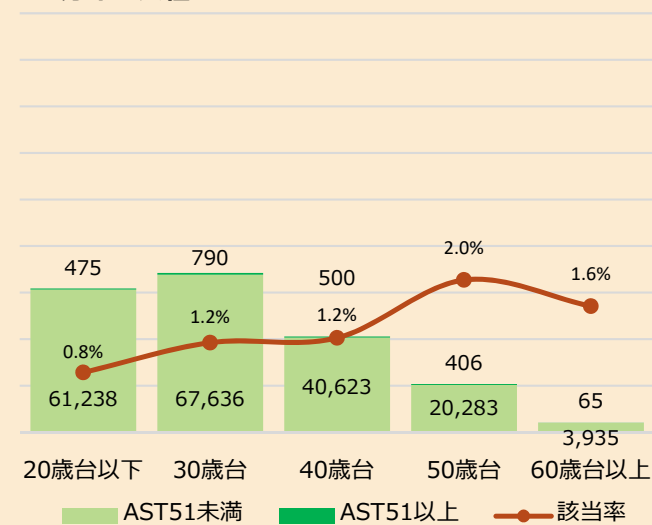
AST 分布 被保険者全体



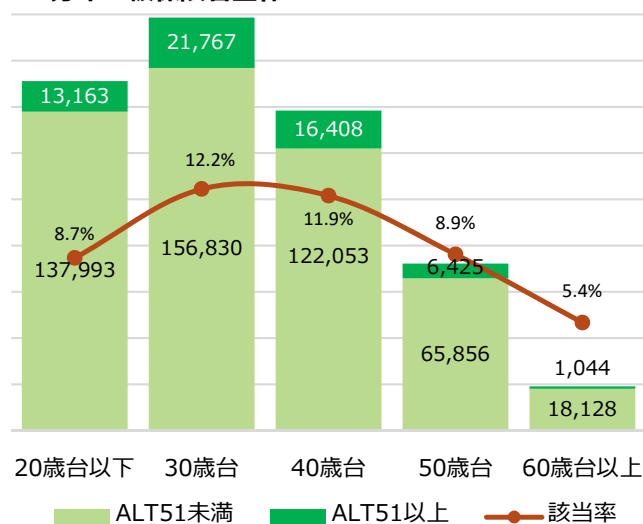
AST 分布 男性



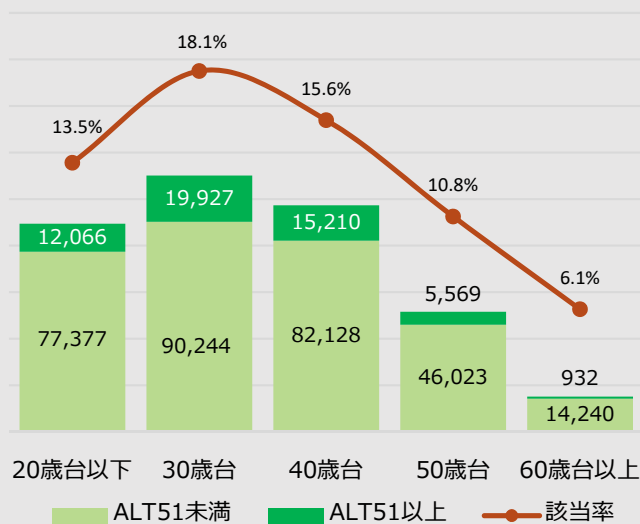
AST 分布 女性



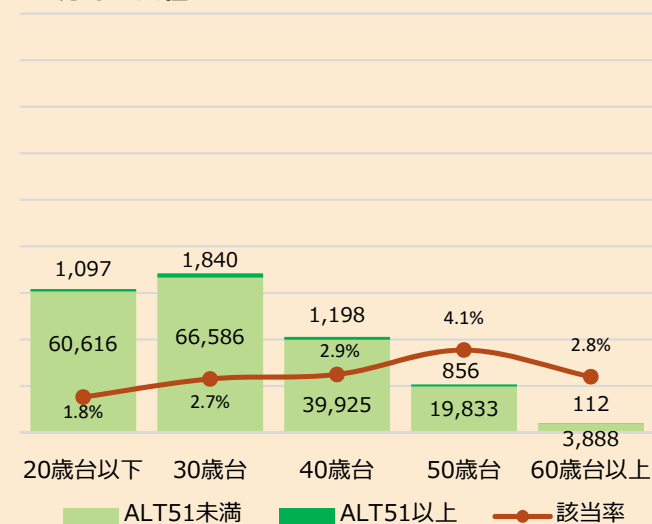
ALT 分布 被保険者全体



ALT 分布 男性



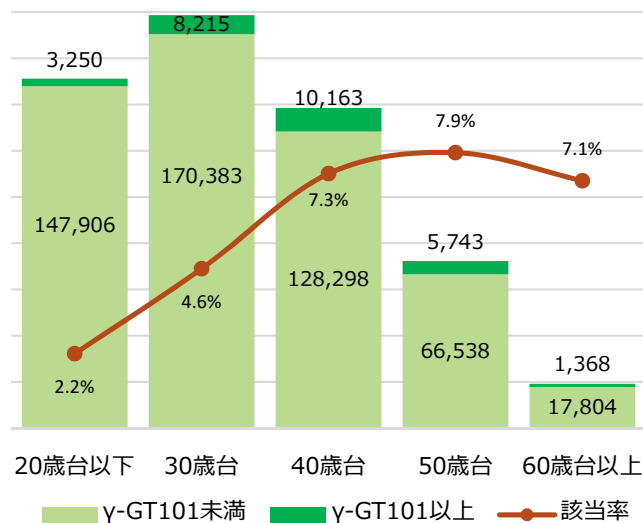
ALT 分布 女性



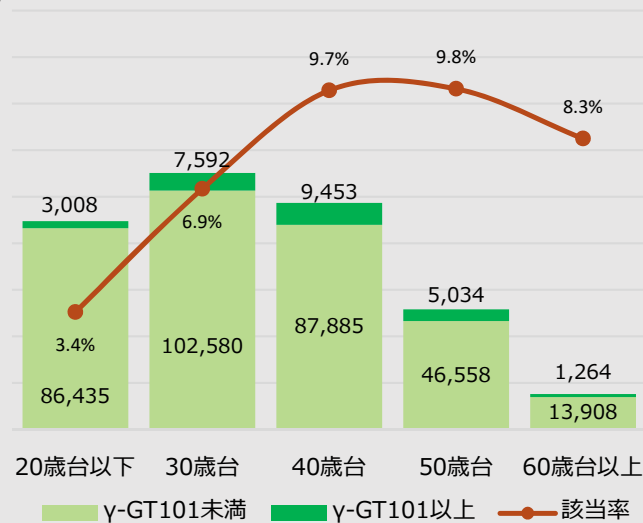
■ ASTと比べALTでは受診勧奨値を超えて該当する者が多いが、女性では両者に差異はなく、男性ではいずれも30歳台をピークに逡減する。女性の該当率は男性に比べてどちらも低い。

1-4-10 健康分布図（被保険者） - γ -GT（ γ -GTP）と中性脂肪 -

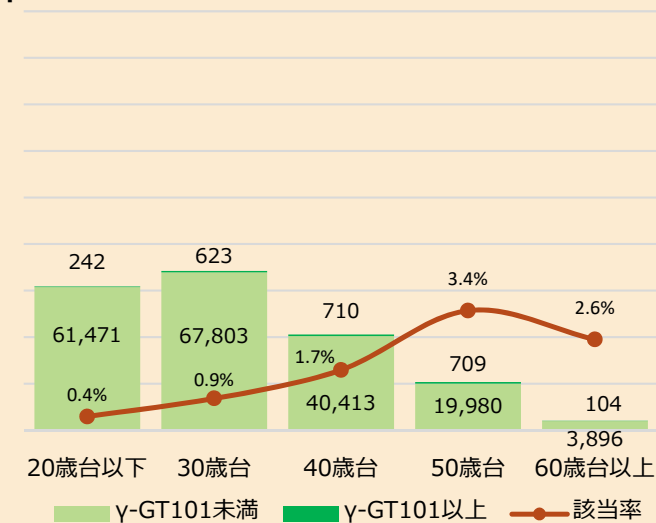
γ -GT 分布 全体



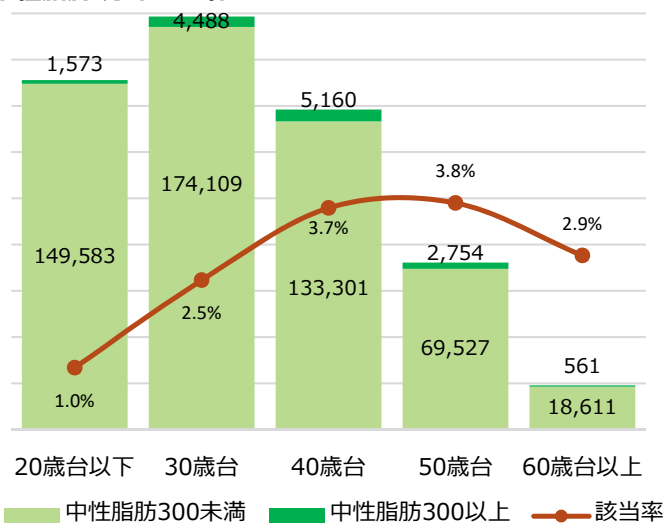
γ -GT 分布 男性



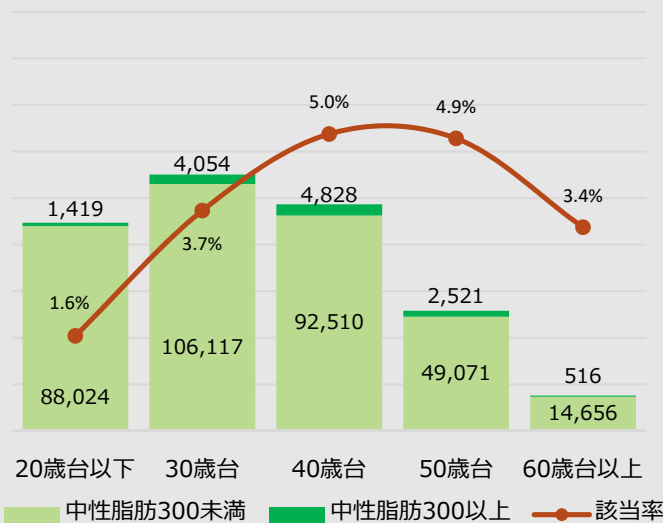
γ -GT 分布 女性



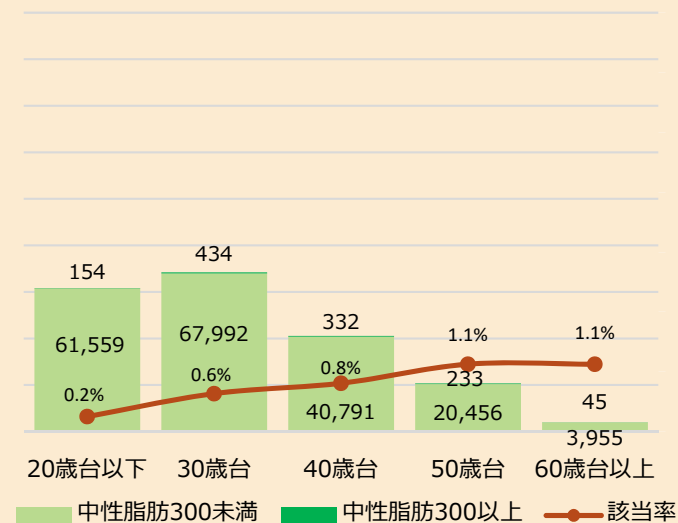
中性脂肪 分布 全体



中性脂肪 分布 男性



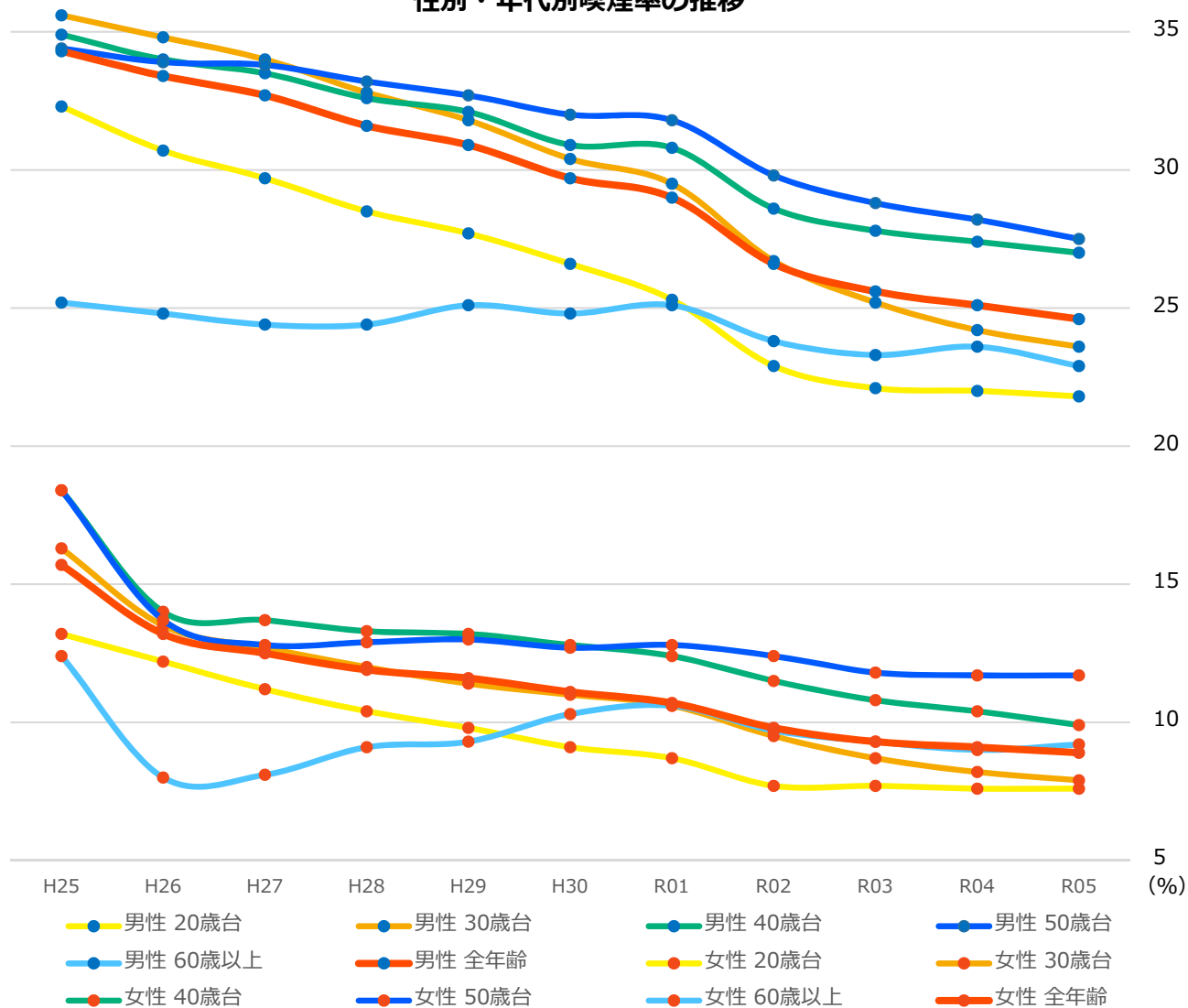
中性脂肪 分布 女性



■ γ -GT 及び中性脂肪ともに、男性の該当率は女性と比較すると非常に高い。

1-4-11 健康分布図（全体）－喫煙率－

性別・年代別喫煙率の推移



喫煙者数と喫煙率 男性 令和5年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳台	19,502	69,896	89,398	21.8%	22.0%
30歳台	26,051	84,440	110,491	23.6%	24.2%
40歳台	26,355	71,373	97,728	27.0%	27.4%
50歳台	14,284	37,630	51,914	27.5%	28.2%
60歳以上	3,674	12,375	16,049	22.9%	23.1%
計	89,866	275,714	365,580	24.6%	25.1%

喫煙者数と喫煙率 女性 令和5年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳台	4,745	57,422	62,167	7.6%	7.6%
30歳台	5,872	68,116	73,988	7.9%	8.2%
40歳台	5,390	48,827	54,217	9.9%	10.4%
50歳台	3,521	26,502	30,023	11.7%	11.7%
60歳以上	737	7,300	8,037	9.2%	8.8%
計	20,265	208,167	228,432	8.9%	9.1%

- 経年でみるといずれの年代もおおむね減少傾向である。
- 令和5年度問診票からみた喫煙率は、女性の50歳台以上を除き、前年度から減少している。

付録 3

健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等

- 2013年4月1日に厚生労働省より公開された「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に記載されている、主な健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値と、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）による特定保健指導の基準値は次のとおりです。（※基準値を用いた特定保健指導の階層化は付録4を参照）

項目名	保健指導判定値	特定保健指導実施基準値	受診勧奨判定値	単位
腹囲	－	男性 85 以上 女性 90 以上	－	cm
BMI	－	25以上	－	－
収縮期血圧	130 以上	130 以上	140 以上	mmHg
拡張期血圧	85 以上	85 以上	90 以上	mmHg
中性脂肪	150 以上	150 以上	300 以上	mg/dL
HDLコレステロール	39 以下	40 未満	34 以下	mg/dL
LDLコレステロール	120 以上	－	140 以上	mg/dL
空腹時血糖	100 以上	100 以上	126 以上	mg/dL
HbA1c（NGSP）	5.6 以上	5.6 以上	6.5 以上	%
AST（GOT）	31 以上	－	51 以上	U/L
ALT（GPT）	31 以上	－	51 以上	U/L
γ-GT（γ-GTP）	51 以上	－	101 以上	U/L

付録 4 特定保健指導の階層化フロー

- 特定健診の結果より特定保健指導の対象と判定された方を動機付け支援（リスク低）対象者、積極的支援（リスク高）対象者に、それぞれ階層化します。
- 健康状態を把握し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に実施できるように、医師や保健師、管理栄養士がさまざまな働きかけやサポートを行います。

STEP 1 内臓脂肪蓄積のリスクを判定	
1	腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上
2	腹囲は上記未満だが、BMI〔体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）〕が25以上
※ 1 の場合、内臓脂肪面積を測定したときは、内臓脂肪面積の測定が優先されます。 ※ いずれにも該当しなければ特定保健指導は対象外です。	

STEP 2 検査結果、質問票から追加リスク数をカウント	
1 血糖 ※	空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c : 5.6%以上
2 脂質	中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDL（善玉）コレステロール : 40mg/dl未満
3 血圧	収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 : 85mmHg以上
4 喫煙歴	1から3のうち、1つ以上に該当した場合にカウントします
※ 1の項目を測定している場合は、空腹時血糖値を優先とします。	

STEP 3 保健指導のレベルをグループ分け				
STEP1		STEP2		保健指導の内容
1のリスクに該当した場合 （腹囲測定）	1～4のリスク数が	2つ以上	積極的支援	
		1つ	動機付け支援	
		0	情報提供	
2のリスクに該当した場合 （BMI）	1～4のリスク数が	3つ以上	積極的支援	
		1つ又は2つ	動機付け支援	
		0	情報提供	
※ 65歳以上の方は、積極的支援レベルに該当しても、動機づけ支援を行います。				

STEP 4 特定保健指導レベルに合わせたご案内を送付します。	
情報提供	● 健康的な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣を見直すきっかけとなるような、基本的な情報を提供します。
動機付け支援（リスク低）	● 初回面談 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス ● 実践 3ヶ月以上、自身で「行動目標」に向けて生活習慣改善 ● 実績評価 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認
積極的支援（リスク高）	● 初回面談 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス ● 継続支援 3ヶ月以上、「行動目標」に向けて生活習慣改善の実施メールや電話などで生活習慣の改善のための支援を継続 ● 実績評価 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認
※ 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士又は実務経験のある看護師）がサポートします。	

付録 5 健診検査項目の概要

- 「**中性脂肪**」 体内にある4種類の脂質の一種です。中性脂肪は砂糖やでんぷんなどの糖質、炭水化物などが主な原料で肝臓でつくられます。これらの原料を多く取りすぎると、皮下脂肪の主成分として蓄積されます。血液中の中性脂肪やコレステロールが増えすぎる（高脂血症）と、動脈硬化の危険が高まります。中性脂肪が余分になり、血液中に増加してくると、動脈硬化を進める一因になります。中性脂肪の測定は、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）を予防するための大切な検査です。中性脂肪の基準値30～149mg/dlですが、食後30分ぐらいから上昇し始め、4～6時間後に最も高くなります。検査は早朝空腹時に行ないます。
- 「**HDLコレステロール**」 血液中のコレステロールや中性脂肪などが、たんぱく質と結びついたものをリポたんぱくといいます。一般に、コレステロールを多く含んでいるリポたんぱくとして「HDL」と「LDL」があります。HDLコレステロールは、血管内壁にへばりついて動脈硬化を引き起こすコレステロールを引き抜いて、肝臓まで運ぶ働きをしています。このことから「善玉コレステロール」とも呼ばれています。
- 「**LDLコレステロール**」 LDLは、肝臓でつくられたコレステロールを各臓器に運ぶ働きをしている低比重リポたんぱくのことです。LDLコレステロールは、細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となるため「悪玉コレステロール」と呼ばれています。LDLコレステロールの値が140mg/dl以上の場合、生活習慣の改善が必要です。
- 「**血糖**」 血糖とは、一般には血液中のブドウ糖のことを意味します。ブドウ糖は、エネルギー源として利用されているため、血液中のブドウ糖（血糖）は一定の濃度に保たれています。そのコントロールを行っているインスリンが不足したり、あるいはインスリンの働きが弱くなったりすると、血液中に多量の糖が存在することになってしまいます。血糖を調節しているインスリンが不足すると、血液中にブドウ糖があふれて「高血糖」になります。血糖の検査は、糖尿病の有無、その治療や管理の指標として欠かせません。「空腹時血糖値」が126mg/dl以上、または「食後血糖値」が200mg/dl以上であれば、糖尿病の疑いが濃厚です。糖尿病は慢性の病気ですので、根気よく治療を続けることが大切です。食事療法、運動療法、インスリン療法で血糖コントロールをよくして合併症を防ぐことが重要です。
- 「**HbA1c**」 HbA1c（グリコヘモグロビン）とは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと、血液中のブドウ糖が結合したものです。糖化ヘモグロビンともいい、血糖値が高いほどHbA1cが形成されやすくなるので、糖尿病患者では血液中に顕著な増加がみられます。血糖値は常に変化しますが、グリコヘモグロビンは濃度が安定しています。ヘモグロビンの寿命は約4ヶ月であるため、グリコヘモグロビンの値を調べれば、過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を知ることができます。血糖値は検査前の食事や飲酒、それに検査時間によって変動するのに対し、HbA1c値はほとんど影響を受けないという特徴があります。糖尿病を治療中の人で高値の場合は、血糖コントロールが上手くいっていないということであり、食事療法を守るのはもちろん、適度な運動を行なうなど、生活スタイルから見直す必要があります。
- 「**BMI**」 BMIとは、体格指数を表し国際的にも認められている、肥満・やせの基準です。BMI値は、大人のみに適応するもので、その体格判定基準は、
・18.5未満 やせ /・18.5～25未満 標準 /・25～30未満 肥満 /・30以上 高度肥満
となっており、25以上を肥満としています。なお、日本肥満学会では、日本人の標準値を男女ともに22としています。これは、統計的に疾患が最も発生しにくく長生きできる数値を標準値として採用したものです。BMIの大きい太った人は、糖尿病や心臓病などの発病率が高くなります。
- 「**AST/ALT**」 AST・ALTは肝細胞に多く含まれている酵素です。肝臓が悪くなると肝細胞が破壊され、そこに含まれている酵素が血液中に放出されますので、数値が高くなります。ASTは心臓の筋肉や骨格筋等にも含まれていますので、激しい運動や筋肉に炎症がある場合や心筋梗塞（急性期）の場合にも増加します。
- 「**γ-GTP**」 γ-GTPは胆道系酵素のひとつで、肝臓や胆道に障害があると、血液中の値が高くなります。また、飲酒状態を敏感に反映することから、アルコール性肝疾患の診断・経過観察の指標となります。その他、薬剤性肝障害でも値が上昇します。

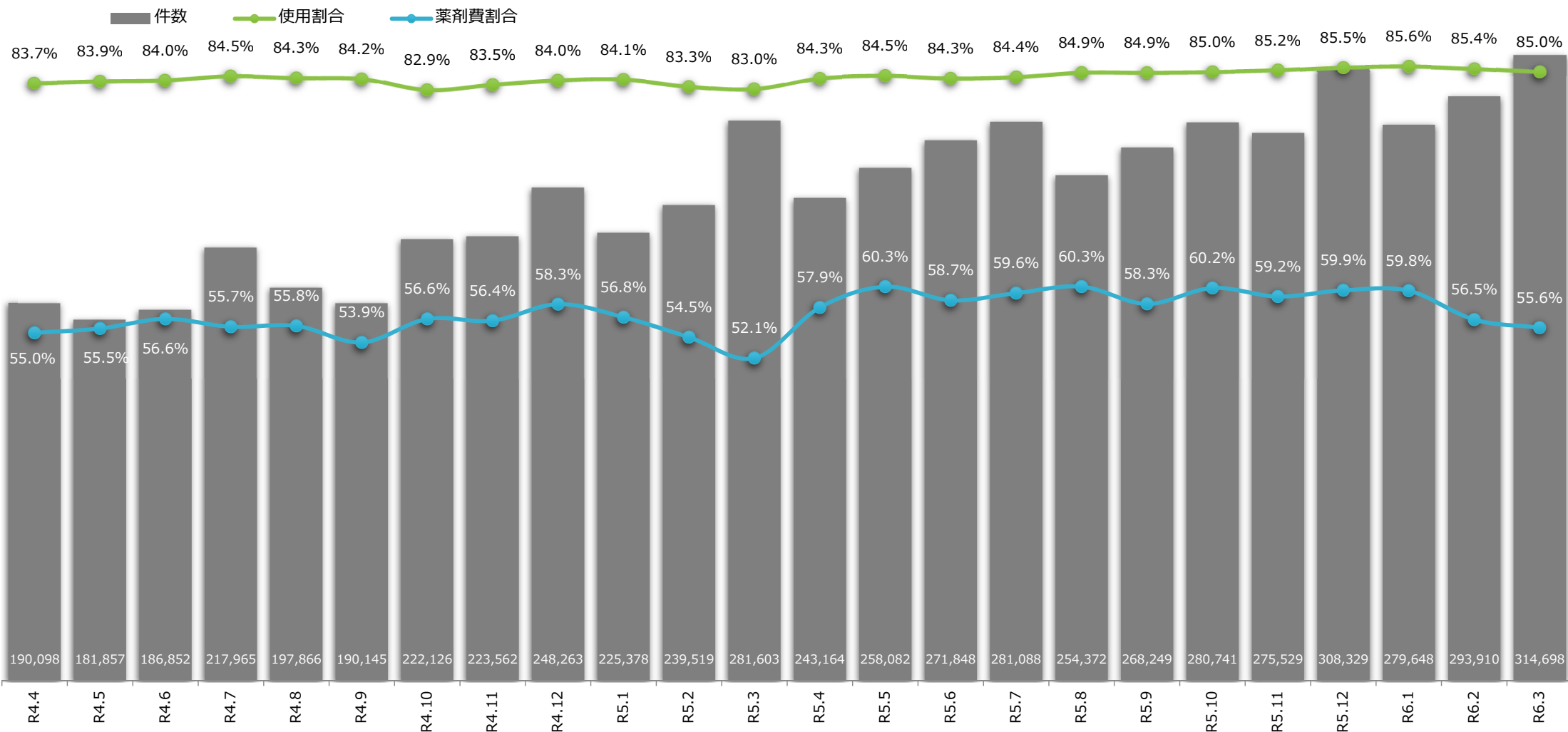
STEP 1-5

後発医薬品

1-5-1 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人家族

		本人	男性
	調剤	家族	女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人+家族 強制+任継



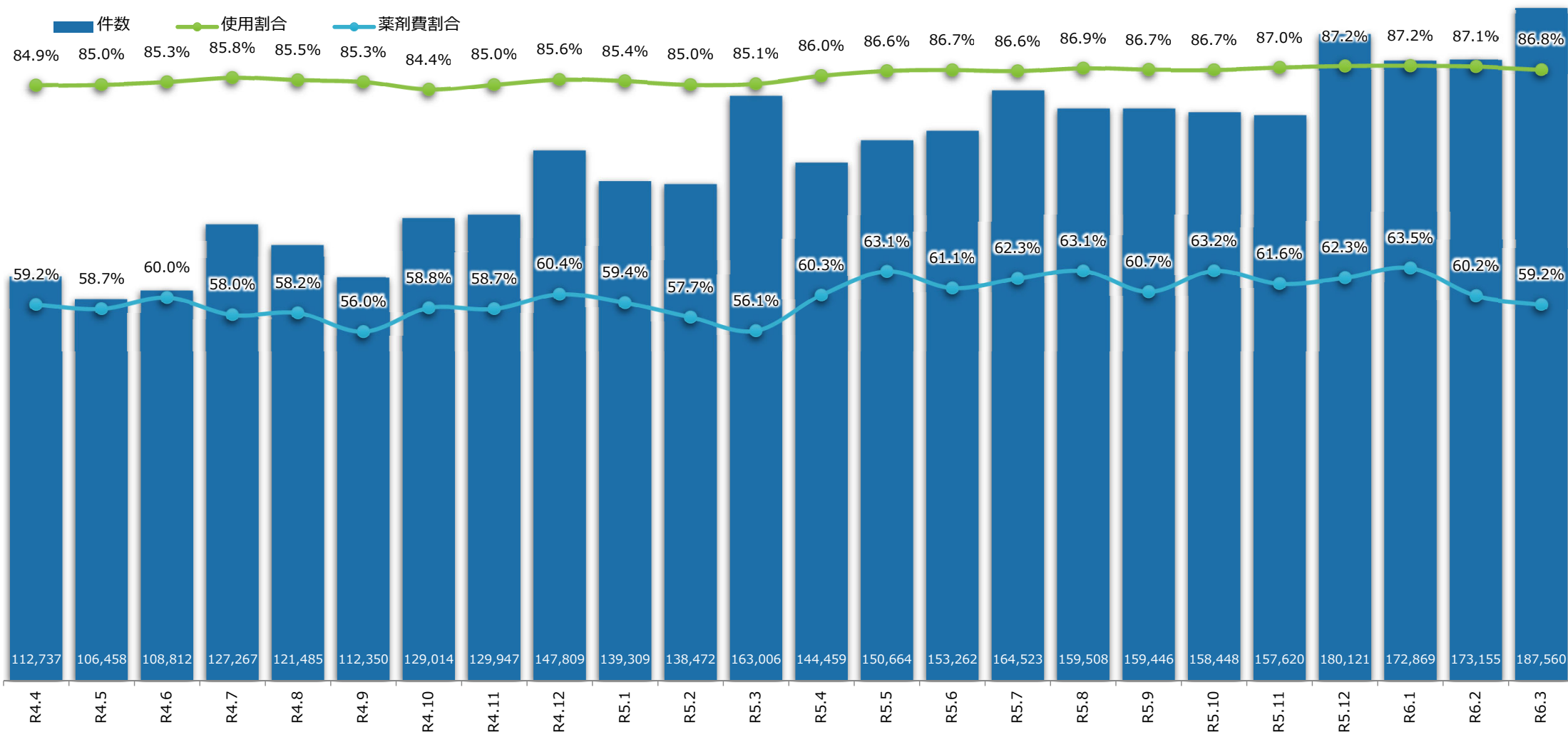
使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合は80%超が定着している。

1-5-2 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人

	本人	男性
調剤		女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人 強制+任継



使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

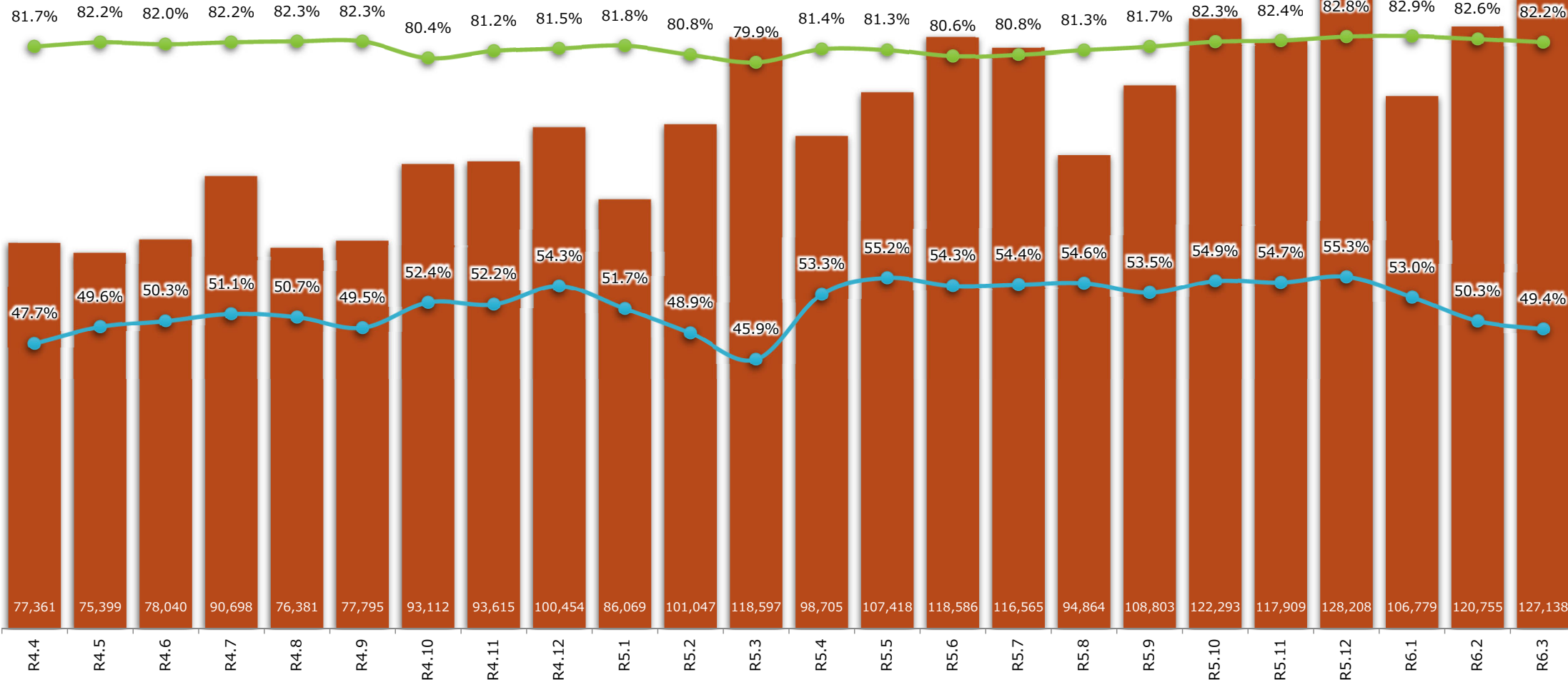
■ ジェネリック医薬品の使用割合は80%超が定着している。

1-5-3 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 家族

			男 性
	調 剤	家 族	女 性

後発医薬品の使用状況の各月推移 家族 強制+任継

■ 件数 ● 使用割合 ● 薬剤費割合

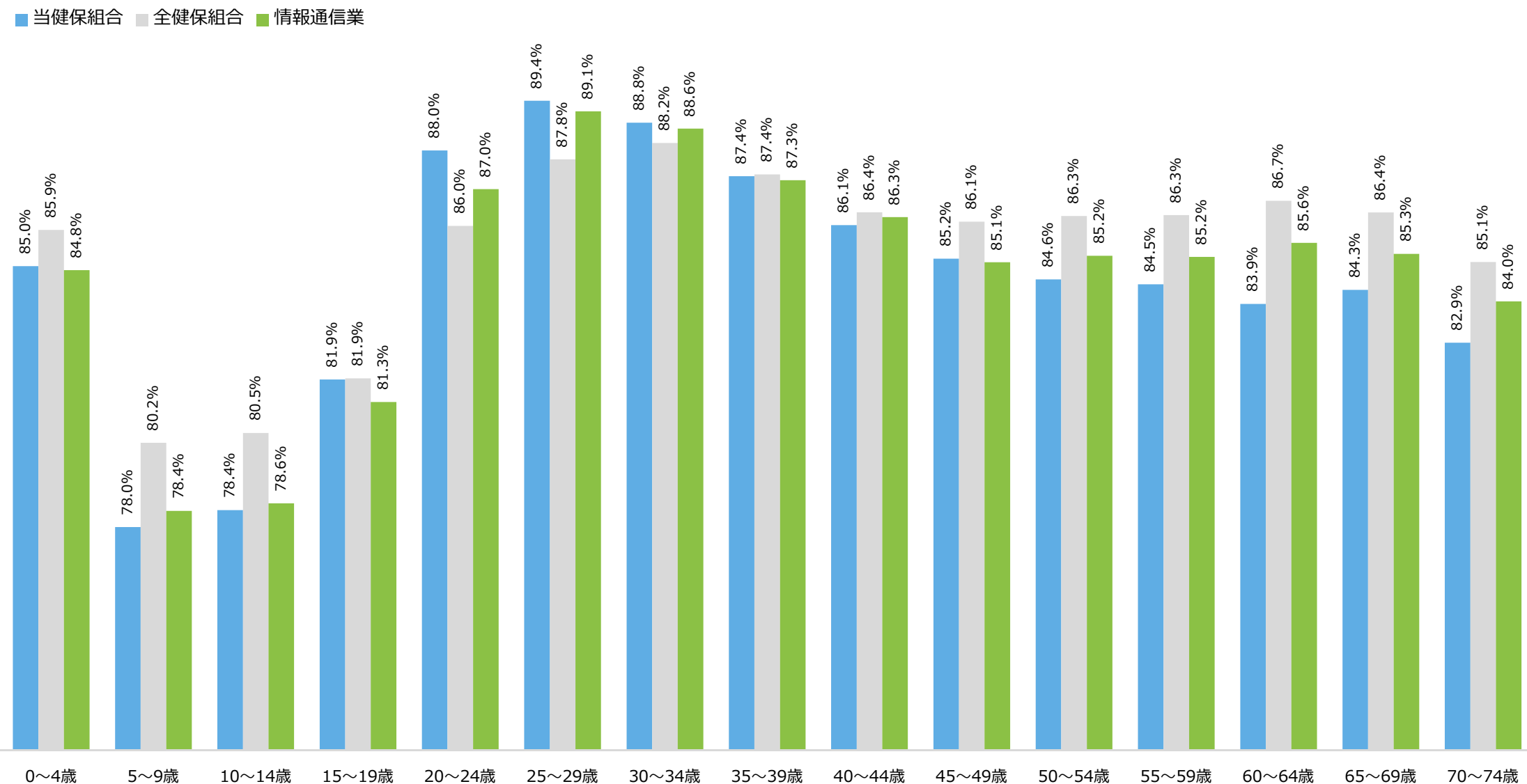


使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

1-5-4 後発（ジェネリック）医薬品の使用割合の比較 – 令和6年3月調剤分 –

		本 人	男 性
	調 剤	家 族	女 性

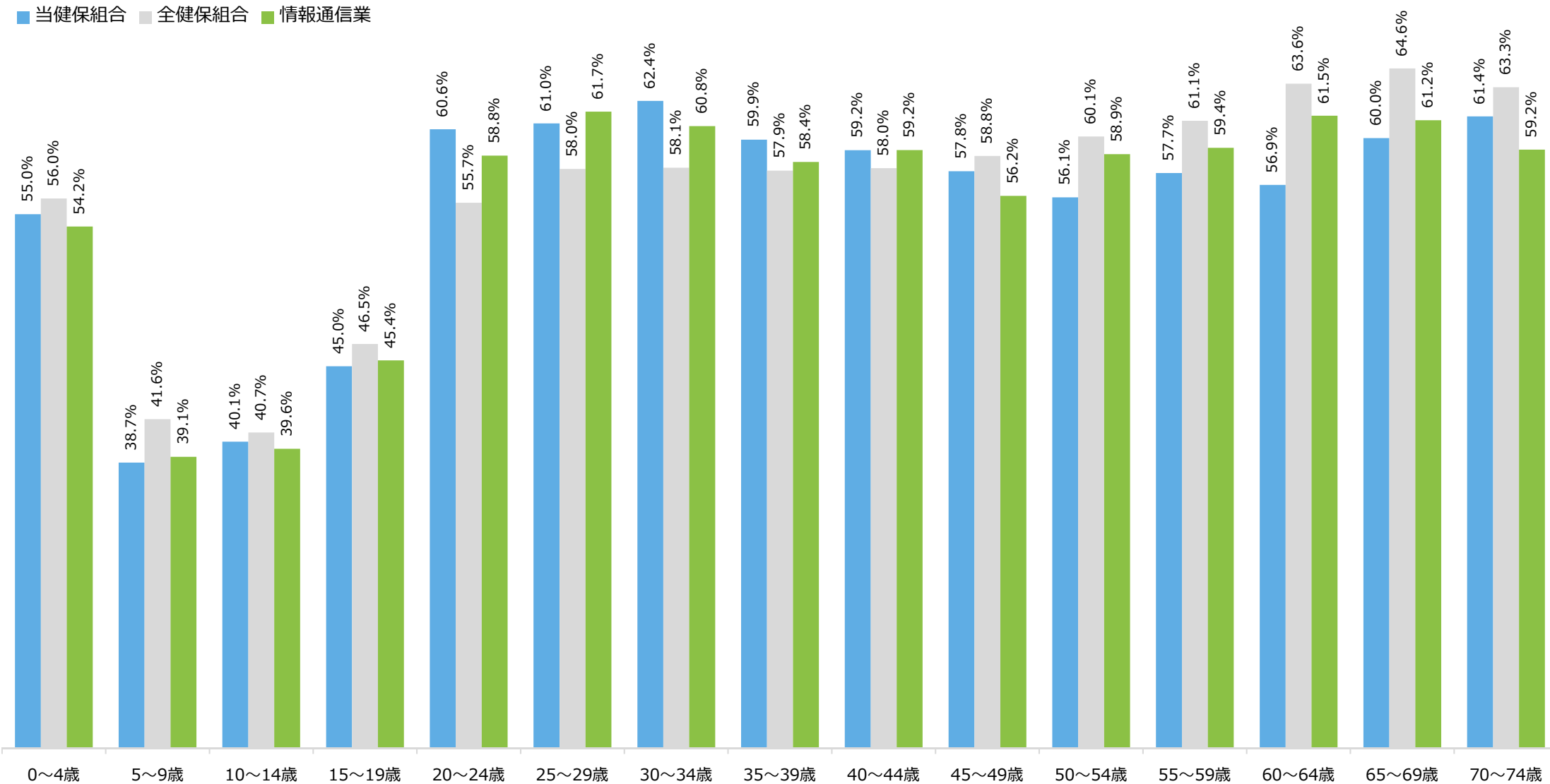
使用割合 本人+家族 強制のみ 全年齢合計 ■当組合 85.03% ■全健保組合 85.57% ■情報通信業 85.06%



- 全年齢合計の使用割合は、前年約83%であったが85%に増加している。情報通信業との比較では優位性は認められない。
- 若年層での使用割合が低いのは各自治体の医療費補助制度により、自己負担への関心が薄いためと思われる。

薬剤費割合 本人+家族 強制のみ 全年齢合計 ■当組合 55.68% ■全健保組合 56.47% ■情報通信業 55.94%

■当健保組合 ■全健保組合 ■情報通信業



■ 全年齢合計の使用割合の増加に伴って薬剤費割合も増加している。他との比較では優位性は認められない。

STEP 2

健康課題を抽出する

健康課題を抽出する

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

1-1-1	特定健診の受診率は直近（令和4年度）実績で77.8%となっており、国の設定した基準値85%に届いていない。 特に被扶養者の特定健診受診率は著しく低い状況となっている。
1-3-12 1-3-16 1-4-6	生活習慣病に係る医療費、特に外来は糖尿病が高い値を示している。 HbA1c及び血糖の値は、年齢が上がるにつれて高くなるが、その上昇率は50代で急激に高くなる。
1-4-1 1-4-2 1-4-5	男性では40歳以上だけでなく、若年層においてもBMIや腹囲が基準値以上の者が多くみられる。 40歳以上の肥満群では、男性98%・女性91.5%が保健指導判定値以上となっており、何らかの生活習慣病を保有していることが示唆される。
1-3-13 1-3-21	女性では本人家族共に、入院における医療費で新生物が最も高い。女性特有の健康課題に対する取り組みが、乳がん・子宮頸がん検診以外は十分に実施されていない。
1-3-11 1-4-6 1-4-7 1-4-8	虚血性心疾患や脳血管障害は入院医療費の多くを占めているが、健診結果よりこれらの発症要因である糖尿病、高血圧症及び脂質異常症の基準値を超える者が多くいる。

対策の方向性

被保険者：事業所とのコラボヘルスを推進し、特定健診未受診者への適切な受診勧奨を事業所から直接働きかけることで、よりダイレクトに対象者へアプローチする。
被扶養者：2年間未受診者への受診促進に加え、第2期事業（令和4年度）からの生活習慣病検査事業をはじめとした受診促進を継続して実施、紙媒体だけでなく健康ポータルサイトからの受診勧奨を行うなど、複数の方法を組み合わせて健診受診の必要性を訴求する。

糖尿病の重症化予防事業として、引き続き「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」「糖尿病教育介入プログラム」「糖尿病受診勧奨（保健指導あり）」「糖尿病受診勧奨（インバウンド）」を対象者のリスクレベルに応じて効果的・効率的に実施する。

若年層からの生活習慣病対策として、肥満解消を目的に適切な食事・運動習慣を身に付ける施策を実施する。
若年層のハイリスク者を対象とした「生活習慣病予防プログラム」の他、ポピュレーションアプローチとしてウォーキングイベントや食事や体重の記録を用いたイベントを企画・実施する。

女性の健康施策として、乳がん・子宮頸がん検診を含む婦人科検査（健康診査のオプションとして実施）や、巡回婦人健診の受診促進に更に注力する。
また「女性の健康」等に関するeラーニングを健康ポータルサイト上で実施し、リテラシー向上を図るなど、女性特有の健康課題に対する取り組みを推進する。

血糖、血圧及び脂質の受診勧奨値を基準に対象者を抽出選定し、糖尿病・高血圧・脂質異常症の未治療・未受診者や治療中断者に対し、これまでの実施効果を踏まえ受診勧奨事業を継続して実施する。

特 徴

基本情報

- ・適用事業所の1社当りの被保険者数は89.1人（令和5年12月末現在）と、個々の事業所規模は大きくない。
- ・20～30歳代が被保険者全体の58.8%を占める、若い被保険者構成となっている。

棚卸し

- ・被扶養者の特定健診受診率が著しく低い。

対策検討時に留意すべき点

- ・加入者及び事業所拠点が多く、健保組合が全ての被保険者に個々に接することは現実的ではないが、コラボヘルスで構築した協力関係を生かし、社員のモチベーションアップや企業の生産性向上にも寄与するコラボヘルス体制の構築と、コラボヘルスを通じた質の高い保健事業の提供を引き続き行う。
- ・被扶養者が受診しやすい仕組みと周知広報に注力する。巡回婦人健診は全国に健診会場を設け、婦人科検査を含む全ての費用を補助している。未受診者への受診勧奨には従来からのリーフレット送付の他、健康ポータルサイトを利用した広報を実施し、多方面からアプローチする。

STEP 3

課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する

STEP 3-1

実施計画

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康 診査事業	3	既存 特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～74	全員	1	- 目標受診率 88.5% - 全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し	目標受診率 89.0%	- 目標受診率 90.0% - 中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	目標受診率 91.0%	目標受診率 92.0%	目標受診率 93.2%
	3	既存 特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	1	- 目標受診率 46.0% - 被扶養者の登録住所等を考慮した健診機関との契約と見直し 2年間未受診者への効果的なアプローチの実施	目標受診率 46.5%	- 目標受診率 47.0% - 中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	目標受診率 48.0%	目標受診率 49.0%	目標受診率 50.0%
特定保健 指導事業	4	既存 特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	基準 該当者	1	- 目標実施率 31.9% - 初回面接当日実施と遠隔保健指導の強化 - 事業所との共同利用による実施率の向上	目標実施率 32.5%	- 目標実施率 33.0% - 中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	目標実施率 33.5%	目標実施率 34.1%	目標実施率 34.6%

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導宣伝	1, 5	既存	ITSコラボヘルス	被保険者	一部の事業所	—	—	—	3	- 事業所の健康課題の共有 - 健康情報の共同利用による保健指導/保健事業の推進 - 健康経営優良法人認定に係る情報の提供 - コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への広報	- 健康経営を取り巻く制度動向を捉え、より実践的な協働を実施するための事業内容を検討 - 事業所間の意見交換等の交流を図るため、集合型のコラボヘルスを開催	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施
	1, 5	既存	健康経営サポート事業	被保険者	一部の事業所	—	—	—	3	30社以上がサポート事業を利用 - 企業宣言実施事業所を対象にした研修補助 - 健康経営優良法人をとるための研修内容を提供	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、事業内容を検討	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施	7年度の検討内容に基づき、事業を実施
	1, 5	既存	健康企業宣言	被保険者	一部の事業所	—	—	—	3	600社以上が宣言実施 - 説明会等を通じた制度広報 - 健康優良企業認定に向けたサポート実施	700社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	800社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	900社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	1000社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続	1100社以上が宣言実施 - 従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導宣伝	2	既存 機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16～74	全員	1	- 加入者目線に立った、分かりやすく目つきやすい誌面づくり - 疾病予防、健康増進に係る情報の効率的な発信	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	2, 4, 5, 7	既存 健康ポータルサイトの運営	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16～74	全員	1	- 登録率 15% - 事業所との共同利用の推進 - ウォーキングラリー等の健康増進イベント実施	- 登録率 17% - 従来通りの事業を継続	- 登録率 19% - 従来通りの事業を継続 - これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	- 登録率 21% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	- 登録率 23% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	- 登録率 25% - 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施
	2, 5	新規 ポリファーマシー通知	【目的】重複・多剤投与者の有害事象発生予防、医療費適正化 【概要】多剤服用による有害事象リスク者へ通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	全員	1	- 通知発行数 5,000通 - 最大削減効果額のうち、20%の薬剤費削減	従来通りの事業を継続	- 従来通りの事業を継続 - これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	令和8年度の検討内容に基づき事業を実施
	2, 5	既存 禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴うリスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20～74	全員	1	- ポスター等の事業所への送付 - ITSコラボヘルスと健康企業宣言参加事業所を対象とした禁煙セミナー開催 - 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	従来の事業を継続	喫煙率の変動やeラーニングのアンケート結果を基に事業の検証及び見直しを実施	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来の事業を継続	従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保健指導 宣伝	2, 5	既存	受診促進事業	【目的】被扶養者健診の啓蒙 【概要】被扶養配偶者に対し健診受診の啓蒙活動を行う	被扶養者	全て	女性	40 ～74	過去2年間受診履歴のない被扶養配偶者	1	・過去2年間に健診受診履歴のない被扶養配偶者に受診案内送付 ・送付数10,000通	・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続
	2, 7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・後発医薬品使用割合83%	・後発医薬品使用割合83.5%	・後発医薬品使用割合84%	・後発医薬品使用割合84.5%	・後発医薬品使用割合85%	・後発医薬品使用割合85%
	1, 2, 5	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	・事業所のニーズを優先的に取り入れ、対面及びWEBにてセミナーを開催 ・健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	・従来通りの事業を継続	・アンケートの集計結果を分析し、セミナー対象者や内容について検討 ・事業所担当者向け相談窓口の設置を検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	3	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	被扶養者は配偶者と30歳以上	1	・受診率80.6% ・全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し	・受診率80.8%	・受診率81.1% ・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・受診率81.3% ・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・受診率81.5%	・受診率81.7%
	3	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16～74	全員	1	・受診者数20,000人 ・健診機会を捉えた効果的な健診案内と受診勧奨の実施 ・2年間未受診者への効果的なアプローチの実施 ・健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	・受診者数21,000人	・受診者数22,000人 ・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・受診者数23,000人 ・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・受診者数24,000人	・受診者数25,000人
	3	既存	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40～74	過去2年間の健診未受診者	1	・案内発送数10,000人 ・申込者数対象者の20% ・案内発送者の健診受診率10%	・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続
	3	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16～74	全員	1	・婦人科健診の重要性を広報 ・健康ポータルサイトによるeラーニングの実施	・従来の事業を継続	・中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討	・前年度の検討内容に基づき、事業を実施	・従来の事業を継続	・従来の事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病 予防	3	既存 脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、 肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CT による検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	偶数年齢	1	・受診環境の整備 と拠点の検証	・従来の事業を 継続	・中間評価を行い、 翌年度以降の見直しを 検討	・前年度の検討 内容に基づき、 事業を実施	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続
	3	既存 胃がんリスク検査	【目的】胃がんリスク 者への早期介入による 重症化予防 【概要】ピロリ菌感染 の有無と胃がんリスク 判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	・実施率の向上 に向けた広報 施策、効果的 な募集等の実施	・従来の事業を 継続	・中間評価を行い、 翌年度以降の見直しを 検討	・前年度の検討 内容に基づき、 事業を実施	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続
	3, 4	既存 歯科健診等	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館など の会場や事業所を巡回 して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・実施者 10,000人 ・実施率の向上 に向けた広報 施策、効果的 な募集等の実施 ・健保会館及び 地方での会場 型歯科健診を実施	・実施者 10,000人 ・従来の事業を 継続	・中間評価を行い、 翌年度以降の見直しを 検討	・前年度の検討 内容に基づき、 事業を実施	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続
	8	既存 インフルエンザ 予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療 機関で10月から1月 までの期間に実施し、 費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・予防接種受診 率の向上に向けた 広報施策、効果的 な募集等の実施	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続	・従来の事業を 継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	5	既存 生活習慣病予防 プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16 ～39	基準 該当者	1	- 参加者数 400人 - 評価検査データ改善率3%超50%以上(BMI) - 生活行動変容を伴う運動習慣等の定着率50%以上	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	2, 5	既存 ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	多くの人が参加できるような効果的な周知を検討	従来からの事業を継続	BMI減少率等の効果検証を実施し事業継続及び見直しを検討	前年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来からの事業を継続	従来からの事業を継続
	4, 5, 6	既存 糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型(宿泊・日帰り)の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	- 参加者数 70人 - HbA1cコントロール割合 6.5%未満 50%以上 SMBG・CGM等で血糖の変動を把握し、運動や食事が血糖値に及ぼす影響を体感できる教育を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	4, 6	既存 糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病並びに糖尿病性腎症重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	- 参加割合 90%以上 - HbA1c減少割合 50%以上	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続

注：事業分類) 1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
疾病予防	4,6	既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・案内発送数1,000通(インバウンド) ・受診率(架電)40%以上 ・受診率(書面)30%以上 受診につながる効果的な案内となるよう検討	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	・従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	4	既存	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・案内発送数7,500通 ・受診率30%以上 受診につながる効果的な案内となるよう検討	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	・従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	4	既存	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	39～74	基準該当者	1	・案内発送数7,500通 ・受診率20%以上 受診につながる効果的な案内となるよう検討	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	・従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	2,4,5,6	既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者被扶養者	全て	男女	64～74	基準該当者	1	・参加者数500人 ・生活目標(食事/運動)の実践状況 目標達成割合80%以上	・参加者数300人 その他は従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続 これまでの実施結果を検証し、運用・目標を見直す。	・従来通りの事業を継続 令和8年度の検討内容に基づき事業を実施	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	5	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗野球大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・遊園施設内でのウォーキング奨励健歩大会の開催年2回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1	・親子で参加するサッカー教室の開催年6回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗フットサル大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1	・ウォーキング大会の開催年7回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・事業所対抗テニス大会の開催年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	実施計画					
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	5	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・ハイキング大会の開催 年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・事業所及び家族対抗ボウリング大会の開催 年1回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人及び事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・個人及び事業所対抗ゴルフ大会の開催 年2回 (個人対抗年1回、事業所対抗年1回)	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	ゴルフ利用補助	【目的】健康増進 【概要】中高齢者をターゲットとするゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ～74	全員	1	・中高齢者をターゲットとするゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・夏冬期の屋外スポーツの奨励 プール・スケート利用券の配布 年2回	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	5	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	実施計画					
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
体育奨励	8	既存	乗馬レッスン利用補助	【目的】健康増進 【概要】心身に有効な効果がある乗馬体験の奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・乗馬体験の奨励	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
	8	既存	健康増進セミナーの開催	【目的】健康増進 【概要】心肺機能や体力の向上による疾病予防やストレス解消などの効果を期待した講習会を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・歩行の機械測定や正しい歩き方の講習会等を開催。	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
直営保養所	8	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュを目的とした宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・直営保養所の宿泊利用	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続
契約保養所	8	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】心身のリフレッシュを目的とした提携契約施設の宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・提携契約施設の宿泊利用	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続	・従来通りの事業を継続

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

STEP 3-2

目標

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
特定健康 診査事業	3	既存	特定健診 （被扶養者と任意継続被保険者を除く）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・ 健診実施の促進（実施率93.2%以上）	・ 内臓脂肪症候群該当者割合（13.0%未満）
	3	既存	特定健診 （被扶養者と任意継続被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無し の巡回健診を取り入れ 受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	全員	1	・ 健診実施の促進（実施率50.0%以上）	・ 内臓脂肪症候群該当者割合（13.0%未満）
特定保健 指導事業	4	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援 室設置や遠隔保健指導 を取り入れ、受診機会 を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～74	基準 該当者	1	・ 指導実施の促進（実施率34.6%以上） （被保険者：35.0%、被扶養者：23.0%）	・ 特定保健指導による特定保健指導対象者の割合 （21%以下）

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

3-2 保健事業の目標

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
保健指導 宣伝	1, 5	既存	ITSコラボヘルス	被保険者	一部の 事業所	-	-	-	3	- 事業所の健康課題を共有し、個別に事業所と共同して課題、目標を達成する。 - コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への提示 - 特定保健指導対象者などの健康情報の共同利用の推進（協定締結） - 健康経営優良法人認定に係る制度情報の提供	- 健康情報を共同利用する事業所数 1,000社 - 健康経営優良法人認定を受ける事業所数 320社 - 特定保健指導の実施率の向上 - 重症化予防事業の参加率の向上 - 受診勧奨事業の医療機関受診率の向上
	1, 5	既存	健康経営サポート事業	被保険者	一部の 事業所	-	-	-	3	- 健康づくりの企業風土への定着 - 組合員のヘルスリテラシーの向上 - サポート事業説明会を年1回開催	- 健康経営サポート事業を利用する事業所数 60社 - 健康経営優良法人認定を受ける事業所数 320社
	1, 5	既存	健康企業宣言	被保険者	一部の 事業所	-	-	-	3	- 健康企業宣言の推進 - 健康優良企業認定に向けたサポート実施（健診情報の提供、提出書類の内容確認） - 健康企業宣言未参加事業所向けに年2回説明会を開催	1,100社以上が健康企業宣言を実施 - 健康経営優良企業（銀の認定/金の認定）の事業所数 銀の認定 700社 金の認定 30社
	2	既存	機関誌発行	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	- 機関誌の年2回発行 - 機関誌のWEB閲覧 - 機関誌の配布部数の変更、停止を受け付け - 内容の変更はWEB版で補完	紙での発行は縮小予定
	2, 4, 5, 7	既存	健康ポータルサイトの運営	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ～74	全員	1	- 機関誌、ホームページ及び共同利用を活用した周知広報 - 健康ポータルサイト 登録者割合 25%	被扶養者の特定健診受診率 50.0%

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
保健指導 宣伝	2, 5	新規 ポリファーマシー通 知	【目的】重複・多剤投 与者の有害事象発生予 防、医療費適正化 【概要】多剤服用によ る有害事象リスク者へ 通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・ 重複・多剤投与者への啓蒙リーフレット発送 通知数（年間） 5,000通	・ 薬剤の適正使用による薬剤費削減 見込まれる最大削減効果額（全ての薬剤が適正 化された場合）のうち、20%の薬剤費削減
	2, 5	既存 禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し 禁煙につながる啓蒙活 動を行い、喫煙に伴う リスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	全員	1	・ 全事業所への禁煙啓蒙ポスターの配付（毎年） ・ 健康診査（問診票）の回収（全受診者） ・ 禁煙セミナーの開催（年1回） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施 5,000人	・ 喫煙率の低下 全体 16.9%以下 男性 23.0%以下 女性 7.7%以下
	2, 5	既存 受診促進事業	【目的】被扶養者健診 の啓蒙 【概要】被扶養配偶者 に対し健診受診の啓蒙 活動を行う	被扶養者	全て	女性	40 ～ 74	過去2年 間受診履 歴のない 被扶養 配偶者	1	・ 過去2年健診未受診者への受診促進 ・ 案内発送者数10,000人	・ 発送対象者の健診受診率26.0%
	2, 7	既存 後発医薬品の使用促 進	【目的】後発医薬品の 使用割合の向上 【概要】後発医薬品差 額通知 及び ジェネリ ック希望シール配布の 実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1	・ 機関誌、ホームページを通じた制度広報 ・ 後発医薬品差額通知の閲覧機会増加を目的と した健康ポータルサイト 登録率の向上 ・ 健康ポータルサイト 登録者割合 25%	・ 後発医薬品の使用割合85%以上
	1, 2, 5	既存 メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメン タルヘルス対策のサポ ート 【概要】事業主、管理 職や担当者向けの対象 別セミナーの開催	-	一部の 事業所	-	-	-	1	・ 担当者向けセミナーの開催（年5回） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施(2 回/年) ラインケア5,000人、セルフケア5,000人	・ セミナー効果（アンケートで満足度を確認） 内容についての満足度 90%以上 事業所での活用可能性 90%以上

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
疾病予防	3	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	・ 健診実施の促進（実施率本人90％以上、家族50％以上）	・ 受診者の健康維持（肥満解消率12％以上）
	3	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～ 74	全員	1	・ 健診実施の促進（受診者数25,000人以上） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施5,000人	・ 受診者の健康維持（肥満解消率12％以上）
	3	既存	生活習慣病検査	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による生活習慣病検査を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	40 ～ 74	過去2年間の健診未受診者	1	・ 過去2年健診未受診者への受診勧奨 ・ 生活習慣病検査の申込率（受診勧奨対象者の20％以上）	・ 受診勧奨対象者における、翌年度の健診受診率（10％以上）
	3	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～ 74	全員	1	・ 婦人科検査実施の促進（実施率本人70％以上、家族40％以上） ・ 健康ポータルサイトによるeラーニングの実施5,000人	・ 要検査率の減少 10％未満
	3	既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	偶数年齢	1	・ 健診実施の促進（検査機関の適正配置） ・ 受診者数4,000人	・ 要検査率の減少 脳MR 8％未満 / 肺CT 9％未満

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
	3	既存	胃がんリスク検査	【目的】胃がんリスク者への早期介入による重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	・ 検査実施の促進 ・ 受診者数20,000人	・ 胃癌罹患割合の減少（胃癌罹患率0.2%以下）
疾病予防	3, 4	既存	歯科健診等	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・ 健診実施の促進 ・ 受診者数10,000人	・ 歯科健診受診者の歯周炎罹患割合（8%以下）
	8	既存	インフルエンザ 予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・ 予防接種者の増加（実施率20.0%以上）	・ 重症患者の減少（重症化率0.1%未満）
	5	既存	生活習慣病予防 プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	16 ～39	基準 該当者	1	・ 参加者数 400人 ・ 効果的な選定基準の設定を検証。	・ 評価検査データ改善率（選定時データ比）3%超が 50%以上（BMI） ・ 生活行動変容を伴う運動習慣等の定着（参加者の50%以上）
	2, 5	既存	ダイエット プログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	基準 該当者	1	・ 参加人数10,000人	・ BMI25以上該当者におけるBMI減少者の増加（参加者のBMI減少者率80%以上）

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
疾病予防	4, 5, 6	既存	糖尿病教育介入プログラム 【目的】糖尿病重症化予防 【概要】集合型(宿泊・日帰り)の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・参加者数 70人	・評価検査におけるHbA1cのコントロール割合 6.5%未満の割合 50%以上
	4, 6	既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム 【目的】糖尿病並びに糖尿病性腎症重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるための支援	被保険者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・案内発送数に対する参加割合 90%以上	・参加年度の健診において、HbA1cの値が選定時と比較して減少している割合 50%以上
	4, 6	既存	糖尿病受診勧奨事業 【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の者で未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数（電話勧奨）750通 ・受診勧奨通知 案内発送数（文書勧奨）1,000通	・医療機関への受診率（架電事業）40%以上 ・医療機関への受診率（書面送付）30%以上
	4	既存	高血圧受診勧奨事業 【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の者で未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数 7,500通	・医療機関への受診率 30%以上
	4	既存	脂質異常症受診勧奨事業 【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の者で未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	39～74	基準該当者	1	・受診勧奨通知 案内発送数 7,500通	・医療機関への受診率 20%以上
	2, 4, 5, 6	既存	前期高齢者等保健指導プログラム 【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸・ロコモティブシンドロームの予防 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者被扶養者	全て	男女	64～74	基準該当者	1	・参加者数 500人（R6） ・参加者数 300人（R7～）	・支援実施後の生活目標（食事・運動）の実践状況 目標達成割合85%以上

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育奨励	5	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント 方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	5	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び 関西地区の遊園施設内 でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・年間2回実施	参加者の増加
	5	既存	親子サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加する サッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・年間6回実施	参加者の増加
	5	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式 による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	5	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び 関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・年間7回実施	参加者の増加

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育奨励	5	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後 トーナメント方式による 事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	5	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区での ハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加者の増加
	5	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族 での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・年間1回実施	参加チームの増加
	5	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる 個人及び事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間2回実施 （個人対抗年1回、事業所対抗年1回）	参加者の増加
	5	既存	ゴルフ利用補助	【目的】健康増進 【概要】中高齢者をターゲット とするゴルフプレイを通じたウォー キングの奨励	被保険者 被扶養者 （配偶者に限る）	全て	男女	16 ～74	全員	1	・通年実施	参加者の増加

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類		事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施 主体	目標（達成時期:令和11年度末）	
					区分	対象 事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
体育 奨励	5	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・年間2回実施	利用者の増加
	5	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・通年実施	利用者の増加
	8	既存	乗馬レッスン利用補助	【目的】健康増進 【概要】心身に有効な効果がある乗馬体験の奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～74	全員	1	・通年実施	利用者の増加
	8	既存	健康増進セミナーの開催	【目的】健康増進 【概要】心肺機能や体力の向上による疾病予防やストレス解消などの効果を期待した講習会を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ～74	全員	1	・年3回実施	参加者の増加
直営 保養所	8	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュを目的とした宿泊利用や健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	健康増進の拠点として、より幅広い範囲の加入員に利用してもらう
契約 保養所	8	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】心身のリフレッシュを目的とした提携契約施設の宿泊利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	より幅広い範囲の加入員に利用してもらう

注：事業分類）1.職場環境の整備 2.加入者への意識づけ 3.健康診査 4.保健指導・受診勧奨 5.健康教育 6.健康相談 7.後発医薬品の使用促進 8.その他の事業

注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

更新履歴

2024.02.06	初版 第111回組合会承認
2025.02.07	更新 第117回組合会承認